

設 計 書

							設計者 職 氏名	検 算	浄 書
平成 2 6 年度		工 事 番 号		第 号		設 計			
件 名	道路台帳数値地図情報補修正業務委託その2								
施工場所	仙台市太白区管内								
委託理由									

仙 台 市

設 計 内 容	その2							
	3級基準点測量			22 点				
	4級基準点測量			123 点				
	平面測量 1/500 幅15m			7.0 Km				
	既存図数値化(現地調査)			0.7 Km				
	地形図データ 市街部・歩道なし市道			2.3 Km				
	郊外部・歩道あり市道			0.0 Km				
	市街部・歩道あり市道			0.7 Km				
	市街部・都市計画道路			3.0 Km				
	構造化データ 歩道なし市道			2.3 Km				
	歩道あり市道			0.7 Km				
	都市計画道路			3.0 Km				
	道路敷地構成図境界点整理			1.5 Km				
道路敷地構成図作成			6 面					
設 計 金 額	金	額	金	円也	別紙内訳書の通り			
	内 訳	業務委託費	¥	円				
		業務価格	¥	円				
		消費税相当額	¥	円				
施	行	方	法	委	託	期	間	平成27年3月10日迄

仙 台 市

業務委託費内訳書

業務名	道路台帳数値地図情報補修正業務委託その2				業 項	種 目	測量業務 基準点測量	
項目・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要	
基準点測量		式	1					
基準点測量		式	1					
3級基準点測量		式	1					
3級基準点測量	永久標識設置あり, 伐採含まない	点	22				単 1号	
基準点設置	地上埋設(上面舗装)	点	22				単 2号	
成果品検定料		点	22				単 3号	
4級基準点測量		式	1					
4級基準点測量	永久標識設置なし, 伐採含まない	点	123				単 4号	
地形測量		式	1					
数値地図情報作成		式	1					
平面図作成		式	1					
平面測量(新規・Aランク)	1/500, 幅15m	km	7				単 5号	
既存図数値化(現地調査)		km	0.7				単 6号	

業務委託費内訳書

業務名	道路台帳数値地図情報補修正業務委託その2				業 項	種 目	測量業務 地形測量	
項目・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要	
地形図データ								
		式	1					
地形図データ作成	市街部・歩道なし市道						単 7号	
		km	2.3					
地形図データ作成	市街部・歩道あり市道						単 8号	
		km	0.7					
地形図データ作成	市街部・都市計画道路						単 9号	
		km	3					
構造化データ								
		式	1					
構造化データ作成	歩道なし市道						単 10号	
		km	2.3					
構造化データ作成	歩道あり市道						単 11号	
		km	0.7					
構造化データ作成	都市計画道路						単 12号	
		km	3					
道路敷地構成図								
		式	1					
計画準備							内 1号	
		式	1					
道路敷地構成図境界点整理							単 13号	
		km	1.5					
道路敷地構成図作成							単 14号	
		面	6					
打合協議							内 2号	
		式	1					

業務委託費内訳書

業務名	道路台帳数値地図情報補修正業務委託その2				業 項	種 目	測量業務 地形測量	
項目・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要	
直接測量費								
		式	1					
間接測量費								
		式	1					
諸経費								内 3号
		式	1					
測量業務価格								
		式	1					
消費税相当額								
		式	1					
測量業務費								
		式	1					

1 次内訳書

単価使用年月	2014.07
歩掛適用年月	2014.07
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

内 1号	計画準備						
名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
測量主任技師		人					
測量技師		人					
合計							

1 次内訳書

単価使用年月	2014.07
歩掛適用年月	2014.07
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

内 2号	打合協議						
名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
測量主任技師		人					
測量技師		人					
測量技師補		人					
合計							

1 次内訳書

単価使用年月	2014.07
歩掛適用年月	2014.07
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

内 3号	諸経費	名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	摘要
		直接測量費		式	1			
		諸経费率		%				
		諸経費		式	1			
		調整額						
		合計						

2次内訳書

単価使用年月	2014.07
歩掛適用年月	2014.07
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

内	4号	計画準備					
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要
測量主任技師			人				
測量技師			人				
測量技師補			人				
合計							

2次内訳書

単価使用年月	2014.07
歩掛適用年月	2014.07
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

内	5号	基準点の展開					
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要
測量主任技師			人				
測量技師補			人				
測量助手			人				
合計							

2 次内訳書

単価使用年月	2014.07
歩掛適用年月	2014.07
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

内 6号	細部測量					
名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	摘要
測量主任技師		人				
測量技師補		人				
測量助手		人				
合計						

2 次内訳書

単価使用年月	2014.07
歩掛適用年月	2014.07
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

内 7号	編集					
名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	摘要
測量技師		人				
測量技師補		人				
合計						

2次内訳書

単価使用年月	2014.07
歩掛適用年月	2014.07
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

内 8号	点検整理					
名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	摘要
測量技師		人				
測量技師補		人				
合計						

2次内訳書

単価使用年月	2014.07
歩掛適用年月	2014.07
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

内 9号	計画準備					
名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	摘要
測量技師補		人				
測量助手		人				
合計						

2次内訳書

単価使用年月	2014.07
歩掛適用年月	2014.07
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

内 10号	細部測量						
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要
測量技師補							
			人				
測量助手							
			人				
合計							

2次内訳書

単価使用年月	2014.07
歩掛適用年月	2014.07
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

内 11号	編集						
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要
測量助手							
			人				
合計							

2 次内訳書

単価使用年月	2014.07
歩掛適用年月	2014.07
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

内 12号	点検整理					
名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	摘要
測量技師補		人				
測量助手		人				
合計						

1次単価表

単価使用年月	2014.07
歩掛適用年月	2014.07
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 1号	3級基準点測量	永久標識設置あり, 伐採含まない	単位	点	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	作業計画 永久標識設置あり 伐採含まない		点	1				単 15号
	選点 永久標識設置あり 伐採含まない		点	1				単 16号
	観測 永久標識設置あり 伐採含まない		点	1				単 17号
	計算整理 永久標識設置あり 伐採含まない		点	1				単 18号
	合計							
	単価							

1次単価表

単価使用年月	2014.07
歩掛適用年月	2014.07
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 2号	基準点設置	地上埋設(上面舗装)	単位	点	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	設置							単 19号
	3級基準点測量地上埋設(上面舗装)		点	1				
	合計							
	単価							

1次単価表

単価使用年月	2014.07
歩掛適用年月	2014.07
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 3号	成果品検定料		単位	点	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	基準点測量成果品検定料							
	3級(トータルステーション)		点	1				
	合計							
	単価							

1次単価表

単価使用年月	2014.07
歩掛適用年月	2014.07
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 4号	4級基準点測量	永久標識設置なし, 伐採含まない	単位	点	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	作業計画 永久標識設置なし 伐採含まない		点	1				単 20号
	選点 永久標識設置なし 伐採含まない		点	1				単 21号
	観測 永久標識設置なし 伐採含まない		点	1				単 22号
	計算整理 永久標識設置なし 伐採含まない		点	1				単 23号
	合計							
	単価							

1次単価表

単価使用年月	2014.07
歩掛適用年月	2014.07
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 5号	平面測量（新規・Aランク）	1/500, 幅15m	単位	km	単位数量	10	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	計画準備		式	1				内 4号
	基準点の展開		式	1				内 5号
	細部測量		式	1				内 6号
	編集		式	1				内 7号
	点検整理		式	1				内 8号
	普通作業員		人					
	機械経費		式	1				
	材料費		式	1				
	精度管理費		式	1				
	安全費		式	1				
	変化率 1.26		式	1				
	合計							

1次単価表

単価使用年月	2014.07
歩掛適用年月	2014.07
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 5号	平面測量（新規・Aランク）	1/500, 幅15m	単位	km	単位数量	10	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	単価							

1次単価表

単価使用年月	2014.07
歩掛適用年月	2014.07
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 6号	既存函数値化（現地調査）	単位	km	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要
	計画準備		式	1			内 9号
	細部測量		式	1			内 10号
	編集		式	1			内 11号
	点検整理		式	1			内 12号
	機械経費		式	1			
	材料費		式	1			
	合計						
	単価						

1次単価表

単価使用年月	2014.07
歩掛適用年月	2014.07
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 7号	地形図データ作成	市街部・歩道なし市道	単位	km	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	計画準備（市街部・歩道なし市道）		km	1			単 24号	
	計測用基図作成（市街部・歩道なし市道）		km	1			単 25号	
	計測（市街部・歩道なし市道）		km	1			単 26号	
	編集（市街部・歩道なし市道）		km	1			単 27号	
	DMデー作成（市街部・歩道なし市道）		km	1			単 28号	
	合計							
	単価							

1次単価表

単価使用年月	2014.07
歩掛適用年月	2014.07
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 8号	地形図データ作成	市街部・歩道あり市道	単位	km	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	計画準備（市街部・歩道あり市道）		km	1			単 29号	
	計測用基図作成（市街部・歩道あり市道）		km	1			単 30号	
	計測（市街部・歩道あり市道）		km	1			単 31号	
	編集（市街部・歩道あり市道）		km	1			単 32号	
	DMデー作成（市街部・歩道あり市道）		km	1			単 33号	
	合計							
	単価							

1次単価表

単価使用年月	2014.07
歩掛適用年月	2014.07
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 9号	地形図データ作成	市街部・都市計画道路	単位	km	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	計画準備 (市外部・都市計画道路)							単 34号
			km	1				
	計測用基図作成 (市街部・都市計画道路)							単 35号
			km	1				
	計測 (市街部・都市計画道路)							単 36号
			km	1				
	編集 (市街部・都市計画道路)							単 37号
			km	1				
	DMデータ作成 (市街部・都市計画道路)							単 38号
			km	1				
	合計							
	単価							

1次単価表

単価使用年月	2014.07
歩掛適用年月	2014.07
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 10号	構造化データ作成	歩道なし市道	単位	km	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	計画準備（歩道なし市道）		km	1				単 39号
	計測用基図作成（歩道なし市道）		km	1				単 40号
	計測（歩道なし市道）		km	1				単 41号
	編集（歩道なし市道）		km	1				単 42号
	DMデー作成（歩道なし市道）		km	1				単 43号
	合計							
	単価							

1次単価表

単価使用年月	2014.07
歩掛適用年月	2014.07
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 11号	構造化データ作成	歩道あり市道	単位	km	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	計画準備（歩道あり市道）		km	1				単 44号
	計測用基図作成（歩道あり市道）		km	1				単 45号
	計測（歩道あり市道）		km	1				単 46号
	編集（歩道あり市道）		km	1				単 47号
	DMデー作成（歩道あり市道）		km	1				単 48号
	合計							
	単価							

1次単価表

単価使用年月	2014.07
歩掛適用年月	2014.07
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 12号	構造化データ作成	都市計画道路	単位	km	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	計画準備（都市計画道路）		km	1				単 49号
	計測用基図作成（都市計画道路）		km	1				単 50号
	計測（都市計画道路）		km	1				単 51号
	編集（都市計画道路）		km	1				単 52号
	DMデー作成（都市計画道路）		km	1				単 53号
	合計							
	単価							

1次単価表

単価使用年月	2014.07
歩掛適用年月	2014.07
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 13号	道路敷地構成図境界点整理	単位	km	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要
資料調査							単 54号
		km	1				
境界点整理							単 55号
		km	1				
座標面積計算							単 56号
		km	1				
点検整理							単 57号
		km	1				
合計							
単価							

1次単価表

単価使用年月	2014.07
歩掛適用年月	2014.07
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 14号	道路敷地構成図作成		単位	面	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	道路敷地構成図作成 (路線図)		km	1				単 58号
	面積調書作成		km	1				単 59号
	計測 (都市計画道路)		km	1				単 51号
	編集 (都市計画道路)		km	1				単 52号
	DMデー作成 (都市計画道路)		km	1				単 53号
	合計							
	単価							

2次単価表

単価使用年月	2014.07
歩掛適用年月	2014.07
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 15号	作業計画 永久標識設置あり 伐採含まない	単位	点	単位数量	20	単価	
名称・規格		単位	数量	単価	金額	摘要	
	測量主任技師 内業	人					
	測量技師 内業	人					
	測量技師補 内業	人					
	機械経費	式	1				
	通信運搬費等	式	1				
	材料費	式	1				
	精度管理費	式	1				
	変化率						
	合計						
	単価						

2次単価表

単価使用年月	2014.07
歩掛適用年月	2014.07
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 16号	選点 永久標識設置あり 伐採含まない		単位	点	単位数量	20	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	測量技師 外業		人					
	測量技師補 外業		人					
	測量助手 外業		人					
	機械経費		式	1				
	通信運搬費等		式	1				
	材料費		式	1				
	精度管理費		式	1				
	変化率							
	合計							
	単価							

2次単価表

単価使用年月	2014.07
歩掛適用年月	2014.07
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 17号	観測 永久標識設置あり 伐採含まない	単位	点	単位数量	20	単価	
名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
測量技師 外業		人					
測量技師補 外業		人					
測量助手 外業		人					
機械経費		式	1				
通信運搬費等		式	1				
材料費		式	1				
精度管理費		式	1				
変化率							
合計							
単価							

2次単価表

単価使用年月	2014.07
歩掛適用年月	2014.07
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 18号	計算整理 永久標識設置あり 伐採含まない	単位	点	単位数量	20	単価	
名称・規格		単位	数量	単価	金額	摘要	
	測量主任技師 内業	人					
	測量技師 内業	人					
	測量技師補 内業	人					
	測量助手 内業	人					
	機械経費	式	1				
	通信運搬費等	式	1				
	材料費	式	1				
	精度管理費	式	1				
	変化率						
	合計						
	単価						

2次単価表

単価使用年月	2014.07
歩掛適用年月	2014.07
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 19号	設置 3級基準点測量地上埋設(上面舗装)		単位	点	単位数量	10	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	測量技師 外業		人					
	測量技師補 外業		人					
	普通作業員 外業		人					
	機械経費		式	1				
	通信運搬費等		式	1				
	材料費		式	1				
	精度管理費		式	1				
	変化率							
	合計							
	単価							

2次単価表

単価使用年月	2014.07
歩掛適用年月	2014.07
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 20号	作業計画 永久標識設置なし 伐採含まない	単位	点	単位数量	35	単価	
名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
測量主任技師 内業		人					
測量技師 内業		人					
測量技師補 内業		人					
機械経費		式	1				
通信運搬費等		式	1				
材料費		式	1				
精度管理費		式	1				
変化率							
合計							
単価							

2次単価表

単価使用年月	2014.07
歩掛適用年月	2014.07
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 21号	選点 永久標識設置なし 伐採含まない		単位	点	単位数量	35	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
測量技師 外業			人					
測量技師補 外業			人					
測量助手 外業			人					
機械経費			式	1				
通信運搬費等			式	1				
材料費			式	1				
精度管理費			式	1				
変化率								
合計								
単価								

2次単価表

単価使用年月	2014.07
歩掛適用年月	2014.07
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 22号	観測 永久標識設置なし 伐採含まない	単位	点	単位数量	35	単価	
名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
測量技師 外業		人					
測量技師補 外業		人					
測量助手 外業		人					
機械経費		式	1				
通信運搬費等		式	1				
材料費		式	1				
精度管理費		式	1				
変化率							
合計							
単価							

2次単価表

単価使用年月	2014.07
歩掛適用年月	2014.07
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 23号	計算整理 永久標識設置なし 伐採含まない	単位	点	単位数量	35	単価	
名称・規格		単位	数量	単価	金額	摘要	
測量主任技師 内業		人					
測量技師 内業		人					
測量技師補 内業		人					
測量助手 内業		人					
機械経費		式	1				
通信運搬費等		式	1				
材料費		式	1				
精度管理費		式	1				
変化率							
合計							
単価							

2次単価表

単価使用年月	2014.07
歩掛適用年月	2014.07
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 24号	計画準備（市街部・歩道なし市道）		単位	km	単位数量	100	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	測量主任技師		人					
	測量技師		人					
	測量技師補		人					
	測量助手		人					
	材料費		式	1				
	合計							
	単価							

2次単価表

単価使用年月	2014.07
歩掛適用年月	2014.07
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 25号	計測用基図作成（市街部・歩道なし市道）	条件	単位	km	単位数量	金額	単価	摘要
名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	摘要		
測量主任技師		人						
測量技師		人						
測量技師補		人						
測量助手		人						
材料費		式	1					
機械経費		式	1					
精度管理費		式	1					
合計								
単価								

2次単価表

単価使用年月	2014.07
歩掛適用年月	2014.07
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 26号	計測（市街部・歩道なし市道）		単位	km	単位数量	100	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	測量技師		人					
	測量技師補		人					
	測量助手		人					
	材料費		式	1				
	機械経費		式	1				
	精度管理費		式	1				
	合計							
	単価							

2次単価表

単価使用年月	2014.07
歩掛適用年月	2014.07
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 27号	編集（市街部・歩道なし市道）		単位	km	単位数量	100	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	測量技師		人					
	測量技師補		人					
	測量助手		人					
	材料費		式	1				
	機械経費		式	1				
	精度管理費		式	1				
	合計							
	単価							

2次単価表

単価使用年月	2014.07
歩掛適用年月	2014.07
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 28号	DMデー作成（市街部・歩道なし市道）	単位	km	単位数量	100	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要
	測量主任技師		人				
	測量技師		人				
	測量技師補		人				
	材料費		式	1			
	機械経費		式	1			
	合計						
	単価						

2次単価表

単価使用年月	2014.07
歩掛適用年月	2014.07
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 29号	計画準備（市街部・歩道あり市道）		単位	km	単位数量	100	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	測量主任技師		人					
	測量技師		人					
	測量技師補		人					
	測量助手		人					
	材料費		式	1				
	合計							
	単価							

2次単価表

単価使用年月	2014.07
歩掛適用年月	2014.07
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 30号	計測用基図作成（市街部・歩道あり市道）	条件	単位	km	単位数量	金額	単価	摘要
名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	摘要		
測量主任技師		人						
測量技師		人						
測量技師補		人						
測量助手		人						
材料費		式	1					
機械経費		式	1					
精度管理費		式	1					
合計								
単価								

2次単価表

単価使用年月	2014.07
歩掛適用年月	2014.07
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 31号	計測（市街部・歩道あり市道）	条件	単位	km	単位数量	金額	単価	摘要
名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	摘要		
測量技師		人						
測量技師補		人						
測量助手		人						
材料費		式	1					
機械経費		式	1					
精度管理費		式	1					
合計								
単価								

2次単価表

単価使用年月	2014.07
歩掛適用年月	2014.07
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 32号	編集 (市街部・歩道あり市道)		単位	km	単位数量	100	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
測量技師			人					
測量技師補			人					
測量助手			人					
材料費			式	1				
機械経費			式	1				
精度管理費			式	1				
合計								
単価								

2次単価表

単価使用年月	2014.07
歩掛適用年月	2014.07
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 33号	DMデー作成（市街部・歩道あり市道）	単位	km	単位数量	100	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要
測量主任技師			人				
測量技師			人				
測量技師補			人				
材料費			式	1			
機械経費			式	1			
合計							
単価							

2次単価表

単価使用年月	2014.07
歩掛適用年月	2014.07
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 34号	計画準備（市外部・都市計画道路）		単位	km	単位数量	100	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	測量主任技師		人					
	測量技師		人					
	測量技師補		人					
	測量助手		人					
	材料費		式	1				
	合計							
	単価							

2次単価表

単価使用年月	2014.07
歩掛適用年月	2014.07
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 35号	計測用基図作成（市街部・都市計画道路		単位	km	単位数量	100	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	測量主任技師		人					
	測量技師		人					
	測量技師補		人					
	測量助手		人					
	材料費		式	1				
	機械経費		式	1				
	精度管理費		式	1				
	合計							
	単価							

2次単価表

単価使用年月	2014.07
歩掛適用年月	2014.07
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 36号	計測（市街部・都市計画道路）	条件	単位	km	単位数量	金額	単価	摘要
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額		摘要
	測量技師		人					
	測量技師補		人					
	測量助手		人					
	材料費		式	1				
	機械経費		式	1				
	精度管理費		式	1				
	合計							
	単価							

2次単価表

単価使用年月	2014.07
歩掛適用年月	2014.07
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 37号	編集（市街部・都市計画道路）		単位	km	単位数量	100	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	測量技師		人					
	測量技師補		人					
	測量助手		人					
	材料費		式	1				
	機械経費		式	1				
	精度管理費		式	1				
	合計							
	単価							

2次単価表

単価使用年月	2014.07
歩掛適用年月	2014.07
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 38号	DMデー作成（市街部・都市計画道路）	単位	km	単位数量	100	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要
測量主任技師			人				
測量技師			人				
測量技師補			人				
材料費			式	1			
機械経費			式	1			
合計							
単価							

2次単価表

単価使用年月	2014.07
歩掛適用年月	2014.07
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 39号	計画準備（歩道なし市道）	単位	km	単位数量	100	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要
	測量主任技師		人				
	測量技師		人				
	測量技師補		人				
	測量助手		人				
	材料費		式	1			
	合計						
	単価						

2次単価表

単価使用年月	2014.07
歩掛適用年月	2014.07
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 40号	計測用基図作成（歩道なし市道）		単位	km	単位数量	100	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	測量主任技師		人					
	測量技師		人					
	測量技師補		人					
	測量助手		人					
	材料費		式	1				
	機械経費		式	1				
	精度管理費		式	1				
	合計							
	単価							

2次単価表

単価使用年月	2014.07
歩掛適用年月	2014.07
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 41号	計測（歩道なし市道）		単位	km	単位数量	100	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	測量技師		人					
	測量技師補		人					
	測量助手		人					
	材料費		式	1				
	機械経費		式	1				
	精度管理費		式	1				
	合計							
	単価							

2次単価表

単価使用年月	2014.07
歩掛適用年月	2014.07
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 42号	編集 (歩道なし市道)		単位	km	単位数量	100	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
測量技師			人					
測量技師補			人					
測量助手			人					
材料費			式	1				
機械経費			式	1				
精度管理費			式	1				
合計								
単価								

2次単価表

単価使用年月	2014.07
歩掛適用年月	2014.07
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 43号	DMデー作成（歩道なし市道）		単位	km	単位数量	100	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	測量主任技師		人					
	測量技師		人					
	測量技師補		人					
	材料費		式	1				
	機械経費		式	1				
	合計							
	単価							

2次単価表

単価使用年月	2014.07
歩掛適用年月	2014.07
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 44号	計画準備（歩道あり市道）		単位	km	単位数量	100	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	測量主任技師		人					
	測量技師		人					
	測量技師補		人					
	測量助手		人					
	材料費		式	1				
	合計							
	単価							

2次単価表

単価使用年月	2014.07
歩掛適用年月	2014.07
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 45号	計測用基図作成（歩道あり市道）		単位	km	単位数量	100	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	測量主任技師		人					
	測量技師		人					
	測量技師補		人					
	測量助手		人					
	材料費		式	1				
	機械経費		式	1				
	精度管理費		式	1				
	合計							
	単価							

2次単価表

単価使用年月	2014.07
歩掛適用年月	2014.07
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 46号	計測（歩道あり市道）		単位	km	単位数量	100	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	測量技師		人					
	測量技師補		人					
	測量助手		人					
	材料費		式	1				
	機械経費		式	1				
	精度管理費		式	1				
	合計							
	単価							

2次単価表

単価使用年月	2014.07
歩掛適用年月	2014.07
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 47号	編集（歩道あり市道）		単位	km	単位数量	100	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	測量技師		人					
	測量技師補		人					
	測量助手		人					
	材料費		式	1				
	機械経費		式	1				
	精度管理費		式	1				
	合計							
	単価							

2次単価表

単価使用年月	2014.07
歩掛適用年月	2014.07
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 48号	DMデー作成（歩道あり市道）	条件	単位	km	単位数量	金額	単価	摘要
名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	摘要		
測量主任技師		人						
測量技師		人						
測量技師補		人						
材料費		式	1					
機械経費		式	1					
合計								
単価								

2次単価表

単価使用年月	2014.07
歩掛適用年月	2014.07
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 49号	計画準備（都市計画道路）	条件	単位	km	単位数量	金額	単価	摘要
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	測量主任技師		人					
	測量技師		人					
	測量技師補		人					
	測量助手		人					
	材料費		式	1				
	合計							
	単価							

2次単価表

単価使用年月	2014.07
歩掛適用年月	2014.07
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 50号	計測用基図作成（都市計画道路）		単位	km	単位数量	100	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	測量主任技師		人					
	測量技師		人					
	測量技師補		人					
	測量助手		人					
	材料費		式	1				
	機械経費		式	1				
	精度管理費		式	1				
	合計							
	単価							

2次単価表

単価使用年月	2014.07
歩掛適用年月	2014.07
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 51号	計測（都市計画道路）		単位	km	単位数量	100	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	測量技師		人					
	測量技師補		人					
	測量助手		人					
	材料費		式	1				
	機械経費		式	1				
	精度管理費		式	1				
	合計							
	単価							

2次単価表

単価使用年月	2014.07
歩掛適用年月	2014.07
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 52号	編集（都市計画道路）		単位	km	単位数量	100	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	測量技師		人					
	測量技師補		人					
	測量助手		人					
	材料費		式	1				
	機械経費		式	1				
	精度管理費		式	1				
	合計							
	単価							

2次単価表

単価使用年月	2014.07
歩掛適用年月	2014.07
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 53号	DMデー作成（都市計画道路）		単位	km	単位数量	100	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	測量主任技師		人					
	測量技師		人					
	測量技師補		人					
	材料費		式	1				
	機械経費		式	1				
	合計							
	単価							

2次単価表

単価使用年月	2014.07
歩掛適用年月	2014.07
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 54号	資料調査		単位	km	単位数量	10	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	測量技師		人					
	測量技師補		人					
	測量助手		人					
	材料費		式	1				
	機械経費		式	1				
	合計							
	単価							

2次単価表

単価使用年月	2014.07
歩掛適用年月	2014.07
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 55号	境界点整理		単位	km	単位数量	10	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	測量技師		人					
	測量技師補		人					
	測量助手		人					
	材料費		式	1				
	機械経費		式	1				
	合計							
	単価							

2次単価表

単価使用年月	2014.07
歩掛適用年月	2014.07
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 56号	座標面積計算		単位	km	単位数量	10	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
測量技師			人					
測量技師補			人					
測量助手			人					
材料費			式	1				
機械経費			式	1				
合計								
単価								

2次単価表

単価使用年月	2014.07
歩掛適用年月	2014.07
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 58号	道路敷地構成図作成 (路線図)	単位	km	単位数量	40	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要
	測量技師		人				
	測量技師補		人				
	測量助手		人				
	材料費		式	1			
	機械経費		式	1			
	合計						
	単価						

2次単価表

単価使用年月	2014.07
歩掛適用年月	2014.07
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 59号	面積調書作成		単位	km	単位数量	40	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
測量技師			人					
測量技師補			人					
測量助手			人					
材料費			式	1				
機械経費			式	1				
合計								
単価								

補修正分

測量区分	1	0.0
	2	0.0
	3	3,719.6
	4	657.0
	5	0.0
	6	0.0
	7	0.0
計		4,376.6

一般市道	1・2	1,751.6
都市計画道路	3	2,625.0
計		4,376.6

地形・構造区分	10	0.0	2,336.8
	11	2,336.8	
	20	0.0	779.0
	21	779.0	
	30	0.0	3,085.0
	31	3,085.0	
計		6,200.8	6,200.8

部分修正

Bランク	測量	30.0
	地形図	30.0
	構造化	30.0

既存図数値化現地調査 784.2

各地区数量表

太白区補修正								
Aランク(4級)			地形DM			構造化		
平地	コード	延長		コード	延長		コード	延長
密集市街地	1	0.0	郊外部歩道なし市道	10	0.0	歩道なし市道	1	2,336.8
市街地(甲)	2	0.0	市街部歩道なし市道	11	2,336.8			
市街地(乙)	3	3,719.6	郊外部歩道有り市道	20	0.0	歩道有り市道	2	779.0
都市近郊地	4	657.0	市街部歩道有り市道	21	779.0			
耕地	5	0.0	郊外部都市計画道	30	0.0	都市計画道	3	3,085.0
原野	6	0.0	市街部都市計画道	31	3,085.0			
森林	7	0.0						
計		4,376.6	計		6,200.8	計		6,200.8

Aランク	延長
都市計画道路以外	1,751.6
都市計画道路	2,625.0
計	4,376.6

補修正延長	オフセット測量	地形図	構造化
Bランク	30.0	30.0	30.0
Cランク		0.0	0.0
Dランク		0.0	0.0

太白区新規等								
Aランク(4級)			地形DM			構造化		
平地	コード	延長		コード	延長		コード	延長
密集市街地	1	0.0	郊外部歩道なし市道	10	0.0	歩道なし市道	1	0.0
市街地(甲)	2	0.0	市街部歩道なし市道	11	0.0			
市街地(乙)	3	0.0	郊外部歩道有り市道	20	0.0	歩道有り市道	2	0.0
都市近郊地	4	0.0	市街部歩道有り市道	21	0.0			
耕地	5	0.0	郊外部都市計画道	30	0.0	都市計画道	3	0.0
原野	6	0.0	市街部都市計画道	31	0.0			
森林	7	0.0						
計		0.0	計		0.0	計		0.0

Aランク	延長
都市計画道路以外	0.0
都市計画道路	0.0
計	0.0

各地区数量表

太白区								
Aランク(4級)			地形DM			構造化		
平地	コード	延長		コード	延長		コード	延長
密集市街地	1	0.0	郊外部歩道なし市道	10	0.0	歩道なし市道	1	2,336.8
市街地(甲)	2	0.0	市街部歩道なし市道	11	2,336.8			
市街地(乙)	3	3,719.6	郊外部歩道有り市道	20	0.0	歩道有り市道	2	779.0
都市近郊地	4	657.0	市街部歩道有り市道	21	779.0			
耕地	5	0.0	郊外部都市計画道	30	0.0	都市計画道	3	3,085.0
原野	6	0.0	市街部都市計画道	31	3,085.0			
森林	7	0.0						
計		4,376.6	計		6,200.8	計		6,200.8

Aランク	
都市計画道路以外	1,751.6
都市計画道路	2,625.0
計	4,376.6

補修正延長	オフセット測量	地形図	構造化
Bランク	30.0	30.0	30.0
Cランク		0.0	0.0
Dランク		0.0	0.0

その2

仙台市全区								
Aランク(4級)			地形DM			構造化		
平地	コード	延長		コード	延長		コード	延長
密集市街地	1	0.0	郊外部歩道なし市道	10	0.0	歩道なし市道	1	0.0
市街地(甲)	2	0.0	市街部歩道なし市道	11	0.0			
市街地(乙)	3	3,719.6	郊外部歩道有り市道	20	0.0	歩道有り市道	2	2,336.8
都市近郊地	4	657.0	市街部歩道有り市道	21	2,336.8			
耕地	5	0.0	郊外部都市計画道	30	0.0	都市計画道	3	779.0
原野	6	0.0	市街部都市計画道	31	779.0			
森林	7	0.0						
計		4,376.6	計		3,115.8	計		3,115.8

Aランク	
都市計画道路以外	0.0
都市計画道路	0.0
計	0.0

補修正延長	オフセット測量	地形図	構造化
Bランク	0.0	0.0	0.0
Cランク	0.0	0.0	0.0
Dランク	30.0	30.0	30.0

4級基準点測量 地域変化率

平地	実延長	地域変化率		
密集市街地	0.0	0.1	0.00	
市街地(甲)	0.0	0.1	0.00	
市街地(乙)	3,719.6	0.0	0.00	
都市近郊	657.0	0.0	0.00	
耕地	0.0	0.0	0.00	
原野	0.0	0.0	0.00	
森林	0.0	0.0	0.00	
計	4,376.6		0.00	0.00
総変化率				0.00

都計道分類

	実延長	路線変化率		
一般市道	1,751.6	0.0	1,751.6	
都市計画道	2,625.0	1.0	5,250.0	
計	4,376.6		7,001.6	

数量計算式

	設置延長	km当り基数	設置数	設計計上数量
	7,001.6	15	105.0	106
			17.0	123

平面測量

変化率分類

平地	実延長	地域変化率		設計変化率
密集市街地	0.0	2.3	0.00	
市街地(甲)	0.0	1.9	0.00	
市街地(乙)	3,719.6	1.4	5,207.44	
都市近郊	657.0	0.5	328.50	
耕地	0.0	0.0	0.00	
原野	0.0	0.0	0.00	
森林	0.0	0.0	0.00	
計	4,376.6		5,535.94	1.26

都計道分類

	実延長	路線変化率		設計計上延長
一般市道	1,751.6	0.0	1,751.6	
都市計画道	2,625.0	1.0	5,250.0	
計	4,376.6		7,001.6	7.0

数値データ作成

		km	
地形図データ		構造化データ	
地域種別	延長	道路種別	延長
郊外部	0.0	歩道なし市道	2.3
市街部	2.3		
郊外部	0.0	歩道あり市道	0.7
市街部	0.7		
郊外部	0.0	都市計画道	3.0
市街部	3.0		
計	6.0	計	6.0

補修正

	オフセット測量	地形図データ	構造化データ
	延長	延長	延長
Bランク	0.0	0.0	0.0
Cランク		0.0	0.0
Dランク		0.0	0.0
計	0.0	0.0	0.0

その2

4級基準点測量 地域変化率

平地	実延長	地域変化率		
密集市街地	0.0	0.1	0.00	
市街地(甲)	0.0	0.1	0.00	
市街地(乙)	3,719.6	0.0	0.00	
都市近郊	657.0	0.0	0.00	
耕地	0.0	0.0	0.00	
原野	0.0	0.0	0.00	
森林	0.0	0.0	0.00	
計	4,376.6		0.00	0.00
総変化率				0.00

都計道分類

	実延長	路線変化率		
一般市道	1,751.6	0.0	1,751.6	
都市計画道	2,625.0	1.0	5,250.0	
計	4,376.6		7,001.6	

数量計算式

	設置延長	km当り基数	設置数	設計計上数量
	7,001.6	15	105.0	106
		Aランク箇所数	17.0	123

平面測量

変化率分類

平地	実延長	地域変化率		設計変化率
密集市街地	0.0	2.3	0.00	
市街地(甲)	0.0	1.9	0.00	
市街地(乙)	3,719.6	1.4	5,207.44	
都市近郊	657.0	0.5	328.50	
耕地	0.0	0.0	0.00	
原野	0.0	0.0	0.00	
森林	0.0	0.0	0.00	
計	4,376.6		5,535.94	1.26

都計道分類

	実延長	路線変化率		設計計上延長
一般市道	1,751.6	0.0	1,751.6	
都市計画道	2,625.0	1.0	5,250.0	
計	4,376.6		7,001.6	7.0

数値データ作成

		km	
地形図データ		構造化データ	
地域種別	延長	道路種別	延長
郊外部	0.0	歩道なし市道	2.3
市街部	2.3		
郊外部	0.0	歩道あり市道	0.7
市街部	0.7		
郊外部	0.0	都市計画道	3.0
市街部	3.0		
計	6.0	計	6.0

補修正

	オフセット測量	地形図データ	構造化データ
	延長	延長	延長
Bランク	0.0	0.0	0.0
Cランク	0.0	0.0	0.0
Dランク	0.0	0.0	0.0
計	0.0	0.0	0.0

仕 様 書
(測量・設計・地質調査業務委託)

1. 本委託は、仙台市契約規則に基づく契約書及び設計図書に基づき行うものとする。
2. 本委託は、宮城県土木部作成の共通仕様書（土木工事委託編）の文中における宮城県を仙台市と読み替え準用するものとする。
3. 本委託の完了期日は平成27年3月10日とする。
4. 受託者は当該業務の実施にあたり、新たに雇用する場合は、東日本大地震による被災者等の積極的な雇用に努めるものとする。
被災者等の雇用においては、ハローワークにおいて被災者等を対象とした求人募集を扱っていることから積極的に活用するものとする。また、賃金の支払いが適正かつ遅滞無く行われるよう配慮するものとする。なお、業務着手の際に、被災者等雇用計画書を調査職員に提出するとともに、業務完了時には被災者等雇用実績報告書を提出するものとする。
なお、様式については仙台市ホームページよりダウンロードし作成するものとする。
※ http://www.city.sendai.jp/business/d/1195077_1434.html
5. 受託者は、仙台市契約規則及び前金払取扱要綱の定めにより、契約金額が100万円以上で、かつ、履行期間が50日間以上にわたるものに限り前払金の支払いを請求できる。
6. 測量調査設計業務実績登録（テクリス）
受託者は、契約時または変更時において、請負金額100万円以上の業務について、測量調査設計業務実績情報システム（TECRIS）に基づき、受注・変更・完了・訂正時に業務実績情報として「登録のための確認のお願い」を作成し、受注時は契約後、土曜日、日曜日、祝日等を除き10日以内に、登録内容の変更時は変更があった日から、土曜日、日曜日、祝日等を除き10日以内に、完了時は業務完了後、土曜日、日曜日、祝日等を除き10日以内に、調査職員の確認を受けたうえ、登録機関に登録申請しなければならない。
なお、登録内容に訂正が必要な場合、TECRISに基づき、「訂正のための確認のお願い」を作成し、訂正があった日から、土曜日、日曜日、祝日等を除き10日以内に調査職員の確認を受けたうえ、登録機関に登録申請しなければならない。
また、登録機関に登録後、TECRISより「登録内容確認書」をダウンロードし、直ちに監督職員に提出しなければならない。なお、変更時と完了時の間が、土曜日、日曜日、祝日等を除き10日間に満たない場合は、変更時の提出を省略できるものとする。
7. 成果品
成果品については仕様書に基づくものとし、調査職員と十分協議のうえ提出するものとする。
なお、重要構造物についてはチェックリスト、チェックシートを併せて提出するものとする。

道路台帳数値地図情報補修正業務委託特記仕様書

第1章 総則

(適用の範囲)

第1条 本仕様書は仙台市(以下「甲」という)が委託する道路台帳数値地図情報補修正業務(以下「本業務」という)に適用する。

(目的)

第2条 本業務は、道路法第28条及び同法施行規則第4条の2に基づく道路台帳の正確性の確保を旨とし、過年度に施工された工事等により道路現況の変化した箇所及び新規認定路線について、現況測量を行い道路台帳の補修正を行うことを目的とするものである。

(準拠する関係法令及び通達等)

第3条 本業務における作業は、下記の関係法令及び通達等に準拠する。

- (1) 「測量法」
- (2) 「仙台市公共測量作業規程」 平成20年4月24日承認
- (3) 「道路法」
- (4) 「道路法施行規則」
- (5) 「道路法施行規則の改正について」 S34.3.12建設省道路局長通達第100号
- (6) 「道路現況調査要領」国土交通省道路局編
- (7) 「地方交付税法」
- (8) 「地方団体に対して交付すべき地方交付税のうち普通交付税の額の算定に関する省令」
- (9) 「仙台市道路台帳数値地図情報作成仕様書」
- (10) 「その他法令」

(作業概念)

第4条 本業務を施行するに当たっては、「甲」の目的及び主旨を十分に理解した上で経験と知識を有する最上級の主任技術者を定め、かつ適切な人員を配置して最高技術を駆使するように努力するとともに、正確、丁寧に、これを行わなければならない。

(作業指示及び監督)

第5条 本業務を施行するに当たっては「甲」の定める監督員と受託者(以下「乙」という)とは常に連携を図り、「甲」の指示及び監督を受けるものとする。

(実施計画)

第6条 「乙」は、業務着手前に作業実施計画書を作成して「甲」に提出し、「甲」の承認を受けるとともに、作業実施期間中は進捗状況を随時報告するものとする。

(工程表・主任技術者・業務担当者)

第7条 「乙」は本業務に当たり工程表、主任技術者、業務担当者について、所定の期間内

に書面をもって提出し、監督員の承認を受けなければならない。

(疑義)

第8条 「乙」は、本業務の施行上、必要と認められるもので、本仕様書並びに「仙台市道路台帳数値地図情報作成仕様書」の解釈に疑義を生じた事項、及び仕様書等に明記していない事項については「甲」と事前に協議し、その指示に従わなければならない。

(契約の変更・中止)

第9条 「甲」は必要と認めた場合は、業務内容の変更若しくは、業務を一時中止することができる。ただし、業務委託料(以下「委託料」という)若しくは、履行期限(以下「期限」という)の変更が伴わざるを得ない状況が生じた場合は、「甲」、「乙」協議して定めるものとする。

2 前項の場合において、「甲」若しくは「乙」に障害が生じた場合は委託契約書に定めるとおりとする。

(秘密保持)

第10条 「乙」は、本業務中に知り得た情報を第三者に漏らしてはならない。

(成果品に対する検査及び責任)

第11条 「乙」は、成果品の正確性及び精度等に関する検査を実施した後、納品しなければならない。

2 「乙」は成果品納入後に錯誤等が判明した場合、速やかに成果品の訂正、補足、報告等の処理を行わなければならない。これに要する費用は「乙」の負担とする。

(成果品の管理及び権利)

第12条 本業務の成果品の管理及び権利についてはすべて「甲」に帰属されるものとし「乙」が、公表、貸与、若しくは売買することを一切してはならない。

(貸与資料)

第13条 本業務実施に当たっては、「甲」の所有する下記資料を貸与する。

- (1) 道路台帳デジタルデータ(レベル500)
- (2) 市道認定網図(1/10,000)
- (3) 道路台帳平面図
- (4) 補修正箇所位置図(市道認定路線図)
- (5) 1, 2, 3級基準点網図
- (6) 1, 2, 3級基準点点の記
- (7) 1, 2, 3級基準点成果表
- (8) その他資料

2 前項に定めた貸与資料については、種類及び数量等明確にした上で書面により、預かり証を提出しなければならない。

3 1項に定めた貸与資料については、万全の注意を払い管理するとともに業務終了後は、速やかに返還すること。

4 「甲」は、「乙」より貸与資料を返還された場合、貸与資料について種類及び数量等確認した上で、書面により返還証を提出しなければならない。

5 「乙」が1項に定めた貸与資料について、紛失、汚損若しくは消失等した場合は、新たに資料を作成する等現状に回復し返還すること。

6 前項の場合において要する費用については、「乙」の負担とする。

(その他)

第14条 以下の作業において、既知点及び数値地図データ等に異常があった場合、また、作業遂行上疑義が生じた場合は速やかに監督員に報告し、その処置について指示を受けること。

第2章 基準点測量

(目的)

第15条 道路台帳平面図作成のため監督員の指示により基準点を設置する。

(与点)

第16条 本委託における4級基準点の与点は、仙台市が指示する1、2級及び3級基準点を使用するものとする。

(配点計画)

第17条 基準点の配点については、合理的な配点計画を立案すること。

第3章 平面測量

第1節 Aランク路線

(目的)

第18条 本作業は、道路台帳補修正のため、平面測量を実施する路線(以後Aランク路線という。)について、次章以降の作業を行う。

(細部測量)

第19条 道路を管理するために必要な地形、地物のすべてを「仙台市公共測量作業規程」の大縮尺地形図図式並びに別紙の仙台市道路台帳平面図図式に従い図化を行い、道路台帳数値地図情報作成の元となる平板原図を作成する。

(測量範囲)

第20条 平板測量を実施する範囲は道路部を含め、道路端より外側、道路区域の外側の各5mとする。ただし取付け道路については20mまで測定するものとする。

第2節 Bランク路線

第21条 道路台帳補修正箇所位置を現と確認のうえ特定し、特定された箇所の既成道路台帳

平面図を用いオフセット測量を行う路線（以後Bランク路線という。）について，変更内容を把握し，道路台帳数値地図情報の部分修正の元図（オフセット原図）を作成する。

第4章 道路台帳補修正

第1節 共通事項

（用語の定義）

第22条 この章における用語の定義は，次に定めるところによる。

（1）「地形図データ」とは「甲」の保有する「既成図等」を，既成図として数値化した地図データをいう。

（2）「構造化データ」とは前項において作成された「地形図データ」から道路台帳調書を作成するための道路台帳情報を読みとり作成された属性データをいう。

（3）「数値地図データ」とは，仙台市道路台帳数値地図データを指し，「地形図データ」と「構造化データ」からなる。

（作業内容）

第23条 第3章により作成された平板原図及びオフセット原図と道路台帳補修正箇所検証報告書等を用い，「仙台市公共測量作業規程」と「仙台市道路台帳数値地図情報作成仕様書」により「地形図データ」を作成する。次に，道路台帳調書を作成するための道路台帳情報を取得するために道路台帳データの検討を行い「仙台市道路台帳数値地図情報作成仕様書」により「構造化データ」を作成する。その後「数値地図データ」を仙台市道路管理システムで使用できるフォーマットでMOディスク又はCDに格納し，「乙」の責任において目視・論理検査を行った後納品する。

（点検）

第24条 「地形図データ」「構造化データ」共に計測用基図により計測を行いデータを編集し，点検用出力図と計測用基図及び既成図等との整合を目視により行い，錯誤があれば訂正を行う。その際，入力，点検，訂正，確認を行った者を明確にするとともに，「地形図データ」「構造化データ」共に点検項目リストを資料として提出する。また，編集されたデータについても論理チェックを行い上記と同様に入力，点検，訂正，確認を行った者を明確にし，論理チェック項目リスト及び，エラー項目リストを作成し，エラーリストとともに資料として提出すること。

（地区の種別）

第25条 本業務における地区種別の分類については次のとおりとする。

（1）市街部とは建築物の連たんしている大市街地及び市街地の地区とする。

（2）郊外部とはそれ以外の都市近郊・耕地・原野及び森林地区とする。

（隣接工区等との調整）

第26条 隣接工区及び既存データとの接続箇所については，受託者間及び受託者において綿密な調整を図り「数値地図データ」を作成すること。

第2節 地形図データ作成

（計画準備）

第27条 作業計画は、「仙台市公共測量作業規程」によるほか、精度及び数値化する項目等を考慮の上、工程別に作成するものとする。

（計測用基図作成）

第28条 第3章で作成された平板原図及びオフセット原図と道路台帳補修正箇所検証報告書等を計測用基図として使用する。

（計測）

第29条 「仙台市公共測量作業規程」の大縮尺地形図並びに仙台市道路台帳平面図図式に従い、計測機器により分類コードを付加し、ベクトルデータとして入力する。また既存路線のデータとの接合を十分に考慮して作成を行う。

（編集）

第30条 前条にて計測されたベクトルデータを、地図情報レベル500の図郭に編集し、編集装置のグラフィックディスプレイ上で対話処理によりデータの訂正を行い点検用出力図、又はグラフィックディスプレイ上で点検を行う。また、点検の結果、計測漏れ誤り等がある場合は、編集済みのデータの訂正を行うものとする。また、精度、運用基準等ここに定めていない事項については「仙台市公共測量作業規程」に従うものとする。

（拡張DMデータファイル作成）

第31条 前条までに作成した道路台帳平面図ベクトルデータを「仙台市公共測量作業規程」にて規定される拡張デジタルマッピングデータファイル仕様書に従いファイル説明書、出力図サンプルを添付し拡張デジタルマッピングデータファイルを作成する。また、運用基準等ここに定めていない事項については「仙台市公共測量作業規程」に従うものとする。

第3節 構造化データ作成

（計画準備）

第32条 作業に先立ち、作業区域、作業量、作業期間、作業工程について適切な計画を行う。

（資料収集・整理）

第33条 作業に必要な都市計画資料、幹線資料告示情報、道路施設物情報等を「甲」より「乙」に貸与し、後続作業が円滑に遂行できるよう整理を行う。

（計測用基図作成）

第34条 「地形図データ」より出力された図面及び道路台帳補修正箇所検証報告書等により「構造化データ取得分類基準図」を作成する。

(計測)

第35条 前条にて作成した計測用基図より仙台市道路台帳平面図図式に従い,計測機器により分類コードを付加し,ベクトルデータとして入力する。また既存路線のデータとの接合を十分に考慮して作成を行う。

(編集)

第36条 前条にて計測されたベクトルデータを,地図情報レベル500の図郭に編集し,編集装置のグラフィックディスプレイ上で対話処理によりデータの訂正を行い点検用出力図,又はグラフィックディスプレイ上で点検を行う。また,点検の結果,計測漏れ誤り等がある場合は,編集済みのデータの訂正を行うものとする。また,精度,運用基準等ここに定めていない事項については「仙台市公共測量作業規程」に従うものとする。

(拡張DMデータファイル作成)

第37条 前条までに作成した道路台帳平面図ベクトルデータを「仙台市公共測量作業規程」にて規定される拡張デジタルマッピングデータファイル仕様書に従いファイル説明書,出力図サンプルを添付し拡張デジタルマッピングデータファイルを作成する。また,運用基準等ここに定めていない事項については「仙台市公共測量作業規程」に従うものとする。

第5章 成果品

(基準点測量)

第38条 成果等は,次のとおりとする。また下記以外の成果品については「甲」と協議の上提出する。なお,計画機関が指示し,又は承認した場合は電子記憶媒体により提出する。

- | | |
|----------------|----|
| (1) 成果表 | 一式 |
| (2) 成果数値データ | 一式 |
| (3) 基準点網図 | 一式 |
| (4) 観測記簿等 | 一式 |
| (5) 計算簿 | 一式 |
| (6) 精度管理表 | 一式 |
| (7) 点検測量簿 | 一式 |
| (8) 基準点現況調査報告書 | 一式 |
| (9) その他の資料 | 一式 |

(平面測量)

第39条 成果等は,次のとおりとする。また下記以外の成果品については「甲」と協議の上提出する。なお,計画機関が指示し,又は承認した場合は電子記憶媒体により提出する。

- | | |
|-------------------------|----|
| (1) 道路台帳平板原図1/500 | 一式 |
| (2) A Bランク箇所位置図1/10,000 | 一式 |
| (3) 精度管理表 | 一式 |
| (4) その他資料 | 一式 |

(数值地図情報作成)

第40条 成果等は、次のとおりとする。また下記以外の成果品については「甲」と協議の上提出する。

- (1) 拡張DMデータファイル
- (2) 拡張DMデータファイル説明書
- (3) 構造化データ取得分類基準図
- (4) 出力図
- (5) 精度管理表
- (6) 作業記録等 (点検工程記録含) のその他資料

仙台市道路台帳数值地図情報作成仕様書
(世界測地系対応版)

2013/03/15

仙台市建設局道路部道路管理課

(2 4) 官民境界杭.....	89
(2 5) 多角点 (基準点)	90
(2 6) 路線番号	91
(2 7) 電子基準点.....	92
(2 8) 区画線.....	93
(2 9) 普通建物	94
(3 0) ゼブラゾーン	95
2 . 構造化データ入力.....	96
(1) 道路部面	96
(2) 中心線.....	100
(3) 区間線.....	104
(4) 区間面.....	118
(5) 隅切り区間面.....	120
(6) 起終点線.....	121
(7) 起点・終点	122
(8) 歩道計測線	123
(9) 歩道植樹施設計測線.....	127
(1 0) 中央帯計測線.....	129
(1 1) 側溝計測線.....	130
(1 2) 防護柵計測線.....	132
(1 3) 最急勾配箇所面	133
(1 4) 最小半径箇所面	134
(1 5) 立体横断施設箇所面	135
(1 6) 信号設置箇所面	136
(1 7) 視覚障害者誘導用ブロック面.....	137
(1 8) 道路管理者主張線.....	138
(1 9) 区間幅員及び区間切りの要素について	139
3 . 図面番号 (ファイル名) について.....	140
4 . 図式統一に関する判断基準について	140
その他.....	141

はじめに

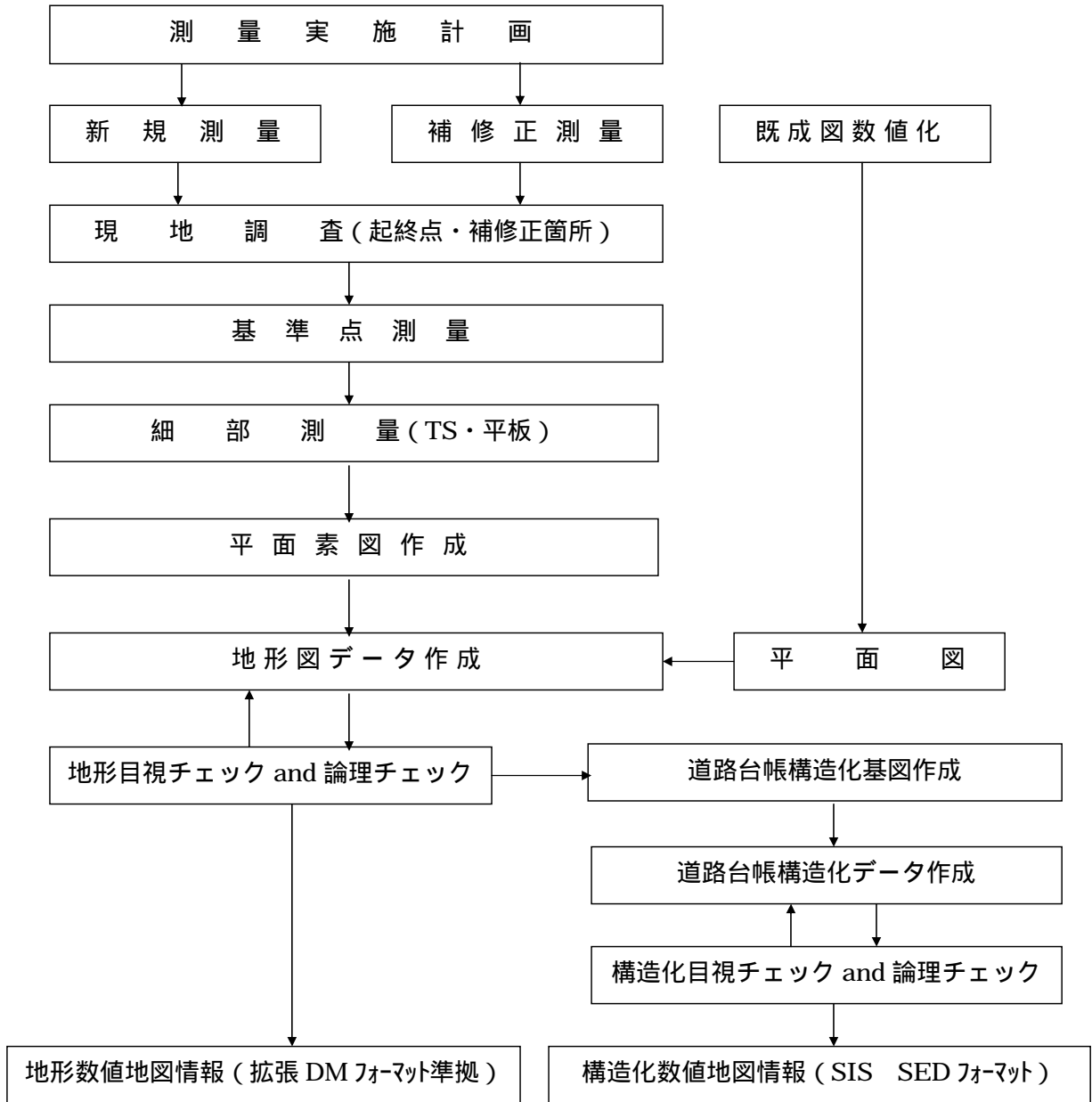
道路台帳は、道路法第 28 条第 1 項及び道路法施行規則第 4 条第 2 項により道路管理者が管理する道路について、その道路の履歴、現況等道路に関する事項を記載した台帳である。

地方交付税及び地方道路譲与税の算定基礎数値ならびに道路施設現況調査、各種照会数値となる道路延長と道路敷の面積等を明確にする調書として活用されている重要なデータであり遺漏がないよう作業を進めることが重要である。

- (1) 作業方式は、平成16年拡張デジタルマッピング実装規約(案)に準拠し、道路台帳数値地図情報作成仕様書(世界測地系対応版-測地成果2011)によるものとする。
- (2) 仙台市道路台帳数値情報データファイル(地形図データ)は、平成16年拡張デジタルマッピング実装規約(案)のデータファイル仕様に準拠する。また、・構造化データファイルは5区2支所単位のデータとし、仙台市道路台帳図面管理システムデータであるSISのオープンファイルSEDフォーマットとする。2種類の地形図データ(拡張DM)、構造化データ(SED)を1組とする。
- (3) データファイルは、原則的に二次元座標レコードとする。
- (4) データ納入後に錯誤が判明した場合、業務委託業者は自己費用負担により速やかに修正して、納入しなければならない。

概念

1. 道路台帳数値地図情報作成フロー



道路台帳数値地図情報データファイルフォーマット

-1 地形図データフォーマット

拡張デジタルマッピングデータファイル仕様(平成16年3月) (1/11)

(1)インデックスレコード(a)

レコードタイプ	座標系	計画機関名	図郭数	図郭識別番号レコード数	使用分類コード数	間断処理フラグ	転位処理フラグ	使用した作業規定		空き領域
								西暦年号	作業規程名	
A2	I2	A30	I3	I2	I4	I1	I1	I4	A30	5X

- レコードタイプ.....「 I 」に固定(はスペースを示す。以下同じ。)
- 座標系.....平面直角座標系の系番号
- 計画機関名.....デジタルマッピングを計画した機関名
- 図郭数.....地域内に含まれる情報区画数
- 図郭識別番号レコード数.....図郭識別番号レコード数
- 使用分類コード数.....当該データで使用している分類コード数(対応テーブルのレコード数)
- 転位処理フラグ.....当該データファイルで、転位区分を設定しているか否か
0 : 転位処理を設定していない
1 : 転位処理を設定している
- 間断処理フラグ.....当該データファイルで、間断区分を設定しているか否か
0 : 間断処理を設定していない
1 : 間断処理を設定している
- 使用した作業規程.....当該データファイルのフォーマットが定められた作業規程の名称
- 西暦年号.....作業規程が施行された西暦年 例 . 2001
- 作業規程名.....使用した作業規程名 例 . 国土交通省公共測量作業規程

(1)インデックスレコード (b)

図郭識別番号	図郭識別番号	図郭識別番号	図郭識別番号	図郭識別番号	図郭識別番号	図郭識別番号	図郭識別番号	図郭識別番号	図郭識別番号	図郭識別番号	空き領域
A8	A8	A8	A8	A8	A8	A8	A8	A8	A8	A8	4X

図郭識別番号.....地域内に含まれる全図郭番号(英数字、図郭識別番号レコード数分繰り返し)

拡張デジタルマッピングデータファイル仕様(平成16年3月)(2/11)

(1) インデックスレコード(c)

使用分類コード		標準の分類コード		使用データタイプフラグ							方向規定区分	座標次元区分	内容記述
レイヤ	項目	レイヤ	項目	面	線	円	点	注記	属性	グリッド			
14		14					911				11	11	

- 使用分類コード.....当該データファイルで使用している分類コード
- 標準の分類コード.....使用している取得分類コードに対応する標準の取得分類コード(デジタルマッピング取得分類基準表)
- レイヤ.....取得分類基準の分類コード上位2桁
- 項目.....取得分類基準の分類コード下位2桁
- 使用データフラグ.....当該取得分類で各データタイプを使用しているか否かを示すフラグ
 0 : 使用していない
 1 : 使用している
- 方向規定区分.....当該取得区分の座標列の方向性をどのように規定しているかを示すフラグ
 0 : 方向性は本規定に準拠
 1 : 別途定めて使用している
- 座標次元区分.....当該座標取得分類の座標値の次元を示すフラグ
 0 : 特に定めない(二次元と三次元が混在)
 2 : 二次元(X, Y)
 3 : 三次元(X, Y, Z)
- 内容記述.....特別に定めた取得分類を使用した場合は、その仕様等の概要を記述

(b)(c)は各々、(a)の図郭識別番号レコード数及び取得分類数だけ繰り返される。

(2) 図郭レコード(a)

レコードタイプ	図郭識別番号	図郭名称	地図情報レベル	タイトル名	修正回数	バージョン	空き領域区分	空き領域
A2	A8	A20	I5	A30	12	11	11	15X

レコードタイプ.....「M」に固定

拡張デジタルマッピングデータファイル仕様 (平成16年3月) (3/11)

- 図郭識別番号 当該図郭の番号 (英数字)
- 図郭名称 当該図郭の図郭名称
- 地図情報レベル 第4編第1章第260条運用基準に従う
- タイトル名 当該図郭のタイトル名
- 修正回数 図郭の修正作業を行った回数、新規作成時は修正回数0 (ゼロ)
- バージョン データファイル仕様のバージョンで、本仕様では1
- 空き領域区分 空き領域をユーザーが利用した場合の区分
0:利用していない。
n:利用している (1 ≤ n ≤ 9)。nの値はユーザーで管理する番号

(2) 図郭レコード (b)

図郭座標(1)				空き領域	要素数	レコード数	座標値の単位	図郭座標(2)				空き領域
左下図郭座標		右上図郭座標						左上図郭座標		右上図郭座標		
X (m)	Y (m)	X (m)	Y (m)					X (m)	Y (m)	X (m)	Y (m)	
17	17	17	17	13	16	17	13	17	17	17	17	9X
----- -----		----- -----		-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----
10		20		30		40		50	60	70		80

- 図郭座標 (1) 図郭の左下隅及び右上隅の、X、Y座標で、単位はメートル
- 要素数 当該図郭に含まれる全要素数
- レコード数 当該図郭ファイルの全レコード数
- 座標値の単位 座標データの単位、mm単位の数値で記述する。
 地図情報レベル500及び1000では「1」 使用している座標値が「mm」単位であることを示す
 地図情報レベル2500及び5000では「10」 使用している座標値が「cm」単位であることを示す
 地図情報レベル10000では「999」 使用している座標値が「m」単位であることを示す
- 図郭座標 (2) 地形図数値化の場合のみ適用
- 図郭の左上隅及び右下隅の、X、Y座標で、単位はメートル

(2) 図郭レコード (c)

隣接図郭識別番号								空き領域
(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	
A8	A8	A8	A8	A8	A8	A8	A8	
----- -----		----- -----		----- -----		----- -----		-----
10		20		30		40		50
60		70		80				20X

拡張デジタルマッピングデータファイル仕様(平成16年3月) (4/11)

隣接図郭識別番号・・・当該図郭の周りの図郭番号(英数字)で、左上から右回り(全部で8枚)、存在しない図郭はスペース

1	2	3
8		4
7	6	5

(2) 図郭レコード(d)

作成年月	現地調査年月	撮影コース数	レコード数	入力機器名	公共測量承認届番号	測地成果識別コード	図郭識別コード	変換手法識別コード	空き領域
14	14	11	11	A30	A30	11	11	11	11X

- 作成年月・・・・・・位置データを作成した年月、西暦の下2桁及び月で表現
 - 現地調査年月・・・・・・現地調査を行った年月、西暦の下2桁及び月で表現
 - 撮影コース数・・・・・・当該図郭に係る写真のコース数
 - レコード件数・・・・・・撮影コースレコード(f)の数
 - 入力機器名・・・・・・位置データを入力した機器名
 - 公共測量承認番号・・・・・・承認番号
 - 測地成果識別コード・・・・・・日本測地系で作成 : 0
 世界測地系で作成 : 1
 日本測地系から世界測地系へ変換 : 2
 - 図郭識別コード・・・・・・図郭が切り直された場合 : 1
 それ以外 : 0
 - 変換手法識別コード・・・・・・図郭代表点を座標変換 : 1
 図郭四隅を座標変換 : 2
 全座標データを座標変換 : 3
 上記以外の座標変換 : 9
 それ以外 : 0
- 日本測地系とは、測量法(昭和24年)に定められた測量の基準、世界測地系とは、測量法(平成14年4月1日施行)に定められた測量の基準

拡張デジタルマッピングデータファイル仕様(平成16年3月) (5/11)

(2) 図郭レコード (e)

作業機関名	図郭座標の端数								空き領域
	左下図郭座標		右上図郭座標		左上図郭座標		右下図郭座標		
	X (cm ・ mm)	Y (cm ・ mm)	X (cm ・ mm)	Y (cm ・ mm)	X (cm ・ mm)	Y (cm ・ mm)	X (cm ・ mm)	Y (cm ・ mm)	
A40	14	14	14	14	14	14	14	14	12X

作業機関名・・・・・・・・・・数值地図製作作業を実施した機関名
 図郭座標の端数で、メートル未満の端数数值を記述する。
 左下図郭座標・・・・・・・・・・左下図郭座標のメートル未満の端数数值を記述する。
 右上図郭座標・・・・・・・・・・右上図郭座標のメートル未満の端数数值を記述する。
 左上図郭座標・・・・・・・・・・左上図郭座標のメートル未満の端数数值を記述する。
 右下図郭座標・・・・・・・・・・右下図郭座標のメートル未満の端数数值を記述する。
 地図情報レベル500及び1000では「mm」単位、地図情報レベル2500以下では「cm」単位

(2) 図郭レコード (f)

撮影		写真		写真番号		撮影		写真		写真番号		撮影		写真		写真番号		空き領域
コース番号	年月	縮尺	枚数	始点	終点	コース番号	年月	縮尺	枚数	始点	終点	コース番号	年月	縮尺	枚数	始点	終点	
A4	14	15	11	14	14	A4	14	15	11	14	14	A4	14	15	11	14	14	

撮影コース番号・・・・・・・・・・当該図郭に関する写真の撮影コース番号(英数字)
 撮影年月・・・・・・・・・・当該図郭に関する写真の撮影年月、西暦の下2桁及び月で表現
 写真縮尺・・・・・・・・・・当該図郭に関する写真の縮尺の分母数
 写真枚数・・・・・・・・・・当該図郭に関する写真の当該コース番号についての枚数
 写真番号・・・・・・・・・・当該図郭に関する写真の始点及び終点番号

(d) (e) (f) は新規作成時に1回、その後は
(d) (e) (f) (d) (e) (f) (d) (e) (f)
 新規 修正1回目 修正2回目
 のように、修正が行われる度に追加される。

拡張デジタルマッピングデータファイル仕様(平成16年3月) (6/11)

(3) グループヘッダレコード (レイヤヘッダレコード及び要素グループヘッダレコード)

レコードタイプ	地図分類コード			要素識別番号	階層レベル	要素数											取得年月	更新の取得年月	消去年月	数値化区分	空き領域	
	分類コード	地域分類	情報分類			総数	グループ	面	線	円	円弧	点	方向	注記	属性	グリッド						
																						レイヤ
A2	14	12	14	14	12	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	11	14	14	14	12	X
	10					20		30		40		50		60		70		80				

レコードタイプ.....「H」に固定
 地図分類コード.....数値地形図の情報体系コード
 分類コード.....取得分類基準表に基づく分類コード
 地域分類コード.....地図情報の属する位置的特性による分類で、必要に応じて利用者が任意に定義するコード(選択項目)
 情報分類コード.....地図情報の利用目的による分類で、必要に応じて利用者が任意に定義するコード(選択項目)
 要素識別番号.....個々の要素を識別するためのもので、一図郭内の分類コード別に、1から4桁の一連番号、10,000を超える場合は0から開始する4桁の一連番号(通常グループヘッダレコードでは0)
 階層レベル.....当該レコードの階層上の位置(通常レイヤヘッダレコードでは1、要素グループヘッダレコードでは2)
 要素数.....1レベル下に存在するデータタイプ別の要素数及びグループ数、総数
 グリッドには、不整三角網が含まれる。
 取得年月.....当該グループに属する要素を取得した年月、西暦の下2桁及び月で表現
 更新の取得年月.....追加形式でファイルを更新する際に用い、当該グループに属する要素を修正更新した年月、西暦の下2桁及び月で表現(選択項目)
 消去年月.....追加形式でファイルを更新する際に用い、当該グループに属する要素に存在しない地物が確認された年月、西暦の下2桁及び月で表現(選択項目)
 数値化区分.....当該グループが主にどのような手法によって数値化されたかを示す区分(精度区分の上位桁)

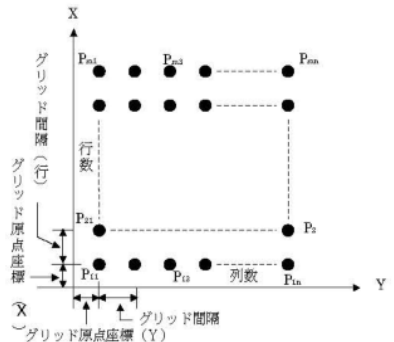
(4) 要素レコード

レコードタイプ	地図分類コード			要素識別番号	階層レベル	図形区分	実データ区分	精度区分	注記区分	転位区分	間断区分	データ数	レコード数	代表点の座標値		属性数値	属性区分	取得年月	更新の取得年月	消去年月	空き領域	要素識別番号反復回数	
	分類コード	地域分類	情報分類											X	Y								
																							レイヤ
A2	14	12	14	14	12	12	11	12	11	12	11	14	14	17	17	17or7X	12	14	14	14	6X	11	
	10					20						30		40		50		60		70		80	

レコードタイプ.....データタイプによって区分される
 地図分類コード.....数値地形図の情報体系コード
 分類コード.....取得分類基準表に基づく分類コード
 地域分類コード.....地図情報の属する位置的特性による分類で、必要に応じて利用者が任意に定義するコード(選択項目)
 情報分類コード.....地図情報の利用目的による分類で、必要に応じて利用者が任意に定義するコード(選択項目)
 要素識別番号.....(3)グループヘッダレコードを参照
 階層レベル.....当該レコードの階層上の位置
 図形区分.....図面出力上必要な区分レコード
 実データ区分.....直後に来る実データレコードの区分

拡張デジタルマッピングデータファイル仕様(平成16年3月) (7/11)

- 精度区分要素ごとのデータの精度
- 注記区分漢字か英数字かの区分
- 転位区分転位処理フラグが1のとき、図面出力において適用される区分
 0: 転位されない。
 n: データの方向に対して右側に転位する。(1 n 9)
 -n: データの方向に対して左側に転位する。(1 n 9)
 取得分類コードに応じて優先順位の高いものから1, 2, . . . , nと記述
- 間断区分間断処理フラグが1のとき、図面出力において適用される区分
 取得分類コードに応じて優先順位の高いものから1, 2, . . . , nと記述
- データ数データタイプによって記述が異なる。
 E1~E6 : 座標数 E7 : 文字数 E8 : 属性数
- レコード数当該要素が持つ実データレコード数
- 代表点の座標値図形の代表となる点、記号や注記の指示座標
 E5 : データ数が0のとき、その点の座標値
 E7 : 始点座標(横書きでは最初の文字の左下座標、縦書きでは最初の文字の左上座標)
- 属性数値図形の代表となる数値、等高線や基準点の標高で、mm単位で記述
- 属性区分利用者が独自に設ける区分で、別途属性区分表にて解説
- 属性データの書式属性レコードを持つ場合の、そのレコードに記述されている内容の書式、Fortran形式で記述
- 取得年月当該要素が最初に取得された年月、西暦の下2桁及びび月で表現
- 更新の取得年月追加形式でファイルを更新する際に用い、当該要素が修正された年月、西暦の下2桁及びび月で表現(選択項目)
- 消去年月追加形式でファイルを更新する際に用い、当該要素が存在しなくなったことが確認された年月、西暦の下2桁及びび月で表現(選択項目)
- 要素識別番号反復回数要素識別番号が4桁を超える場合に用いる。(1~9,999が1、10,000~19,999が2、20,000~29,999が3、.。通常は10,000を超えないために1となる。)



(5) グリッドヘッダレコード

レコードタイプ	地図分類コード				要素識別番号	階層レベル	行数	列数	レコード数	グリッドセルサイズ		グリッド原点座標値		取得年月	更新の取得年月	消去年月	空き領域
	分類コード		地域分類	情報分類						行	列	X	Y				
	レイヤ	項目															
A2	14	12	14	14	12	14	14	14	17	17	17	17	14	14	14	14X	

- レコードタイプ「G」に固定
- 地図分類コード要素グループヘッダレコードを参照
 分類コード、地域分類、情報分類要素グループヘッダレコードを参照
- 要素識別番号要素グループヘッダレコードを参照
- 階層レベル当該レコードの階層上の位置(通常2または3)
- 行数グリッドデータの横(X)方向の並びの数
- 列数グリッドデータの縦(Y)方向の並びの数
- レコード数当該グリッドデータの実データレコード数
- グリッドセルサイズグリッドデータの格子点間距離
- グリッド原点座標値グリッドデータの原点
- 取得年月当該グリッドデータを取得した年月、西暦の下2桁及びび月で表現
- 更新の取得年月追加形式でファイルを更新する際に用い、当該グリッドデータが修正された年月、西暦の下2桁及びび月で表現(選択項目)
- 消去年月追加形式でファイルを更新する際に用い、当該グリッドデータが存在しなくなったことが確認された年月、西暦の下2桁及びび月で表現(選択項目)

拡張デジタルマッピングデータファイル仕様(平成16年3月)(8/11)

(6) 不整三角網ヘッダレコード

レ コ ー ド タ イ プ	地図分類コード				要素 識 別 番 号	階 層 レ ベ ル	図 形 区 分	三 角 形 数	レ コ ー ド 数	取 得 年 月	更 新 の 取 得 年 月	消 去 年 月	空き領域											
	分類コード		地 域 分 類	情 報 分 類																				
	レイ ヤ	項 目																						
A2	14	12	14	14	12	12	16	16	14	14	14	40X												
	10			20			30			40			50			60			70			80		

- レコードタイプ.....「T」に固定
- 地図分類コード.....要素グループヘッダレコードを参照
- 分類コード、地域分類、情報分類.....要素グループヘッダレコードを参照
- 要素識別番号.....要素グループヘッダレコードを参照
- 階層レベル.....当該レコードの階層上の位置(通常は2又は3)
- 三角形数.....三角形の数
- レコード数.....当該三角形の実データレコード数
- 取得年月.....当該不整三角網データを取得した年月、西暦の下2桁及び月で表現
- 更新の取得年月.....追加形式でファイルを更新する際に用い、当該不整三角網データが修正された年月、西暦の下2桁及び月で表現(選択項目)
- 消去年月.....追加形式でファイルを更新する際に用い、当該不整三角網データが存在しなくなったことが確認された年月、西暦の下2桁及び月で表現(選択項目)

(7) 三次元座標レコード

座 標 値			座 標 値			座 標 値			座 標 値														
X	Y	Z	X	Y	Z	X	Y	Z	X	Y	Z												
17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17												
10			20			30			40			50			60			70			80		

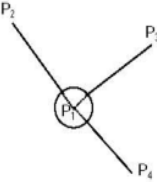
拡張デジタルマッピングデータファイル仕様(平成16年3月) (9/11)

(8) 二次元座標レコード

座 標 値		座 標 値		座 標 値		座 標 値		座 標 値		座 標 値	
X	Y	X	Y	X	Y	X	Y	X	Y	X	Y
17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17

座標値 図郭原点(左下隅)からの測地座標で、要素レコードにあるデータ数と同じ座標数を持つ
 線・面 線上の経過点の座標値
 点 1点の座標値
 円 円周上の3点の座標値
 円弧 円弧上の3点の座標値で、円弧の始点、円弧上の任意の点、円弧の終点の順に待つ
 方向 ある点に対する方向を示す場合(例えば電柱)に用いるもので、2つの座標値を組として方向を示す。
 最初の座標値がその中心を、次の座標値がその方向を表し、1レコードには、三次元座標レコードでは2組の方向データを持つ。
 右の例での方向データは、P1P2、P1P3、P1P4の3組となる(2レコードが必要)

(7)において直前の要素レコードのデータ数が5以上の場合、複数レコード連続する。
 (8)において直前の要素レコードのデータ数が7以上の場合、複数レコード連続する。



(9) 注記レコード

縦横区分	文字列の方向	字大	字隔	線号	注記データ
		(0.1mm)	(0.1mm)		
11	17	15	15	12	A64

縦横区分 文字列の並びが縦が横かの区分
 0 : 横書き : 公共測量
 1 : 縦書き : 工事現場

文字列の方向 注記の表示方向を示す角度。単位は度、範囲は縦書きの場合は-135° ~ -45°、横書きの場合は-45° ~ +45°とする。
 字大 字の大きさ 単位は10分の1ミリメートル
 字隔 字の間隔 単位は10分の1ミリメートル
 線号 字の太さ 線号の号数を記述する
 注記データ 漢字または文字データ(JIS第1及び第2水準) 複数レコードにまたがり、レコードの区切りに全角文字がきた場合には、バイトに分割して格納する。

要素レコードのデータ数が、漢字の場合33以上、英数字の場合65以上の場合、注記レコードが、複数連続する。

拡張デジタルマッピングデータファイル仕様(平成16年3月) (10/11)

(10) 属性レコード

属性データ (書式は書式データに従う)

属性データ.....ユーザーが利用する属性データ、書式は要素レコードに記述された「属性データの書式」による。
 要素レコードのデータ数が2以上の場合、複数レコード連続する。

(11) グリッドレコード

数値(1)	数値(2)	数値(3)	数値(4)	数値(5)	数値(6)	数値(7)	数値(8)	数値(9)	数値(10)	数値(11)	数値(12)
17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17

数値.....各格子点の数値、数値地形モデル法(DTM法)による標高データを記述する場合は、Z座標値(mm単位)が入る。
 全グリッドポイントを記述するまで連続する、データは原点(左下)から右上へ、連続して記述する。グリットポイントが存在しない場合は、「m」単位では-999、「cm」単位では-99900、「mm」単位では-999000を与える。

(12) 不整三角網レコード

座標値(i,1)			座標値(i,2)			座標値(i,3)			座標値(i,4)		
X	Y	Z	X	Y	Z	X	Y	Z	X	Y	Z
17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17

拡張デジタルマッピングデータファイル仕様(平成16年3月)(11/11)

座標値・・・・・・・・・・括弧内に示す順番は、特定の不整三角網レコードの事例である。
 三角形は3点の座標値とする。
 座標値は不整三角網レコードを満たすよう連続して記録する。
 座標値及び三角形の記録する順番は規定しない。

(12)において直前の不整三角網レコードの三角形数が2以上の場合は、複数レコード連続する。

実データ区分

コード	内容
0	実データなし
2	二次元座標レコード
3	三次元座標レコード
4	注記レコード
5	属性レコード

注記区分

コード	内容
0	区分しない
1	漢字
2	英数カナ文字

図形区分

コード	内容	対象となる取得分類項目
0	非区分	下記に該当しない全データ
11	射影部の上端	石段等の両端部、崩土、壁岩、滝、人工斜面、被覆等の射影をもつもの
12	射影部の下端	
21	高欄	道路橋、鉄道橋
22	橋脚	
23	親柱	
26	ガードレール	道路施設
27	ガードパイプ	
31	中庭線	建物
32	棟割線	
33	階層線	
34	外付階段	
35	ポーチ・ひさし	
46	両側敷地のへい	構囲
47	輸送管(空間)	小物体
51	表層面	数値地形モデル
52	海水面	
61	直線	中心線
62	円弧	
63	クロソイド	
64	その他の緩和曲線	
71	石杭	境界標
72	コンクリート	
73	合成樹脂杭	
74	不銹鋼杭	
75	その他の境界標	
76	境界計算点	
77	底辺	三斜線
78	高さ	
81	符号	三斜寸法
82	底辺	
83	高さ	
84	移動後の三斜符号	
99	表現補助データ	横断歩道・石段等の階段部

データタイプ	レコードタイプ
面	E1
線	E2
円	E3
円弧	E4
点	E5
方向	E6
注記	E7
属性	E8

精度区分

コード	上位桁	下位桁
	数値化区分	地図情報レベル区分
1	基準点測量成果を用いる方法	1 ~ 50
2	T/Sを用いた数値実測	~ 100
3	数値図化法・他のDMデータの利用	~ 250
4	既成図数値化(無伸縮図面を使用)*	~ 500
5	既成図数値化(伸縮図面を使用)*	~ 1000
6		~ 2500
7		~ 5000
8		~ 10000
9	その他	その他

間断区分

コード	内容
0	間断しない
1~9	間断する(数値は優先順位)

転位区分

コード	内容
0	転位しない
1~9	座標列の方向に対して右側に転位す
-1~-9	座標列の方向に対して左側に転位す

-2 構造化データフォーマット
(SIS Export Dataset フォーマット)

1. フォーマット概要

SIS Export Datasetフォーマット仕様 (V7.1)

SIS Export Dataset解説

SIS Export Dataset(SED)は、株式会社インフォマティクス製「空間情報システムSIS」が提供する標準の入出力フォーマットです。

SEDはASCII形式のオープンなデータフォーマットなので、容易に編集することができる。

また、SISで扱うほとんどのアイテムクラスをサポートしており、各アイテムのユーザ属性も出力可能です。

SISではこのフォーマットのファイルを直接読み込み、あるいは出力することが可能です。

ユーザはSEDファイルを構築することによって、汎用的にSISで読み込み可能な地図データを作成することが可能になります。

以下、構文例とともにSEDフォーマットの解説をします。

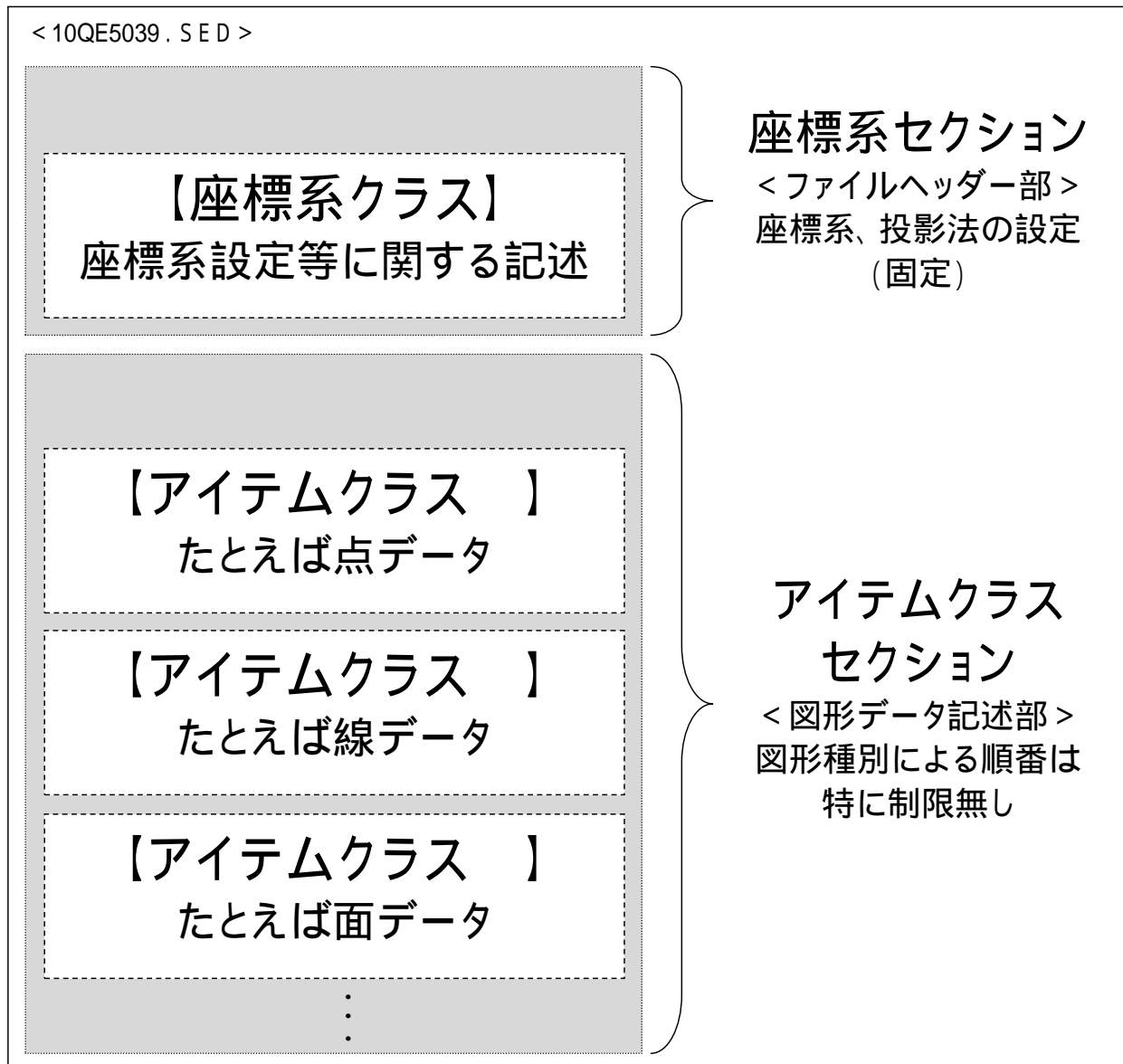
対応アイテム一覧

カテゴリ名	アイテムクラス名
ポイント	ポイント、マルチポイント、ノード
ライン	ライン、マルチライン、トポロジーライン、リンク
ポリゴン	ポリゴン、マルチポリゴン、トポロジーポリゴン

コードの扱い (DM連携)

データタイプ (カテゴリ)	DMレコードタイプ	SEDアイテムコード
面 (ポリゴン)	E1	SisItemArea
線 (ライン)	E2	SisItemLine
点 (ポイント) DMでは「方向」	E6	SisItemPoint

■ファイル構造



2. クラスについて

クラスはSEDファイルを構成する要素で、下記フォーマットで記述します。

クラス名

```
{
パラメータ1,
パラメータ2,
    :
}
```

{ (カッコ) 内で囲まれた部分にはクラスのパラメータをカンマ(,)区切りで記述します。パラメータには他のクラスをパラメータの1つとして保持する場合があります。

例えば、座標データはSisCurvePolyline (直線) およびSisCurveBulge (曲線) クラスで情報を持ちますので、ラインアイテムのSisItemLineクラスはパラメータとして両クラスを持つ場合があります。

パラメータの表示について

パラメータの表記には以下の留意点があります。

□ 16進数表記

パラメータの中には16進数で表記するものがあります。SISから出力した場合、すべて先頭2桁に「0x」がついた表記になります。例えば、「0x00000001」のように表記されます。値が16進数であれば「0x」は省略しても構いません。

□ 指数表記

浮動小数点のパラメータを表記する場合、指数表記 (例: +1.000000000000e+001) を使用できます。SISから出力した場合、すべて指数表記が使用されます。

□ 座標値表記

座標値の表記はカンマ区切りのX,Y,Z座標値の先頭に「{」を、最後に「}」を記述した表記になります。例えば、「{-1.69,-1.69,0.0}」のように表記されます。各座標系の値はSISから出力した場合、すべて指数表記が使用されます。

3. 座標系セクション

座標系 (投影法) 関連のパラメータ情報を記述するセクションです。以下のクラスで構成されます。

- 1 . 座標系クラス(SisCoordinateSystem)
- 2 . データムクラス(SisDatum)
- 3 . 楕円体クラス(SisEllipsoid)
- 4 . 横メルカトルクラス(SisTransverseMercator)

1 . 座標系クラス(SisCoordinateSystem)

XY座標系/経緯度座標系

設定値: XY座標系 = 「Metres」

経緯度座標系 = 「Degrees」

メートルへの変換係数

投影法番号

設定値: 経緯度 = 「2」

平面直角座標系(2000) = 「2442 (+1 ~ 19)」

2. データムクラス(SisDatum)

このクラスは座標系クラスの「データムクラス有り/無し」パラメータが「true」の場合のみ存在します。
 投影法で使用しているデータムの各種情報が記述されるクラスです。

データム番号

設定値： WGS84 = 「1」

Tokyo = 「2」

Ireland1965 = 「3」

Great Britain = 「4」

ED50 (西ヨーロッパのみ) = 「5」

NorthAmerican1927 = 「6」

NorthAmerican1983 = 「7」

その他 = 「0」

楕円体赤道半径 (m)

楕円体極半径 (m)

, , 7WGS84変換パラメータ

楕円体の中心を移動する距離X,Y,Z(m)

, , 7WGS84変換パラメータ

楕円体をそれぞれの軸 (X,Y,Z) で回転させる角度 (秒)

7WGS84変換パラメータ

スケールの補正值 (ppm,100万の1)

7WGS84変換パラメータ

本初(グリニッジ)子午線の経緯度の位置(ラジアン)

現在このパラメータは無効ですが、記述は必須です

設定値： 「0」

3. 楕円体クラス(SisEllipsoid)

このクラスは座標系クラスの「楕円体クラス有り/無し」パラメータが「true」の場合のみ存在します。
 投影法で使用している地球楕円体のパラメータが記述されるクラスです。

楕円体赤道半径 (m)

楕円体極半径 (m)

4. 横メルカトルクラス(SisTransverseMercator)

このクラスは座標系クラスの「横メルカトルクラス有り/無し」パラメータが「true」の場合のみ存在します。
 横メルカトル図法の投影法の場合、各種パラメータが記述されるクラスです。

横メルカトルの原点の経度 (°)

横メルカトルの原点の緯度 (°)

縮尺係数

, , 擬原点の位置 (X,Y,Z) (m)

<構文例>

SisCoordinateSystem 座標系クラス開始

{

Degrees, (1-)

111319, (1-)

4301, (1-)

true, (1-)

true, (1-)

```

true, (1- )
SisDatum データムクラス開始
{
1, (2- )
6.37814e+006, (2- )
6.35675e+006, (2- )
0, (2- )
0, (2- )
0, (2- )
0, (2- )
0, (2- )
0, (2- )
0, (2- )
0 (2- )
}, データムクラス終了
SisEllipsoid 楕円体クラス開始
{
6.37814e+006, (3- )
6.35607e+006 (3- )
} 楕円体クラス終了
SisTransverseMercator 横メルカトルクラス開始
{
0, (4- )
0, (4- )
0.9996, (4- )
0, (4- )
0, (4- )
0 (4- )
} 横メルカトルクラス終了
} 座標系クラス終了

```

4. アイテムクラスセクション

図形情報を記述するセクションです。サポートしているアイテムクラス分の情報のクラスで構成されます。以下のクラスのうち、該当するクラスで構成されます。

1. 全アイテム共通

1-1 . 全アイテム共通クラス(SisItem)

1-1-1 . ユーザ属性クラス(SisAS)

2. ポイント

2-1 . ポイントアイテムクラス (SisItemPoint)

2-2 . マルチポイントアイテムクラス (SisItemMultiPoint)

2-2-1 . ポイントアイテムリストクラス(SisPL)

2-3 . ノードアイテムクラス (SisItemNode)

2-3-1 . ジャンクション情報クラス(CDWordArray)

3. ライン

3-1 . 線形アイテム共通クラス (SisCurvePolyline,SisCurveBulge)

3-1-1 . 直線アイテム共通クラス(SisCurvePolyline)

3-1-2 . 曲線アイテム共通クラス(SisCurveBulge)

- 3-2 . ラインアイテムクラス (SisItemLine)
- 3-3 . 複合体ポリラインクラス (SisCurveComplex)
- 3-4 . マルチラインアイテムクラス (SisItemMultiLine)
- 3-4-1 . ラインアイテムリストクラス(SisLL)
- 3-5 . チェーンアイテムクラス (SisItemChain)
- 3-5-1 . アイテムID配列クラス(CDWordArray)
- 3-6 . リンクアイテムクラス (SisItemLink)

4 . エリア

- 4-1 . エリアアイテムクラス (SisItemArea)
- 4-1-1 . ループクラス(SisCL)
- 4-2 . マルチエリアアイテムクラス (SisItemMultiArea)
- 4-2-1 . エリアアイテムリストクラス(SisAL)
- 4-3 . ポリゴンアイテムクラス (SisItemPolygon)
- 4-3-1 . ループ情報クラス(CDWordArray)
- 4-3-2 . リンク情報クラス(CDWordArray)

5 . テキスト

- 5-1 . ボックステキストアイテムクラス (SisItemTextFixed)
- 5-2 . ラベルテキストアイテムクラス (SisItemTextLabel)
- 5-3 . ポイントテキストアイテムクラス (SisItemText)

6 . コレクション

- 6-1 . ブロックアイテムクラス (SisBlock)
- 6-2 . ブロックアイテム挿入クラス(SisItemInsert)
- 6-3 . アセンブリアイテムクラス (SisItemAssembly)
- 6-4 . グループアイテムクラス (SisItemGroup)
- 6-4-1 . アイテムリストクラス(SisIL)
- 6-5 . マルチジオメトリアイテムクラス (SisItemMultiGeometry)
- 6-5-1 . マルチアイテムリストクラス(SisIL)

1 全アイテム共通

1-1 . 全アイテム共通クラス (SisItem)

このクラスは全アイテム共通のクラスです。各アイテムクラスの最初に記述されます。

```

アイテムID(_id&)(16進数)
地物コード(_FC&)
地物テーブル(_featureTable$)
最小スケール(_scalemin#)
最大スケール(_scalemax#)
スケール(_scale#)
レベル(_level&)
ブラシ(_brush$(無名ブラシの構文で指定)
レイヤ(_layer$)
ペン(_pen$(無名ペンの構文で指定)
シェイプ名称
    
```

1-1-1 . ユーザ属性クラス(SisAS)

このクラスは全アイテム共通クラス (SisItem) でのみ記述されるクラスです。このクラスにはアイテムごとに設定されたユーザ属性情報が記述されます。

~n 以下の構文でユーザ属性名とその設定値を記述します

ユーザ属性の型が実数型の場合

例: SisValueDouble{"test3#",+1.01}

ユーザ属性の型が整数型の場合

例: SisValueLong{"test2#",1}

ユーザ属性の型が文字列型の場合

例: SisValueString{"test\$","テスト"}

<構文例>

```
SisltemArea
{
Sisltem 全アイテム共通クラス開始
{
0x00000001, (1-1- )
0, (1-1- )
"", (1-1- )
+0.0000000000000000e+000, (1-1- )
+0.0000000000000000e+000, (1-1- )
+1.0000000000000000e+000, (1-1- )
0, (1-1- )
"B_ST_130:255:127_255:255:255", (1-1- )
"", (1-1- )
"P_SOLID_196:0:0_OR_0", (1-1- )
"", (1-1- )
SisAS ユーザ属性クラス開始
{
SisValueDouble{"test3#",+1.01}, (1-1-1- )
SisValueLong{"test2#",1}, (1-1-1- )
SisValueString{"test$","テスト"} (1-1-1- )
} ユーザ属性クラス終了
} 全アイテム共通クラス終了
}
```

2 ポイント

2-1 . ポイントアイテムクラス (SisltemPoint)

このクラスはポイントアイテムの情報を記述するクラスです。

角度(_angle#) (ラジアン)

座標値

XY座標系 : 原点X(_ox#),原点Y(_oy#),原点Z(_oz#)

<構文例>

```
SisltemPoint ポイントアイテムクラス開始
{
Sisltem
{
・,
},
+0.0000000000000000e+000, (2-1- )
{-3.584245076586436e+001,+8.271334792122531e+000,+0.0} (2-1- )
```

} ポイントアイテムクラス終了

2 - 2 . マルチポイントアイテムクラス (SisltemMultiPoint)

このクラスはマルチポイントアイテムの情報を記述するクラスです。このクラスは複数のポイントアイテムクラスから構成されるポイントアイテムリストクラス(SisPL)の記述が必須です。

2 - 2 - 1 . ポイントアイテムリストクラス(SisPL)

このクラスは複数のポイントアイテムクラス(SisltemPoint)を1つのクラスとして定義します。ポイントアイテムクラス(SisltemPoint)はいくつでも定義可能です。

<構文例>

SisltemMultiPoint マルチポイントアイテムクラス開始

{

Sisltem

{

・

},

SisPL ポイントアイテムリストクラス開始

{

SisltemPoint ポイントアイテムクラス

{

・

},

SisltemPoint ポイントアイテムクラス

{

・

},

・

} ポイントアイテムリストクラス終了

} マルチポイントアイテムクラス終了

2 - 3 . ノードアイテムクラス (SisltemNode)

このクラスはノードアイテムの情報を記述するクラスです。ポイントアイテムクラス (SisltemPoint) とジャンクション情報クラス(CDWordArray)の記述が必要です。

なお、ジャンクション情報クラス(CDWordArray)の情報は現バージョンではサポートされません。

自動削除(_bAuto&)

設定値： 自動削除される = 「true」

自動削除されない = 「false」

エッジフラグ(_bEdge&)

設定値： エッジ = 「True」

エッジでない = 「false」

2 - 3 - 1 . ジャンクション情報クラス(CDWordArray)

ジャンクション情報はサポートしませんが記述は必須です。

ジャンクジョン情報

設定値： 常に「0」

<構文例>

```

SisItemNode ノードアイテムクラス開始
{
SisItemPoint ポイントアイテムクラス
{
.
},
CDWordArray ジャンクション情報クラス開始
{
0x00000000 (2-3-1- )
}, ジャンクション情報クラス終了
false, (2-3- )
false (2-3- )
} ノードアイテムクラス終了

```

3 ライン

3 - 1 . 線形アイテム共通クラス (SisCurvePolyline,SisCurveBulge)

このクラスはライン、リンクなど線形アイテムのポリライン情報を記述するクラスです。各線形アイテムクラス（エリア、ラインアイテムなど）はこのクラスの記述を必要とします。

直線の場合は直線アイテム共通クラス(SisCurvePolyline)、曲線の場合は曲線アイテム共通クラス(SisCurveBulge)を記述します。

3 - 1 - 1 . 直線アイテム共通クラス(SisCurvePolyline)

頂点数(_np&)

閉じたポリラインの場合は頂点数+1

~ n 頂点ごとの座標値

閉じたポリラインの場合はn番目座標値に1番目座標値と同じ値を記述

XY座標系： 原点X(_ox#),原点Y(_oy#),原点Z(_oz#)

3 - 1 - 2 . 曲線アイテム共通クラス(SisCurveBulge)

バルジ開始位置X,Y,Z

バルジ終了位置X,Y,Z

バルジファクタ値(曲率値)

, , 単位ベクトルX,Y,Z

設定値：通常「0」、「0」、「1」

<構文例>

SisCurvePolyline 直線アイテム共通クラス開始

```

{
5, (3-1-1- )
{-7.136212624584715e+000,-4.311461794019934e+001,+0.0}, (3-1-1- )
{-7.136212624584715e+000,+5.322425249169436e+001,+0.0}, (3-1-1- )
.
{-7.136212624584715e+000,-4.311461794019934e+001,+0.0} (3-1-1-n)
} 直線アイテム共通クラス終了

```

SisCurveBulge 曲線アイテム共通クラス開始

```

{
{-1.693654266958424e+001,-1.693654266958424e+001,+0.0}, (3-1-2- )
{-1.115975206966952e+001,+0.000000000000000e+000,+0.0}, (3-1-2- )
+2.020723133945935e-001, (3-1-2- )

```

```
+0.0000000000000000e+000, (3-1-2- )
+0.0000000000000000e+000, (3-1-2- )
+1.0000000000000000e+000 (3-1-2- )
}  曲線アイテム共通クラス終了
```

3 - 2 . ラインアイテムクラス (SisItemLine)

このクラスはラインアイテムの情報を記述するクラスです。線形アイテム共通クラス (SisCurvePolyline,SisCurveBulge)、複合体ポリラインクラス (SisCurveComplex) などで構成されます。

<構文例>

```
SisItemLine  ラインアイテムクラス開始
{
SisItem
{
.
},
SisCurvePolyline  直線アイテム共通クラス開始
{
.
},  直線アイテム共通クラス終了
SisCurveBulge  曲線アイテム共通クラス開始
{
.
}  曲線アイテム共通クラス終了
}  ラインアイテムクラス終了
```

3 - 3 . 複合体ポリラインクラス (SisCurveComplex)

このクラスは複数の線形アイテム共通クラス (SisCurvePolyline,SisCurveBulge) を1つのクラスとして扱うためのクラスです。たとえば円弧付きラインなどを作図する場合はこのクラスを使用します。

<構文例>

```
SisCurveComplex  複合体ポリラインクラス開始
{
SisCurveBulge  曲線アイテム共通クラス
{
.
}
SisCurveBulge  曲線アイテム共通クラス
{
.
}
SisCurvePolyline  直線アイテム共通クラス
{
.
}・
}  複合体ポリラインクラス終了
```

3 - 4 . マルチラインアイテムクラス (SisItemMultiLine)

このクラスはマルチラインアイテムの情報を記述するクラスです。このクラスは複数のラインアイテムクラスから構成

されるラインアイテムリストクラス(SisLL)の記述が必須です。

3-4-1. ラインアイテムリストクラス(SisLL)

このクラスは複数のラインアイテムクラス(SisItemLine)を1つのクラスとして定義します。ラインアイテムクラス(SisItemLine)はいくつでも定義可能です。

<構文例>

```
SisItemMultiLine   マルチラインアイテムクラス開始
{
  SisItem
  {
    .
  },
  SisLL   ラインアイテムリストクラス開始
  {
    SisItemLine   ラインアイテムクラス
    {
      .
    },
    SisItemLine   ラインアイテムクラス
    {
      .
    },
    .
  }   ラインアイテムリストクラス終了
}   マルチラインアイテムクラス終了
```

3-5. トポロジーラインアイテムクラス (SisItemChain)

このクラスはトポロジーラインアイテムの情報を記述するクラスです。

このクラスはポイントアイテムクラス、アイテムID配列クラスで構成されます。

1 トポロジーカテゴリ(_cluster\$)

3-5-1. アイテムID配列クラス(CDWordArray)

関連するリンクリストをアイテムIDで記述します。

トポロジーライン下のリンク数 (16進数)

~n 該当するリンクのアイテムID(_id&) (16進数)

リンクとトポロジーラインのベクトルの向きが違う場合、-(アイテムID)と記述

<構文例>

```
SisItemChain   トポロジーラインアイテムクラス開始
{
  SisItemPoint
  {
    .
  },
  CDWordArray   アイテムID配列クラス開始
  {
    0x00000001, (3-5-1- )
    0x00000004 (3-5-1- )
  },   アイテムID配列クラス終了
```



```
"カテゴリ 1" (3-5- )
} トポロジーラインアイテムクラス終了
```

3 - 6 . リンクアイテムクラス (SisltemLink)

このクラスはリンクアイテムの情報を記述するクラスです。ラインアイテムクラス (SisltemLine) の記述が必要です。

自動削除(_bAuto&)

設定値： 自動削除される = 「true」

自動削除されない = 「false」

始点側ノードアイテムのアイテムID(_id&) (16進数)

終点側ノードアイテムのアイテムID(_id&) (16進数)

方向フラグ(_fDirection&)

設定値： 両方向 = 「0」

リンクの向きと同じ = 「1」

リンクの向きと逆向き = 「2」

<構文例>

```
SisltemLink リンクアイテムクラス開始
{
SisltemLine
{
.
},
true, (3-6- )
0x00000001, (3-6- )
0x00000002, (3-6- )
0 (3-6- )
} リンクアイテムクラス終了
```

4 ポリゴン

4 - 1 . ポリゴンアイテムクラス (SisltemArea)

このクラスはポリゴンアイテムの情報を記述するクラスです。ループクラス (SisCL) などで構成されます。

シードの位置を指定する/しない

設定値： する = 「true」

しない = 「false」

シード位置座標値

XY座標系： 原点X(_ox#),原点Y(_oy#),原点Z(_oz#)

4 - 1 - 1 . ループクラス(SisCL)

このクラスはポリゴンアイテムクラスの子クラスです。線形アイテム共通クラスもしくは複合体ポリラインクラスで構成されます。

ループとはポリゴンを成す閉じた図形のことを意味します。

ループを構成する図形情報 (線形アイテム共通クラス、複合体ポリラインクラス)

<構文例>

```
SisltemArea ポリゴンアイテムクラス開始
{
Sisltem
{
.
}
```

```

},
SisCL   ループクラス開始
{
SisCurvePolyline (4-1-1- )
  {
  .
  }
},   ループクラス終了
true, (4-1- )
{+8.665207877461697e+000,-6.695842450765866e+000,+0.0} (4-1- )
}   ポリゴンアイテムクラス終了

```

4 - 2 . マルチポリゴンアイテムクラス (SisltemMultiArea)

このクラスはマルチポリゴンアイテムの情報を記述するクラスです。このクラスは複数のポリゴンアイテムクラスから構成されるポリゴンアイテムリストクラス(SisAL)の記述が必須です。

4 - 2 - 1 . ポリゴンアイテムリストクラス(SisAL)

このクラスは複数のポリゴンアイテムクラス(SisltemArea)を1つのクラスとして定義します。ポリゴンアイテムクラス(SisltemArea)はいくつでも定義可能です。

<構文例>

```

SisltemMultiArea   マルチポリゴンアイテムクラス開始
{
Sisltem
{
.
},
SisAL   ポリゴンアイテムリストクラス開始
{
SisltemArea   ポリゴンアイテムクラス
{
.
},
SisltemArea   ポリゴンアイテムクラス
{
.
},
.
}   ポリゴンアイテムリストクラス終了
}   マルチポリゴンアイテムクラス終了

```

4 - 3 . トポロジーポリゴンアイテムクラス (SisltemPolygon)

このクラスはトポロジーポリゴンアイテムの情報を記述するクラスです。ポイントアイテムクラス(SisltemPoint)の記述が必要でこのクラスの記述の前に関連するリンクアイテムクラスの記述が必須です。

1 トポロジーカテゴリ(_cluster\$)

4 - 3 - 1 . ループ情報クラス(CDWordArray)

ループ数(_numloops&) (16進数)

2 各ループのリンク数 (16進数)

4 - 3 - 2 . リンク情報クラス(CDWordArray)

リンク数 (16進数)

~ n 各リンクのアイテムID(_id&) (16進数)

<構文例>

```
SisltemPolygon トポロジーアイテムクラス開始
{
SisltemPoint
{
.
},
CDWordArray ループ情報クラス開始
{
0x00000001, (4-3-1- )
0x00000005 (4-3-1- )
}, ループ情報クラス終了
CDWordArray リンク情報クラス開始
{
0x00000005, (4-3-2- )
0x00000032, (4-3-2- )
0xfffffc8, (4-3-2- )
. ,
0xffffbb (4-3-2-n)
}, リンク情報クラス終了
"" (4-3- )
} トポロジーアイテムクラス終了
```

5 テキスト

5 - 1 . ボックステキストアイテムクラス (SisltemTextFixed)

このクラスはボックステキストアイテムの情報を記述するクラスです。

角度(_angle#) (ラジアン)

基準点の配置位置座標値

XY座標系 : 原点X(_ox#), 原点Y(_oy#), 原点Z(_oz#)

文字高さ(_character_height#)

XY座標系 : m

経緯度座標系 : °

フォント(_font\$)

テキスト内容(_text\$)

文字垂直位置揃え(_text_alignV&)・文字水平位置揃え(_text_alignH&)

設定値 : 上・左 = 「0」

上・右 = 「2」

上・中央 = 「6」

下・左 = 「8」

下・右 = 「10」

下・中央 = 「14」

ベースライン・左 = 「24」

ベースライン・右 = 「26」

ベースライン・中央= 「30」

中央・左= 「72」

中央・右= 「74」

中央・中央= 「78」

太文字(_text_bold&)、イタリック(_text_italic&)、下線(_text_underlined&)

設定値： なし= 「0」

太文字= 「1」

イタリック= 「2」

太文字・イタリック= 「3」

下線= 「4」

太文字・下線= 「5」

イタリック・下線= 「6」

太文字・イタリック・下線= 「7」

<構文例>

SisltemTextFixed ボックステキストアイテムクラス開始

{

Sisltem

{

.

},

+0.0000000000000000e+000, (6-1-)

{-5.487230836952102e-008,+2.344717294460255e-007,+0.0}, (6-1-)

+3.169056696754978e-008, (6-1-)

"M S P ゴシック", (6-1-)

"ボックステキスト", (6-1-)

6, (6-1-)

0 (6-1-)

} ボックステキストアイテムクラス終了

5 - 2 . ラベルテキストアイテムクラス (SisltemTextLabel)

このクラスはラベルテキストアイテムの情報を記述するクラスです。このクラスはボックステキストアイテムクラス(SisltemTextFixed)の記述が必要です。

基準点の配置位置座標値

XY座標系： 原点X(_ox#),原点Y(_oy#),原点Z(_oz#)

<構文例>

SisltemTextLabel ラベルテキストアイテムクラス開始

{

SisltemTextFixed ボックステキストアイテムクラス

{

.

},

{+3.7196499999999999e+003,-4.2881279999999999e+004,+0.0000000000000000e+000}(6-2-)

} ラベルテキストアイテムクラス終了

5 - 3 . ポイントテキストアイテムクラス (SisltemText)

このクラスはポイントテキストアイテムの情報を記述するクラスです。

角度(_angle#) (ラジアン)

基準点の配置位置座標値

XY座標系: 原点X(_ox#), 原点Y(_oy#), 原点Z(_oz#)

文字ポイント高さ (文字ポイント高さ*10)

フォント(_font\$)

テキスト内容(_text\$)

文字垂直位置揃え(_text_alignV&)・文字水平位置揃え(_text_alignH&)

設定値: 上・左 = 「0」

上・右 = 「2」

上・中央 = 「6」

下・左 = 「8」

下・右 = 「10」

下・中央 = 「14」

ベースライン・左 = 「24」

ベースライン・右 = 「26」

ベースライン・中央 = 「30」

中央・左 = 「72」

中央・右 = 「74」

中央・中央 = 「78」

太文字(_text_bold&)、イタリック(_text_italic&)、下線(_text_underlined&)

設定値: なし = 「0」

太文字 = 「1」

イタリック = 「2」

太文字・イタリック = 「3」

下線 = 「4」

太文字・下線 = 「5」

イタリック・下線 = 「6」

太文字・イタリック・下線 = 「7」

<構文例>

SisItemText ポイントテキストアイテムクラス開始

{

SisItem

{

.

};

+0.0000000000000000e+000, (6-3-)

{-1.467291583639268e-008,+5.575708017829208e-008,+0.0}, (6-3-)

100, (6-3-)

"MS Pゴシック", (6-3-)

"ポイントテキスト", (6-3-)

0, (6-3-)

0 (6-3-)

} ポイントテキストアイテムクラス終了

6 コレクション

6-1 . ブロックアイテムクラス (SisBlock)

ブロックアイテムを記述するにはブロックアイテムクラス (SisBlock)、ブロックアイテム挿入クラス(SisItemInsert)

の2つのクラスを記述する必要があります。必ずブロックアイテム挿入クラス(SisltemInsert)の記述の前にブロックアイテムクラス (SisBlock) を記述します。

ブロックアイテムクラス (SisBlock) ではブロックアイテムを構成するそれぞれのアイテムクラスの記述をします。また、アイテムリストクラス(SisIL)の記述が必要です。

ブロックの基準点座標X,Y,Z

ブロック名(_block\$)

6 - 2 . ブロックアイテム挿入クラス(SisltemInsert)

このクラスではブロックアイテムの配置情報を記述します。

X軸の方向を示す単位ベクトル

Y軸の方向を示す単位ベクトル

Z軸の方向を示す単位ベクトル

基準点の配置位置座標値

XY座標系： 原点X(_ox#),原点Y(_oy#),原点Z(_oz#)

ブロック番号 (16進数)

<構文例>

SisBlock ブロック定義クラス開始

{

{+0.0,+0.0,+0.0}, (7-1-)

SisIL アイテムリストクラス開始

{

SisltemArea 各アイテムクラス

{

Sisltem

{

0x00000000,

.

},

},

.

}, アイテムリストクラス終了

"家屋" (7-1-)

}

SisltemInsert ブロックアイテムクラス開始

{

Sisltem

{

.

},

{+1.0000000000000000e+000,+0.0000000000000000e+000,+0.0}, (7-2-)

{+0.0000000000000000e+000,+1.0000000000000000e+000,+0.0}, (7-2-)

{+0.0000000000000000e+000,+0.0000000000000000e+000,+1.0}, (7-2-)

{+4.056892778993435e+001,+1.614879649890591e+001,+0.0}, (7-2-)

0x00000001 (7-2-)

} ブロックアイテムクラス終了

6 - 3 . アセンブリアイテムクラス (SisltemAssembly)

このクラスはアセンブリアイテムの情報を記述するクラスです。

このクラスの記述の前に、必ずアセンブリを構成する個々のアイテムクラスの記述が必要になります。

構成するアイテム数

~ n 構成するアイテムのアイテムID(_id&) (16進数)

<構文例>

```
SisltemAssembly アセンブリアイテムクラス開始
{
SisltemPoint
{
Sisltem
{
.
},
.
},
4, (7-3- )
0x00000004, (7-3- )
0x00000001, (7-3- )
. ,
0x00000003 (7-3-n)
} アセンブリアイテムクラス終了
```

6 - 4 . グループアイテムクラス (SisltemGroup)

このクラスはグループアイテムの情報を記述するクラスです。このクラスはアイテムリストクラス(SisIL)の記述が必要です。

6 - 4 - 1 . アイテムリストクラス(SisIL)

このクラスはグループを構成するそれぞれのアイテムクラスを記述するクラスです。

<構文例>

```
SisltemGroup グループアイテムクラス開始
{
Sisltem
{
.
},
SisIL アイテムリストクラス開始
{
SisltemArea 各アイテムクラス
{
.
},
.
} アイテムリストクラス終了
} グループアイテムクラス終了
```

6 - 5 . マルチジオメトリアイテムクラス (SisltemMultiGeometry)

このクラスはマルチジオメトリアイテムの情報を記述するクラスです。このクラスは複数のアイテムクラスから構成されるマルチアイテムリストクラス(SisIL)の記述が必須です。

6 - 5 - 1 . マルチアイテムリストクラス(SisIL)

このクラスは複数の各アイテムクラスを1つのクラスとして定義します。アイテムクラスはいくつでも定義可能です。

<構文例>

```
SisltemMultiGeometry   マルチジオメトリアイテムクラス開始
{
  Sisltem
  {
    .
  },
  SisIL   マルチアイテムリストクラス開始
  {
    SisltemPoint   各アイテムクラス
    {
      .
    },
    SisltemLine    各アイテムクラス
    {
      .
    },
    .
  }   マルチアイテムリストクラス終了
}   マルチジオメトリアイテムクラス終了
```


5. ファイルフォーマット例

■座標系セクション

・座標系クラス(ヘッダー部)

1234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890		
SisCoordinateSystem		座標系、投影法の設定
{		記述開始
	Metres,	< (固定)XY座標系
	1.000000000000000e+000,	< (固定)”m”への変換係数
	2452,	< (固定)投影法番号 平面直角座標系(2000).10系
	true,	< (固定)データム有無
	true,	< (固定)楕円体有無
	true,	< (固定)横メルカトル有無
SisDatum		データム記述
{		記述開始
	6612,	< (固定)JGD2000
	6.378137000000000e+006,	< (固定)楕円体赤道半径(m)
	6.356752314140360e+006,	< (固定)楕円体極半径(m)
	+0.000000000000000e+000,	< (固定)WGS84変換移動係数X(m)
	+0.000000000000000e+000,	< (固定)WGS84変換移動係数Y(m)
	+0.000000000000000e+000,	< (固定)WGS84変換移動係数Z(m)
	+0.000000000000000e+000,	< (固定)WGS84変換回転係数X(秒)
	+0.000000000000000e+000,	< (固定)WGS84変換回転係数Y(秒)
	+0.000000000000000e+000,	< (固定)WGS84変換回転係数Z(秒)
	+0.000000000000000e+000,	< (固定)WGS84変換縮尺補正
	+0.000000000000000e+000	< (固定)本初子午線位置補正‘0’
	},	記述終了
SisEllipsoid		楕円体記述
{		記述開始
	6.378137000000000e+006,	< (固定)楕円体赤道半径(m)
	6.356752314140360e+006	< (固定)楕円体極半径(m)
	},	記述終了
SisTransverseMercator		横メルカトル記述
{		記述開始
	+1.408333333333330e+002,	< (固定)横メルカトル原点経度(°)
	+4.000000000000000e+001,	< (固定)横メルカトル原点緯度(°)
	9.999000000000000e-001,	< (固定)擬原点位置縮尺補正X(m)
	-0.000000000000000e+000,	< (固定)擬原点位置縮尺補正Y(m)
	-0.000000000000000e+000,	< (固定)擬原点位置縮尺補正Z(m)
	+0.000000000000000e+000	< (固定)
	}	記述終了
	}	記述終了

■アイテムクラスセクション
・アイテムクラス(点データ)

1234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890		
SisItemPoint		点データの設定
{		記述開始
	SisItem	図形共通設定
	{	記述開始
	0x00000001,	<アイテムID
	9101,	<DMコード
	"拡張DM.500",	<地物テーブル
	+0.0000000000000000e+000,	<最小スケール
	+0.0000000000000000e+000,	<最大スケール
	+1.0000000000000000e+000,	<スケール
	0,	<レベル
	"B_ST_85:237:254_255:255:255",	<塗潰しスタイル
	"",	<レイヤ名
	"P_SOLID_128:128:128_OR_0",	<ペンスタイル
	"",	<シンボル名
	SisAS	属性記述
	{	記述開始
	SisValueString{"Atr5\$","地番:親,"},	<Atr5
	SisValueString{"Atr4\$","町名カナ,"},	<Atr4
	SisValueString{"Atr1\$","路線番号,050374"},	<Atr1
	SisValueString{"Atr6\$","地番:枝,"},	<Atr6
	SisValueString{"Atr0\$","道路の種類,3"},	<Atr0
	SisValueLong{"dmFigType&",0},	<FigType
	SisValueLong{"dmType&",6},	<ClassLocal
	SisValueString{"Atr3\$","町名漢字,"},	<Atr3
	SisValueString{"Atr2\$","町名コード,"},	<Atr2
	SisValueLong{"dmCode&",9101}	<Code
	}	記述終了
	}	記述終了
	+2.407141865520004e+000	<確度(ラジアン)
	{+3.967035000000000e+003,-1.959425730000000e+005,+0.000000000000000e+000}	<座標値X,Y,Z(m)
	}	記述終了

・アイテムクラス(線データ)

1234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890		
SisItemLine		線データの設定
{		記述開始
	SisItem	図形共通設定
	{	記述開始
	0x00000062	< アイテムID
	9103	< DMコード
	"拡張 DM.500",	< 地物テーブル
	+0.0000000000000000e+000	< 最小スケール
	+0.0000000000000000e+000	< 最大スケール
	+1.0000000000000000e+000	< スケール
	0	< レベル
	"B_ST_85:237:254_255:255:255"	< 塗潰しスタイル
	""	< レイヤ名
	"P_SOLID_102:255:0_OR_0"	< ペンスタイル
	""	< シンボル名
	SisAS	属性記述
	{	記述開始
	SisValueString{"Atr4\$","連番,1"},	< Atr4
	SisValueString{"Atr5\$","中央帯区分,1"},	< Atr5
	SisValueString{"Atr1\$","路線番号,920286"},	< Atr1
	SisValueLong{"dmFigType&","0"},	< FigType
	SisValueString{"Atr0\$","道路の種類,1"},	< Atr0
	SisValueLong{"dmType&","2"},	< ClassLocal
	SisValueString{"Atr2\$","区間番号:親,12"},	< Atr2
	SisValueString{"Atr3\$","区間番号:枝,0"},	< Atr3
	SisValueLong{"dmCode&","9307"},	< Code
	}	記述終了
	}	記述終了
	SisCurvePolyline	線データ記述
	{	記述開始
	4,	< 頂点数(閉合:+1)
	{+4.0000000000000000e+003,-1.9591509400000000e+005,+0.0000000000000000e+000},	< 座標値X,Y,Z(m)
	{+3.9846950000000000e+003,-1.9594668100000000e+005,+0.0000000000000000e+000},	
	{+3.9763470000000000e+003,-1.9596464000000000e+005,+0.0000000000000000e+000},	
	{+3.8631810000000000e+003,-1.9620000000000000e+005,+0.0000000000000000e+000}	
	}	記述終了
	}	記述終了

・アイテムクラス(面データ)

1234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890		
SisItemArea		面データの設定
{		記述開始
	SisItem	図形共通設定
	{	記述開始
	0x00000007,	<アイテムID
	9401,	<DMコード
	"拡張 DM.500",	<地物テーブル
	+0.0000000000000000e+000	<最小スケール
	+0.0000000000000000e+000	<最大スケール
	+1.0000000000000000e+000	<スケール
	0	<レベル
	"B_ST_85:237:254_255:255:255"	<塗潰しスタイル
	""	<レイヤ名
	"P_SOLID_128:128:128_OR_0",	<ペンスタイル
	""	<シンボル名
	SisAS	属性の設定
	{	記述開始
	SisValueString{"Atr1\$", "路線番号,920286"},	< Atr1
	SisValueString{"Atr0\$", "道路の種類,1"},	< Atr0
	SisValueLong{"dmFigType&",0},	< FigType
	SisValueLong{"dmType&",1},	< ClassLocal
	SisValueString{"Atr3\$", "修正年月日,2013/03/15"},	< Atr3
	SisValueString{"Atr2\$", "修正業者,株式会社仙台建設道路コンサルティング"},	< Atr2
	SisValueLong{"dmCode&",9401}	< Code
	}	記述終了
	}	記述終了
	SisCL	ループ設定
	{	記述開始
	SisCurvePolyline	面データ記述
	{	記述開始
	15,	<頂点数(閉合:+1)
	{+3.9345090000000000e+003,-1.9609347100000000e+005,+0.0000000000000000e+000},	<座標値X,Y,Z(m)
	{+3.9402900000000000e+003,-1.9609663600000000e+005,+0.0000000000000000e+000},	
	{+3.9550420000000000e+003,-1.9606528800000000e+005,+0.0000000000000000e+000},	
	{+3.9451750000000000e+003,-1.9607132900000000e+005,+0.0000000000000000e+000},	
	{+3.9506340000000000e+003,-1.9605992900000000e+005,+0.0000000000000000e+000},	
	{+3.9606600000000000e+003,-1.9605434400000000e+005,+0.0000000000000000e+000},	
	{+3.9567200000000000e+003,-1.9604722300000000e+005,+0.0000000000000000e+000},	
	{+4.0000000000000000e+003,-1.9595698800000000e+005,+0.0000000000000000e+000},	
	{+4.0000000000000000e+003,-1.9590000000000000e+005,+0.0000000000000000e+000},	
	{+3.9864340000000000e+003,-1.9590000000000000e+005,+0.0000000000000000e+000},	
	{+3.9680000000000000e+003,-1.9593818100000000e+005,+0.0000000000000000e+000},	
	{+3.9642750000000000e+003,-1.9594839400000000e+005,+0.0000000000000000e+000},	
	{+3.8431000000000000e+003,-1.9620000000000000e+005,+0.0000000000000000e+000},	
	{+3.8831700000000000e+003,-1.9620000000000000e+005,+0.0000000000000000e+000},	

仙台市建設局道路部道路管理課

		000000000000000e+000},	
		{+3.934509000000000e+003,-1.960934710000000e+005,+0.000000000000000e+000}	
	}		記述終了 ’
	}		記述終了 ’
	true,		<シード位置指定有無
	{+3.930721169183925e+003,-1.960589590663440e+005,+0.000000000000000e+000}		<座標値X,Y,Z(m)
	}		記述終了 ’

表現分類コードおよび属性一覧表

1. 地形データファイル

分類コード	図形区分	タイプ	分類	名称	取得基準	仙台用
1001	0	E2	図郭	図面情報	図郭の4隅を取得する (始終点座標一致)実線4号	
1101	0	E2	境界	都府県界	境界の位置と一致する	
1103	0	E2	境界	郡市・東京都の区界	"	
1104	0	E2	境界	町村・指定都市の区界	"	
1106	0	E2	境界	大字・町・丁目界	"	
1107	0	E2	境界	小字界	"	
1111	0	E5	境界	行政区の代表点	行政区の名称を属性データとして入力するための点	
2101	0	E2	道路	真幅道路(街区線)	道路縁線を取得(原則として閉じない)	
2104	0	E2	道路	センターライン(白線)	中心線を取得 実線4号	
2104	99	E2	道路	車線規制・停止線等(白線)	" 実線4号	
2105	0	E2	道路	区画線	" 実線4号	
2106	0	E2	道路	庭園路等	通路縁線を取得(道路の終端は、原則として閉じない)	
2107	0	E2	道路	トンネル内の道路	"	
2109	0	E2	道路	建設中の道路	"	
2109	0	E6	道路	「建設中」の記号	「建設中」を点位置とする場合	
2110	0	E2	道路	舗装界	舗装種別が変化する位置を取得 破線3号	
2110	0	E7(半)	道路	舗装種別	範囲内に文字(半角)情報として取得 字大2.0mm 字隔0.0mm	
2111	0	E2	道路	路面種別界	中心線を取得 破線3号	
2111	1	E2	道路	路面種別界(アスファルト系)	舗装の外側を取得一点鎖線3号	
2111	2	E2	道路	" (コンクリート系)	" 実線3号	
2111	3	E2	道路	" (砂利等)	" 短破線3号	
2112	0	E2	道路	立体交差下部	道路縁線を取得 破線3号	
2203	0	E2	道路施設	道路橋	縁線を取得	
2203	21	E2	道路施設	道路橋[高欄]	中心線を取得	
2203	22	E2	道路施設	道路橋[橋脚]	縁線を取得	
2203	23	E2	道路施設	道路橋[橋台前面]	中心線を取得 破線3号	

仙台市建設局道路部道路管理課

分類コード	図形区分	タイプ	分類	名称	取得基準	仙台用
2204	0	E2	道路施設	木橋	縁線を取得	
2204	21	E2	道路施設	木橋 [高欄]	中心線を取得	
2205	0	E2	道路施設	徒橋	"	
2206	0	E2	道路施設	栈道橋	縁線を取得	
2206	21	E2	道路施設	栈道橋 [高欄]	中心線を取得	
2206	22	E2	道路施設	栈道橋 [橋脚]	"	
2206	23	E2	道路施設	栈道橋 [橋台前面]	" 破線 3 号	
2211	0	E2	道路施設	横断歩道橋	外周を取得 (始終点座標一致)	
2211	99	E2	道路施設	横断歩道橋 [階段]	階段部を取得	
2212	0	E2	道路施設	地下横断歩道	外周を取得 (始終点座標一致)	
2212	99	E2	道路施設	地下横断歩道 [階段]	階段部を取得	
2213	0	E2	道路施設	歩道	車道との界線を取得	
2214	0	E2	道路施設	石段	外周を取得 (始終点座標一致)	
2214	99	E2	道路施設	石段 [階段等]	外周以外の線を取得	
2215	0	E2	道路施設	地下街・地下鉄等出入口	外周を取得 (始終点座標一致)	
2215	99	E2	道路施設	地下街・地下鉄等出入口 [階段]	階段部を取得	
2216	0	E2	道路施設	横断歩道 (白線)	外周を取得 (始終点座標一致) 実線 3 号	
2216	99	E2	道路施設	横断歩道 (白線) [補助線]	外周以外の線を取得 実線 6 号	
2217	0	E2	道路施設	視覚障害者誘導用ブロック	外周を取得 (始終点座標一致) 短破線 3 号	
2218	0	E2	道路施設	歩道舗装界	舗装種別が変化する位置を取得 破線 3 号	
2218	0	E7(半)	道路施設	歩道舗装種別	範囲内に文字(半角)情報として 取得 字大 1.5mm 字隔 0.0mm	
2219	0	E2	道路施設	道路のトンネル	坑口部分の外周を取得。上端線 は低い方を右に、下端線は高い 方を右にデータを取得	
2219	0	E6	道路施設	道路のトンネル：極小	中央位置の点と方向を取得	
2221	0	E6	道路施設	バス停	位置の点情報を取得	
2222	0	E2	道路施設	安全地帯	外周を取得 (始終点座標一致)	
2223	0	E2	道路施設	ゼブラゾーン	" 実線 3 号	
2223	99	E2	道路施設	ゼブラゾーン [補助線]	外周以外の線を取得 実線 6 号	
2225	0	E2	道路施設	チャッターバー	中心位置を取得 実線 3 号	
2226	0	E2	道路施設	分離帯	外周を取得 (始終点座標一致)	
2227	0	E2	道路施設	駒止	構造物の中心線を取得	
2228	0	E2	道路施設	道路の雪覆い等	外周を取得 (始終点座標一致)	

仙台市建設局道路部道路管理課

分類コード	図形区分	タイプ	分類	名称	取得基準	仙台用
2229	0	E2	道路施設	縁石（歩道単断面）	外周を取得（始終点座標一致） 実線3号	
2231	0	E2	道路施設	側溝 U字溝無蓋	縁線を取得	
2232	0	E2	道路施設	側溝 U字溝有蓋	〃	
2233	0	E2	道路施設	側溝 L字溝	〃	
2234	0	E2	道路施設	側溝地下部	地下経路縁線を取得	
2235	0	E2	道路施設	雨水桝	外周を取得（始終点座標一致）	
2236	0	E2	道路施設	並木桝	〃	
2237	0	E2	道路施設	側溝 グレーチング	〃 実線3号	
2237	99	E2	道路施設	側溝 グレーチング[補助線]	外周以外の線を取得 実線3号	
2238	0	E5	道路施設	並木	樹木の位置の点情報を取得	
2239	0	E5	道路施設	植樹	植樹の位置の点情報を取得	
2241	0	E6	道路施設	道路情報板	脚の位置の点情報を取得	
2242	0	E6	道路施設	道路標識 案内	〃	
2243	0	E6	道路施設	道路標識 警戒	〃	
2244	0	E6	道路施設	道路標識 規制	〃	
2245	0	E6	道路施設	道路標識 その他	〃 大きさ 2.5mm ,3号	
2246	0	E6	道路施設	信号灯	ポールの位置と信号機の向き	
2247	0	E6	道路施設	信号灯(専用ポールのないもの)	信号機の位置と向き	
2251	0	E5	道路施設	交通量観測所	位置の点情報を取得	
2252	0	E5	道路施設	スノーポール	〃	
2253	0	E5	道路施設	カーブミラー	〃	
2254	0	E5	道路施設	視線誘導標	〃 大きさ 1.0mm ,3号	
2255	0	E5	道路施設	距離標 (k m)	〃	
2256	0	E5	道路施設	距離標 (m)	位置の点情報を取得	
2261	0	E2	道路施設	電話ボックス:真形	外周の線を取得	
2261	0	E5	道路施設	電話ボックス	位置の点情報を取得	
2261	9	E5	道路施設	電話ボックス:[真形文字記号]	範囲内に点情報を取得	
2262	0	E5	道路施設	郵便ポスト	位置の点情報を取得	
2263	0	E5	道路施設	火災報知器	〃	
2271	0	E2	道路施設	車線分離標	中心位置を取得 実線3号	
2272	0	E2	道路施設	側溝(特殊)U字・L型以外	縁線を取得 破線3号	

仙台市建設局道路部道路管理課

分類 コード	図形 区分	タイプ	分 類	名 称	取 得 基 準	仙 台 用
2301	0	E2	鉄道	普通鉄道	線路の座標を取得	
2302	0	E2	鉄道	地下鉄地上部	〃	
2304	0	E2	鉄道	モノレール	中心線を取得	
2305	0	E2	鉄道	特殊鉄道	〃	
2306	0	E2	鉄道	索道	〃	
2309	0	E2	鉄道	建設中の鉄道	外周を取得	
2310	0	E2	鉄道	踏切	外周を取得（始終点座標一致） 実線3号	
2310	99	E2	鉄道	踏切〔補助線〕	外周以外の線を取得 実線3号	
2311	0	E2	鉄道	トンネル 普通鉄道	線路の座標を取得	
2312	0	E2	鉄道	トンネル 地下鉄地下部	〃	
2314	0	E2	鉄道	トンネル モノレール	中心線を取得	
2315	0	E2	鉄道	トンネル 特殊鉄道	〃	
2401	0	E2	鉄道施設	鉄道橋（高架部）	縁線を取得	
2401	41	E2	鉄道施設	鉄道橋〔構造物外周〕	〃	
2401	42	E2	鉄道施設	鉄道橋〔橋脚〕	〃	
2411	0	E2	鉄道施設	跨線橋	外周を取得	
2412	0	E2	鉄道施設	地下通路	地下通路縁線を取得	
2419	0	E2	鉄道施設	鉄道のトンネル	坑口部分の外周を取得。上端線 は低い方を右に、下端線は高い 方を右にデータを取得	
2419	0	E6	鉄道施設	鉄道のトンネル：極小	中央位置の点と方向を取得	
2424	0	E2	鉄道施設	プラットフォーム	外周を取得（始終点座標一致）	
2425	0	E2	鉄道施設	プラットフォーム上屋	〃	
2426	0	E2	鉄道施設	モノレール橋脚	〃	
2428	0	E2	鉄道施設	鉄道の雪覆い等	〃	
3001	0	E2	建物	普通建物	〃	
3001	31	E2	建物	普通建物〔中庭線〕	〃	
3001	32	E2	建物	普通建物〔棟割線〕		
3001	33	E2	建物	普通建物〔階層線〕		
3001	34	E2	建物	普通建物〔外付階段〕	外周を取得（始終点座標一致）	
3001	35	E2	建物	普通建物〔ポーチ・ひさし〕	〃	

仙台市建設局道路部道路管理課

分類 コード	図形 区分	タイプ	分 類	名 称	取 得 基 準	仙 台 用
3002	0	E2	建物	堅ろう建物	外周を取得（始終点座標一致）	
3002	31	E2	建物	堅ろう建物〔中庭線〕	〃	
3002	32	E2	建物	堅ろう建物〔棟割線〕		
3002	33	E2	建物	堅ろう建物〔階層線〕		
3002	34	E2	建物	堅ろう建物〔外付階段〕	外周を取得（始終点座標一致）	
3002	35	E2	建物	堅ろう建物〔ポーチ・ひさし〕	〃	
3003	0	E2	建物	普通無壁舎	〃	
3004	0	E2	建物	堅ろう無壁舎	〃	
3401	0	E2	付属物	門	門柱の外周を取得（始終点座標一致）	
3401	99	E2	付属物	門〔門扉〕	門扉を取得	
3402	0	E2	付属物	屋門	建物の中の道路縁線を取得	
3403	0	E2	付属物	たたき	外周を取得（始終点座標一致）	
3403	99	E5	付属物	たたき〔中記号〕	範囲内に点情報を取得	
3404	0	E2	付属物	プール	水部との境を取得（始終点座標一致）	
3503	0	E5	建物記号	官公署	記号の表示位置の点情報を取得（ただし、平面図形は記号の中心、側面図形は記号の下中央部）	
3504	0	E5	建物記号	裁判所	〃	
3505	0	E5	建物記号	検察庁	〃	
3507	0	E5	建物記号	税務署	〃	
3508	0	E5	建物記号	税関	〃	
3509	0	E5	建物記号	郵便局	〃	
3510	0	E5	建物記号	森林管理署	〃	
3511	0	E5	建物記号	測候所	〃	
3512	0	E5	建物記号	工事事務所	〃	
3513	0	E5	建物記号	出張所	〃	
3514	0	E5	建物記号	警察署	〃	
3515	0	E5	建物記号	交番	〃	
3516	0	E5	建物記号	消防署	〃	

仙台市建設局道路部道路管理課

分類 コード	図形 区分	タイプ	分類	名称	取得基準	仙 台 用
3517	0	E5	建物記号	職業安定所	〃	
3518	0	E5	建物記号	土木事務所	〃	
3519	0	E5	建物記号	役場支所および出張所	〃	
3521	0	E5	建物記号	神社	〃	
3522	0	E5	建物記号	寺院	〃	
3523	0	E5	建物記号	キリスト教会	〃	
3524	0	E5	建物記号	学校	〃	
3525	0	E5	建物記号	幼稚園・保育園	〃	
3526	0	E5	建物記号	公会堂・公民館	〃	
3527	0	E5	建物記号	博物館	〃	
3528	0	E5	建物記号	図書館	〃	
3529	0	E5	建物記号	美術館	〃	
3531	0	E5	建物記号	保健所	〃	
3532	0	E5	建物記号	病院	〃	
3534	0	E5	建物記号	銀行	〃	
3536	0	E5	建物記号	協同組合	〃	
3539	0	E5	建物記号	デパート	〃	
3545	0	E5	建物記号	倉庫	〃	
3546	0	E5	建物記号	火薬庫	〃	
3548	0	E5	建物記号	工場	〃	
3549	0	E5	建物記号	発電所	〃	
3550	0	E5	建物記号	変電所	〃	
3552	0	E5	建物記号	浄水場	〃	
3556	0	E5	建物記号	揚・排水機場	〃	
3559	0	E5	建物記号	公衆便所	〃	
3560	0	E5	建物記号	ガソリンスタンド	〃	
4101	0	E2	公共施設	マンホール(未分類)	蓋の外周の線を取得	
4101	0	E5	公共施設	マンホール(未分類)：極小	点位置情報を取得	
4101	99	E5	公共施設	マンホール(未分類) [文字記号]	範囲内に点情報を取得	
4111	0	E2	公共施設	マンホール(共同溝)	蓋の外周の線を取得	

仙台市建設局道路部道路管理課

分類 コード	図形 区分	タイプ	分 類	名 称	取 得 基 準	仙 台 用
4111	0	E5	公共施設	マンホール(共同溝)：極小	点位置情報を取得	
4111	99	E5	公共施設	マンホール(共同溝) [文字記号]	範囲内に点情報を取得	
4119	0	E5	公共施設	有線柱	柱の位置を取得	
4119	99	E6	公共施設	有線柱 [架線]	架線の方向を取得	
4121	0	E2	公共施設	マンホール(ガス)	蓋の外周の線を取得	
4121	0	E5	公共施設	マンホール(ガス)：極小	点位置情報を取得	
4121	99	E5	公共施設	マンホール(ガス)[文字記号]	範囲内に点情報を取得	
4131	0	E2	公共施設	マンホール(電話)	蓋の外周の線を取得	
4131	0	E5	公共施設	マンホール(電話)：極小	点位置情報を取得	
4131	99	E5	公共施設	マンホール(電話)[文字記号]	範囲内に点情報を取得	
4132	0	E5	公共施設	電話柱	柱の位置を取得	
4132	99	E6	公共施設	電話柱 [架線]	架線の方向を取得	
4141	0	E2	公共施設	マンホール(電気)	蓋の外周の線を取得	
4141	0	E5	公共施設	マンホール(電気)：極小	点位置情報を取得	
4141	99	E5	公共施設	マンホール(電気)[文字記号]	範囲内に点情報を取得	
4142	0	E5	公共施設	電力柱	柱の位置を取得	
4142	99	E6	公共施設	電力柱 [架線]	架線の方向を取得	
4151	0	E2	公共施設	マンホール(下水)	蓋の外周の線を取得	
4151	0	E5	公共施設	マンホール(下水)：極小	点位置情報を取得	
4151	99	E5	公共施設	マンホール(下水)[文字記号]	範囲内に点情報を取得	
4161	0	E2	公共施設	マンホール(水道)	蓋の外周の線を取得	
4161	0	E5	公共施設	マンホール(水道)：極小	点位置情報を取得	
4161	99	E5	公共施設	マンホール(水道)[文字記号]	範囲内に点情報を取得	
4171	0	E2	公共施設	C A B	外周を取得 実線 3号	
4171	99	E5	公共施設	C A B [文字記号]	範囲内に点情報を取得 大きさ 2.0mm, 3号	
4201	0	E2	その他の小物体	墓碑：台座	台座があるものは、台座の外周 を取得（始終点座標一致）	
4201	0	E5	その他の小物体	墓碑	記号の表示位置の点情報を取得	

仙台市建設局道路部道路管理課

分類コード	図形区分	タイプ	分類	名称	取得基準	仙台用
4202	0	E2	その他の小物体	記念碑：台座	台座があるものは、台座の外周を取得（始終点座標一致）	
4202	0	E5	その他の小物体	記念碑	記号の表示位置の点情報を取得	
4203	0	E2	その他の小物体	立像：台座	台座があるものは、台座の外周を取得（始終点座標一致）	
4203	0	E5	その他の小物体	立像	記号の表示位置の点情報を取得	
4204	0	E2	その他の小物体	路傍祠：台座	台座があるものは、台座の外周を取得（始終点座標一致）	
4204	0	E5	その他の小物体	路傍祠	記号の表示位置の点情報を取得	
4205	0	E2	その他の小物体	灯ろう：台座	台座があるものは、台座の外周を取得（始終点座標一致）	
4205	0	E5	その他の小物体	灯ろう	記号の表示位置の点情報を取得	
4206	0	E6	その他の小物体	狛犬	位置の点情報と向きを取得	
4207	0	E2	その他の小物体	鳥居	脚は外周を取得（始終点座標一致）横線は射影の中心線を取得	
4207	0	E6	その他の小物体	鳥居：極小	中央位置の点と方向を取得	
4211	0	E5	その他の小物体	官民境界杭[既成図]	位置の点情報を取得 大きさ 1.5mm, 3号	
4212	0	E5	その他の小物体	官民境界杭[T S 測量取得分]	” 大きさ 1.5mm, 3号	
4215	0	E5	その他の小物体	消火栓	”	
4216	0	E5	その他の小物体	消火栓 立型	”	
4217	0	E2	その他の小物体	地下換気口	外周を取得（始終点座標一致）	
4217	99	E5	その他の小物体	地下換気口	範囲内に点情報を取得	
4219	0	E2	その他の小物体	坑口	坑口部分の外周を取得。上端線は低い方を右に、下端線は高い方を右にデータを取得	
4219	0	E6	その他の小物体	坑口：極小	中央位置の点と方向を取得	
4221	0	E5	その他の小物体	独立樹（広葉樹）	記号の表示位置の点情報を取得	
4222	0	E5	その他の小物体	独立樹（針葉樹）	”	
4223	0	E2	その他の小物体	噴水	構造物の外周を線情報で取得（始終点座標一致）	
4223	0	E5	その他の小物体	噴水：極小	記号の表示位置の点情報を取得	

仙台市建設局道路部道路管理課

分類コード	図形区分	タイプ	分類	名称	取得基準	仙台用
4224	0	E2	その他の小物体	井戸	構造物の外周を線情報で取得 (始終点座標一致)	
4224	0	E5	その他の小物体	井戸：極小	記号の表示位置の点情報を取得	
4225	0	E2	その他の小物体	油井・ガス井	構造物の外周を線情報で取得 (始終点座標一致)	
4225	0	E5	その他の小物体	油井・ガス井：極小	記号の表示位置の点情報を取得	
4226	0	E2	その他の小物体	貯水槽	構造物の外周を線情報で取得 (始終点座標一致)	
4226	0	E5	その他の小物体	貯水槽：極小	記号の表示位置の点情報を取得	
4227	0	E2	その他の小物体	肥料槽	構造物の外周を線情報で取得 (始終点座標一致)	
4227	0	E5	その他の小物体	肥料槽：極小	記号の表示位置の点情報を取得	
4228	0	E2	その他の小物体	起重機	構造物の外周を線情報で取得 (始終点座標一致)	
4228	0	E5	その他の小物体	起重機：極小	記号の表示位置の点情報を取得	
4231	0	E2	その他の小物体	タンク	形状に応じて円・線で表示。円の場合は、円周上の3点を取得	
4231	0	E5	その他の小物体	タンク：極小	中央位置を点で取得	
4232	0	E2	その他の小物体	給水塔	基部の外周(始終点座標一致)を線情報で、記号表示位置を点情報で取得	
4232	0	E5	その他の小物体	給水塔：極小	中央位置を点情報で取得	
4233	0	E2	その他の小物体	火の見	基部の外周(始終点座標一致)を線情報で、記号表示位置を点情報で取得	
4233	0	E5	その他の小物体	火の見：極小	中央位置を点情報で取得	
4234	0	E2	その他の小物体	煙突	基部の外周(始終点座標一致)を線情報で、記号表示位置を点情報で取得	
4234	0	E5	その他の小物体	煙突：極小	中央位置を点情報で取得	

仙台市建設局道路部道路管理課

分類コード	図形区分	タイプ	分類	名称	取得基準	仙台用
4235	0	E2	その他の小物体	高塔	基部の外周（始終点座標一致）を線情報で、記号表示位置を点情報で取得	
4235	0	E5	その他の小物体	高塔：極小	中央位置を点情報で取得	
4236	0	E2	その他の小物体	電波塔	基部の外周（始終点座標一致）を線情報で、記号表示位置を点情報で取得	
4236	0	E5	その他の小物体	電波塔：極小	中央位置を点情報で取得	
4237	0	E5	その他の小物体	照明灯	記号表示位置を点で取得	
4238	0	E5	その他の小物体	防犯灯	〃	
4241	0	E2	その他の小物体	灯台	基部の外周（始終点座標一致）を線情報で、記号表示位置を点情報で取得	
4241	0	E5	その他の小物体	灯台：極小	中央位置を点情報で取得	
4242	0	E2	その他の小物体	航空灯台	基部の外周（始終点座標一致）を線情報で、記号表示位置を点情報で取得	
4242	0	E5	その他の小物体	航空灯台：極小	中央位置を点情報で取得	
4243	0	E5	その他の小物体	灯標	記号表示位置を点情報で取得	
4245	0	E2	その他の小物体	ヘリポート	標識線の外周を取得（始終点座標一致）を	
4245	0	E5	その他の小物体	ヘリポート：極小	中央位置を点情報で取得	
4251	0	E2	その他の小物体	水位観測所	基部の外周（始終点座標一致）を線情報で、記号表示位置を点情報で取得	
4251	0	E5	その他の小物体	水位観測所：極小	中央位置を点情報で取得	
4252	0	E2	その他の小物体	流量観測所	基部の外周（始終点座標一致）を線情報で、記号表示位置を点情報で取得	
4252	0	E5	その他の小物体	流量観測所：極小	中央位置を点情報で取得	

仙台市建設局道路部道路管理課

分類コード	図形区分	タイプ	分類	名称	取得基準	仙台用
4253	0	E2	その他の小物体	雨量観測所	基部の外周（始終点座標一致）を線情報で、記号表示位置を点情報で取得	
4253	0	E5	その他の小物体	雨量観測所：極小	中央位置を点情報で取得	
4254	0	E2	その他の小物体	水質観測所	基部の外周（始終点座標一致）を線情報で、記号表示位置を点情報で取得	
4254	0	E5	その他の小物体	水質観測所：極小	中央位置を点情報で取得	
4255	0	E2	その他の小物体	波浪観測所	基部の外周（始終点座標一致）を線情報で、記号表示位置を点情報で取得	
4255	0	E5	その他の小物体	波浪観測所：極小	中央位置を点情報で取得	
4256	0	E2	その他の小物体	風向・風速観測所	基部の外周（始終点座標一致）を線情報で、記号表示位置を点情報で取得	
4256	0	E5	その他の小物体	風向・風速観測所：極小	中央位置を点情報で取得	
4261	0	E2	その他の小物体	輸送管（地上）	外周を取得（始終点座標一致）	
4262	0	E2	その他の小物体	輸送管（空間）	〃	
4265	0	E2	その他の小物体	送電線	中心線を取得（鉄塔間で区切らず連続データとする）	
5101	0	E2	水部	河川	界線を取得	
5102	0	E2	水部	細流	中心線を取得	
5103	0	E2	水部	かれ川	範囲を示す縁線を取得	
5104	0	E2	水部	用水路	界線を取得	
5105	0	E2	水部	湖池	〃	
5105	0	E5	水部	湖池	記号表示位置を取得	
5106	0	E2	水部	海岸線	界線を取得	
5106	0	E5	水部	海岸線	記号表示位置を取得	
5107	0	E2	水部	水路 地下部	地下水路縁線を取得	
5111	0	E2	水部	低位水がい線（干潟線）	界線を取得	
5202	0	E2	水部に関する構造物	栈橋（鉄・コンクリート）	海側を右に外周を取得	
5203	0	E2	水部に関する構造物	栈橋（木）	外周を取得	

仙台市建設局道路部道路管理課

分類コード	図形区分	タイプ	分類	名称	取得基準	仙台用
5204	0	E2	水部に関する構造物	栈橋（浮き）	〃	
5204	0	E5	水部に関する構造物	栈橋（浮き）	記号表示位置を取得	
5211	11	E2	水部に関する構造物	防波堤 [上端]	（大）は上端線は低い方を右に、下端線は高い方を右にデータを取得。（小）は頂部のみの線を上端線として取得	
5211	12	E2	水部に関する構造物	防波堤 [下端]	〃	
5212	11	E2	水部に関する構造物	護岸 被覆 [上端]	〃	
5212	12	E2	水部に関する構造物	護岸 被覆 [下端]	〃	
5212	99	E5	水部に関する構造物	護岸 被覆 [中記号]	範囲内に点情報を取得	
5213	0	E2	水部に関する構造物	護岸 杭	外周を取得	
5213	99	E6	水部に関する構造物	護岸 杭 [文字記号]	範囲内に表示位置の点と方向を取得	
5214	0	E2	水部に関する構造物	護岸 捨石	外周を取得	
5214	99	E6	水部に関する構造物	護岸 捨石 [文字記号]	範囲内に表示位置の点と方向を取得	
5219	0	E2	水部に関する構造物	坑口 トンネル	坑口部分の外周を取得。上端線は低い方を右に、下端線は高い方を右にデータを取得	
5219	0	E6	水部に関する構造物	坑口 トンネル：極小	中央位置の点と方向を取得	
5221	0	E6	水部に関する構造物	渡船発着所	表示位置の点と方向を取得	
5222	0	E2	水部に関する構造物	船揚場	外周を取得（始終点座標一致）	
5222	0	E5	水部に関する構造物	船揚場	記号表示位置を取得	
5226	0	E6	水部に関する構造物	滝：極小	中央位置の点と方向を取得	
5226	11	E2	水部に関する構造物	滝 [上端]	幅のある場合は、上端線は低い方を右に、下端線は高い方を右にデータを取得	
5226	12	E2	水部に関する構造物	滝 [下端]	幅のある場合は、上端線は低い方を右に、下端線は高い方を右にデータを取得	
5227	0	E6	水部に関する構造物	せき：極小	中央位置の点情報と方向を取得	

仙台市建設局道路部道路管理課

分類 コード	図形 区分	タイプ	分類	名称	取得基準	仙台用
5227	11	E2	水部に関する構造物	せき [上端]	非越流部は外周を取得。越流部は中心線を取得	
5227	12	E2	水部に関する構造物	せき [下端]	非越流部は外周を取得。越流部は中心線を取得	
5228	0	E2	水部に関する構造物	水門	両側の構造物は外周を取得（始 終点座標一致）。仕切り部は幅 の幅のある場合は両側を、幅の ない場合は中心線を取得	
5228	0	E6	水部に関する構造物	水門：極小	中央位置の点と方向を取得	
5231	11	E2	水部に関する構造物	不透過水制 [上端]	（大）は上端線は低い方を右に、 下端線は高い方を右にデータを 取得。（小）は頂部のみの線を 上端線として取得	
5231	12	E2	水部に関する構造物	不透過水制 [下端]	〃	
5232	0	E2	水部に関する構造物	透過水制	外周を取得（始終点座標一致）	
5233	0	E2	水部に関する構造物	水制水面下	〃	
5235	0	E2	水部に関する構造物	根固	〃	
5235	99	E6	水部に関する構造物	根固 [文字記号]	範囲内に点情報を取得	
5236	0	E2	水部に関する構造物	床固 陸部	外周を取得（始終点座標一致）	
5236	99	E6	水部に関する構造物	床固 陸部 [文字記号]	範囲内に点情報を取得	
5237	0	E2	水部に関する構造物	床固 水面下	外周を取得（始終点座標一致）	
5237	99	E6	水部に関する構造物	床固 水面下 [文字記号]	範囲内に点情報を取得	
5238	0	E2	水部に関する構造物	蛇籠	外周を取得（始終点座標一致）	
5238	99	E6	水部に関する構造物	蛇籠 [文字記号]	範囲内に点情報を取得	
5239	0	E2	水部に関する構造物	敷石斜坂	外周を取得（始終点座標一致）	
5241	0	E6	水部に関する構造物	流水方向	表示位置の点と方向を取得	
5255	0	E5	水部に関する構造物	距離標	表示位置の点情報を取得	
5256	0	E5	水部に関する構造物	量水標	〃	
6101	11	E2	法面	人工斜面 [上端]	上端線と下端線を取得。上端線 は低い方を右に、下端線は高い 方を右に取得	

仙台市建設局道路部道路管理課

分類コード	図形区分	タイプ	分類	名称	取得基準	仙台用
6101	12	E2	法面	人工斜面 [下端]	〃	
6101	99	E2	法面	人工斜面 [[中記号]	範囲内に線情報を取得	
6102	11	E2	法面	土堤 [上端]	上端線と下端線を取得。上端線は低い方を右に、下端線は高い方を右に取得	
6102	12	E2	法面	土堤 [下端]	〃	
6102	99	E2	法面	土堤 [中記号]	範囲内に線情報を取得	
6111	11	E2	法面	コンクリート被覆 [上端]	(大)は上端線は低い方を右に、下端線は高い方を右にデータを取得。(小)は頂部のみの線を上端線として取得	
6111	12	E2	法面	コンクリート被覆 [下端]	〃	
6111	99	E5	法面	コンクリート被覆 [中記号]	範囲内に点情報を取得	
6111	99	E2	法面	コンクリート被覆 [補助線]	縁線を取得 実線 3号	
6112	11	E2	法面	ブロック被覆 [上端]	(大)は上端線は低い方を右に、下端線は高い方を右にデータを取得。(小)は頂部のみの線を上端線として取得	
6112	12	E2	法面	ブロック被覆 [下端]	〃	
6112	99	E5	法面	ブロック被覆 [中記号]	範囲内に点情報を取得	
6112	99	E2	法面	ブロック被覆 [補助線]	縁線を取得 実線 3号	
6113	11	E2	法面	石積被覆 [上端]	(大)は上端線は低い方を右に、下端線は高い方を右にデータを取得。(小)は頂部のみの線を上端線として取得	
6113	12	E2	法面	石積被覆 [下端]	〃	
6113	99	E5	法面	石積被覆 [中記号]	範囲内に点情報を取得	
6121	0	E2	法面	法面保護 (網)	外周を取得 (始終点座標一致)	
6121	99	E5	法面	法面保護 (網) [中記号]	範囲内に点情報を取得	
6122	0	E2	法面	法面保護 (モルタル)	外周を取得 (始終点座標一致)	
6122	99	E5	法面	法面保護 (モルタル) [中記号]	範囲内に点情報を取得	
6123	0	E2	法面	法面保護 (コンクリート柵)	外周を取得 (始終点座標一致)	
6123	99	E5	法面	法面保護 (コンクリート柵) [中記号]	範囲内に点情報を取得	

仙台市建設局道路部道路管理課

分類 コード	図形 区分	タイプ	分類	名称	取得基準	仙 台 用
6130	0	E2	構囲	さく（未分類）	中心線を取得	
6131	0	E2	構囲	落石防止さく	〃	
6132	0	E2	構囲	防護さく	〃	
6132	0	E7(半)	構囲	防護さく種別注記	字大1.5mm,字隔0.0mm	
6133	0	E2	構囲	遮光さく	〃	
6134	0	E2	構囲	鉄さく	〃	
6136	0	E2	構囲	生垣	〃	
6137	0	E2	構囲	土囲	〃	
6141	0	E2	構囲	堅ろうへい	内側を右にみて中心線を取得	
6142	0	E2	構囲	簡易へい	〃	
6201	0	E2	諸地	区域界	界線を取得	
6211	0	E5	諸地	空地	記号表示位置を点情報で取得	
6212	0	E5	諸地	駐車場	〃	
6213	0	E5	諸地	花壇	〃	
6214	0	E5	諸地	園庭	〃	
6215	0	E5	諸地	墓地	外周線と記号代表点を取得。作 図データでは、区域線と墓碑で 取得しても良い	
6216	0	E5	諸地	材料置場	記号表示位置を点情報で取得	
6221	0	E5	場地	噴火口・噴気口	〃	
6222	0	E5	場地	温泉・鉱泉	〃	
6223	0	E5	場地	陵墓	〃	
6224	0	E5	場地	古墳	〃	
6225	0	E5	場地	城・城跡	〃	
6226	0	E5	場地	史跡・名勝・天然記念物	〃	
6231	0	E5	場地	採石場	〃	
6232	0	E5	場地	土取場	〃	
6233	0	E5	場地	採鉱地	〃	
6301	0	E2	植生	植生界	中心線を取得	
6302	0	E2	植生	耕地界	〃	
6303	0	E2	植生	仮地被界	〃	
6311	0	E5	植生	田	記号表示位置又は記号代表点を 点情報で取得	

仙台市建設局道路部道路管理課

分類 コード	図形 区分	タイプ	分 類	名 称	取 得 基 準	仙 台 用
6312	0	E5	植生	はす田	〃	
6313	0	E5	植生	畑	〃	
6314	0	E5	植生	さとうきび畑	〃	
6315	0	E5	植生	パイナップル畑	〃	
6316	0	E5	植生	わさび畑	〃	
6317	0	E5	植生	桑畑	〃	
6318	0	E5	植生	茶畑	〃	
6319	0	E5	植生	果樹園	〃	
6321	0	E5	植生	その他の樹木畑	〃	
6322	0	E5	植生	牧草地	〃	
6323	0	E5	植生	芝地	〃	
6331	0	E5	植生	広葉樹林	〃	
6332	0	E5	植生	針葉樹林	〃	
6333	0	E5	植生	竹林	〃	
6334	0	E5	植生	荒地	〃	
6335	0	E5	植生	はい松地	〃	
6336	0	E5	植生	しの地（笹地）	〃	
6337	0	E5	植生	やし科樹林	〃	
6338	0	E5	植生	湿地	〃	
6340	0	E5	植生	砂れき地（未分類）	〃	
6341	0	E5	植生	砂地	〃	
6342	0	E5	植生	れき地	〃	
6345	0	E5	植生	干潟	〃	
7101	0	E2	等高線	等高線（計曲線）	等高線を取得	
7102	0	E2	等高線	等高線（主曲線）	〃	
7103	0	E2	等高線	等高線（補助曲線）	〃	
7104	0	E2	等高線	等高線（特殊補助曲線）	〃	
7105	0	E2	等高線	凹地（計曲線）	高い方を左にみるように等高線 を取得	
7106	0	E2	等高線	凹地（主曲線）	〃	
7107	0	E2	等高線	凹地（補助曲線）	〃	
7108	0	E2	等高線	凹地（特殊補助曲線）	〃	

仙台市建設局道路部道路管理課

分類コード	図形区分	タイプ	分類	名称	取得基準	仙台用
7201	11	E2	変形地	土がけ(崩土)[上端]	上端線と下端線を取得。上端線は低い方を右に、下端線は高い方を右に取得	
7201	12	E2	変形地	土がけ(崩土)[下端]	〃	
7201	99	E2	変形地	土がけ(崩土)[中記号]	範囲内に線情報を取得	
7202	0	E2	変形地	雨裂	(大)高い方を右にみて取得 (小)は高い方から低い方に向かって中心線を取得	
7202	99	E2	変形地	雨裂[中記号]	〃	
7205	11	E2	変形地	急斜面[上端]	上端線と下端線を取得。上端線は低い方を右に、下端線は高い方を右に取得	
7205	12	E2	変形地	急斜面[下端]	〃	
7205	99	E2	変形地	急斜面[中記号]	範囲内に線情報を取得	
7206	0	E6	変形地	洞口	高度の高い方を右にみる形で界線を取得、または記号表示位置の点と向きを示す方向を取得	
7211	11	E2	変形地	岩がけ[上端]	上端線と下端線を取得。上端線は低い方を右に、下端線は高い方を右に取得	
7211	12	E2	変形地	岩がけ[下端]	〃	
7211	99	E2	変形地	岩がけ[中記号]	範囲内に線情報を取得	
7212	0	E2	変形地	露岩	高度の高い方を右にみる形で界線を取得	
7212	99	E2	変形地	露岩[中記号]	範囲内に線情報を取得	
7213	0	E2	変形地	散岩	高度の高い方を右にみる形で界線を取得	
7213	0	E6	変形地	散岩:極小	記号表示位置の点を取得	
7213	99	E2	変形地	散岩[中記号]	範囲内に線情報を取得	
7214	0	E2	変形地	さんご礁	高度の高い方を右にみる形で界線を取得	

仙台市建設局道路部道路管理課

分類 コード	図形 区分	タイプ	分類	名 称	取得基準	仙 台 用
7214	99	E2	変形地	さんご礁 [中記号]	範囲内に線情報を取得	
7301	0	E5	基準点	三角点	基準点記号又は指示点表示位置 を取得	
7302	0	E5	基準点	水準点	〃	
7303	0	E5	基準点	多角点等	〃	
7304	0	E5	基準点	公共基準点 (三角点)	〃	
7305	0	E5	基準点	公共基準点 (水準点)	〃	
7306	0	E5	基準点	公共基準点 (多角点等)	〃	
7307	0	E5	基準点	その他の基準点	〃	
7308	0	E5	基準点	電子基準点	〃	
7311	0	E5	基準点	標石を有しない標高点	〃	
7312	0	E5	基準点	図化機測定による標高点	〃	
8110	0	E7(全)	行政区画	市・東京都の区	字大 6.0mm, 字隔 3.0mm	
8111	0	E7(全)	行政区画	町・村・指定都市の区	字大 5.0mm, 字隔 2.5mm	
8112	0	E7(全)	行政区画	市町村の飛地	字大 3.5mm, 字隔 2.9mm	
8113	0	E7(全)	居住地名	大区域	字大 4.5mm, 字隔 1.1mm	
8114	0	E7(全)	居住地名	大字・町・丁目	字大 4.5mm, 字隔 1.1mm	
8115	0	E7(全)	居住地名	小字	字大 3.5mm, 字隔 0.9mm	
8116	0	E7(全)	居住地名	通り	字大 3.5mm, 字隔 0.9mm	
8117	0	E7(全)	居住地名	その他の地名 (大)	字大 5.0mm, 字隔 1.2mm	
8118	0	E7(全)	居住地名	その他の地名 (中)	字大 4.0mm, 字隔 1.0mm	
8119	0	E7(全)	居住地名	その他の地名 (小)	字大 3.0mm, 字隔 0.7mm	
8121	0	E7(全)	交通施設	道路の路線名	字大 3.0mm, 字隔 1.5mm	
8122	0	E7(全)	交通施設	道路施設・坂・峠・インターチェンジ	字大 3.0mm, 字隔 0.7mm	
8123	0	E7(全)	交通施設	鉄道の路線名	字大 3.0mm, 字隔 1.5mm	
8124	0	E7(全)	交通施設	鉄道施設・駅・操車場・信号	字大 3.0mm, 字隔 0.7mm	
8125	0	E2	交通施設	橋梁注記引き出し線	実線 2号	
8125	0	E7(全)	交通施設	橋	字大 3.0mm, 字隔 0.7mm	
8126	0	E7(全)	交通施設	トンネル	字大 3.0mm, 字隔 0.7mm	
8126	0	E2	交通施設	トンネル注記引き出し線	実線 2号	
8127	0	E2	交通施設	踏切注記引き出し線	実線 2号	

仙台市建設局道路部道路管理課

分類 コード	図形 区分	タイプ	分 類	名 称	取 得 基 準	仙 台 用
8127	0	E7(全)	交通施設	踏切	字大 3.0mm, 字隔 0.7mm	
8131	0	E7(全)	建物	建物の名称	字大 2.5mm, 字隔 0.5mm	
8134	0	E7(全)	建物	建物の付属物	字大 2.5mm, 字隔 0.5mm	
8140	0	E7(全)	小物体	マンホール	字大 2.0mm, 字隔 0.5mm	
8141	0	E7(全)	小物体	電柱	字大 2.0mm, 字隔 0.5mm	
8142	0	E7(全)	小物体	その他の小物体	字大 3.0mm, 字隔 0.7mm	
8151	0	E7(全)	水部	河川・内湾・港・岬・島等	字大 4.0mm, 字隔 1.0mm	
8152	0	E7(全)	水部	水部施設・ダム	字大 3.0mm, 字隔 0.7mm	
8153	0	E7(全)	水部	地下水部	字大 4.0mm, 字隔 1.0mm	
8161	0	E7(全)	土地利用等	法面・構囲	字大 2.5mm, 字隔 0.6mm	
8162	0	E7(全)	土地利用等	諸地・場地・公園・ゴルフ場等	字大 3.5mm, 字隔 0.9mm	
8163	0	E7(全)	土地利用等	植生	字大 3.0mm, 字隔 0.7mm	
8171	0	E7(全)	地形	山・尖峰・丘・塚・谷・沢	字大 3.0mm, 字隔 0.7mm	
8173	0	E7(全)	地形	基準点等	字大 1.5mm, 字隔 0.0mm	
8174	0	E7(半)	地形	図化機測定標高点	字大 1.5mm, 字隔 0.0mm	
8175	0	E7(半)	地形	等高線数値	字大 1.5mm, 字隔 0.0mm	
8181	0	E2	説明注記	説明注記引き出し線	実線 2号	
8181	0	E7(全)	説明注記	説明注記(大)	字大 3.0mm, 字隔 0.7mm	
8182	0	E7(全)	説明注記	説明注記(中)	字大 2.5mm, 字隔 0.7mm	
8183	0	E7(全)	説明注記	説明注記(小)	字大 2.0mm, 字隔 0.7mm	
9001	0	E7(全)	道路台帳	路線番号	字大 5.0mm, 字隔 0.5mm	
9004	0	E2	道路台帳	現地幅員線	実線 3号	
9005	0	E2	道路台帳	現地幅員数値引き出し線	実線 2号	
9005	0	E7(半)	道路台帳	現地幅員数値	字大 2.0mm, 字隔 0.0mm	
9006	0	E2	道路台帳	側溝数値引き出し線	実線 2号	
9006	0	E7(半)	道路台帳	側溝数値	字大 2.0mm, 字隔 0.5mm	

2. 構造化データファイル

Code	Fig Type	Class Local	分類	名称	取得基準	仙台用
9001	0	Line	道路台帳	起終点線	中心位置を取得 実線 3号	
9002	0	Line	道路台帳	区間線	中心位置を取得 実線 3号	
9101	0	Point	道路構造化	起点	大きさ 4.0mm	
9102	0	Point	道路構造化	終点	大きさ 4.0mm	
9103	0	Line	道路構造化	区間道路中心線(実延長)	一点鎖線 4号	
9104	0	Line	道路構造化	区間道路中心線(ダブルウエイ)	実線 4号	
9105	0	Line	道路構造化	区間道路中心線(重用)	実線 4号	
9106	0	Line	道路構造化	区間道路中心線(未供用現道有り)	実線 4号	
9107	0	Line	道路構造化	区間道路中心線(未供用現道無し)	破線 4号	
9108	0	Line	道路構造化	区間道路中心線(特殊処理)	破線 4号	
9109	0	Line	道路構造化	区間道路中心線(陰線)	破線 4号	
9201	0	Area	道路構造化	道路部面	実線 3号	
9202	0	Area	道路構造化	区間面	実線 3号	
9203	0	Area	道路構造化	隅切り区間面	実線 3号	
9211	0	Area	道路構造化	最急勾配箇所面	実線 3号	
9212	0	Area	道路構造化	最小半径箇所面	実線 3号	
9213	0	Area	道路構造化	立体横断施設面	実線 3号	
9214	0	Area	道路構造化	信号設置箇所面	実線 3号	
9215	0	Area	道路構造化	視覚障害者誘導用ブロック面	実線 3号	
9301	0	Line	道路構造化	U型側溝蓋掛計測線	実線 3号	
9302	0	Line	道路構造化	U型側溝開渠計測線	実線 3号	
9303	0	Line	道路構造化	L型側溝計測線	実線 3号	
9305	0	LineE2	道路構造化	歩道計測線	実線 3号	
9306	0	Line	道路構造化	歩道植樹施設計測線	実線 3号	
9307	0	Line	道路構造化	中央帯計測線	実線 3号	
9309	0	Line	道路構造化	防護柵計測線	実線 3号	
9401	0	Area	道路構造化	道路管理者主張線	実線 3号	
9401	1	Line	道路構造化	道路管理者主張線	整備済 実線 3号	
9401	2	Line	道路構造化	道路管理者主張線	未整備 破線 3号	

仙台市道路台帳数値地図情報属性コード一覧

1. 属性コード

項目	コード	名称	備考
区域区分	01	青葉区	
	02	宮城総合支所	
	03	宮城野区	
	04	若林区	
	05	太白区	
	06	秋保総合支所	
	07	泉区	
道路の種類	1	国道	道路法第3条
	2	県道	
	3	市道	
道路種別	1	高速自動車国道	
	2	一般国道指定区間	
	3	一般国道指定区間外	
	4	主要地方道	
	5	一般県道	
	6	市町村道一級	
	7	市町村道二級	
	8	市町村道その他	
構造区分	1	道路	
	2	永久橋(石橋を除く)	
	3	木橋	
	4	トンネル	
	5	永久橋(石橋)	
	6	混合橋(永久橋と木橋)	
	7	踏切	
	8	跨道	
	9	跨線	
	10	階段	

項目	コード	名称	備考
街路一般区分	1	一般道路	
	2	独立専用自歩道 (自転車歩行者専用道)	
	3	独立専用自歩道(自転車専用道)	
	4	独立専用自歩道(歩行者専用道)	
	5	有料道路	
現道・旧道区分	0	該当無し	
	1	現道	
	2	旧道	
	3	新道	
延長内訳	1	実延長	
	2	重用	
	3	未供用(海上)	
	4	未供用(現道有り)	
	5	未供用(現道無し)	
	6	渡船場(自地域内)	
	7	渡船場(市町村界)	
	8	渡船場(都道府県界)	
自動車専用区分	1	有り	
	2	無し	
路面種別	1	セメント系	
	2	アスファルト系高級	
	3	アスファルト系簡易	
	4	未舗装道・砂利	
	5	未舗装道・その他	
立体横断施設区分	1	歩道橋・階段式	
	2	歩道橋・スロープ式	
	3	歩道橋・押上式	
	4	地下歩道・階段式	
	5	地下歩道・スロープ式	
	6	地下歩道・押上式	
	7	その他	

仙台市建設局道路部道路管理課

項目	コード	名称	備考
防護柵構造	1	ガードレール	
	2	ガードパイプ	
	3	ガードケーブル	
	4	ガードフェンス	
	5	その他	
形態区分	1	単断面	
	2	複断面	
種別区分	1	歩道	
	2	歩道+自転車道	
	3	自転車歩行車道	
	4	歩道等(分離)	
歩道路面種別	1	アスファルト	
	2	カラーアスファルト	
	3	コンクリート	
	4	平板ブロック	
	5	カラー平板ブロック	
	6	インターロッキング	
	7	タイルブロック	
	8	レンガ陶器	
	9	自然石等	
作成事由	1	私道昇格	
	2	国県道降格	
	3	国県道昇格	
	4	管理の移管	
	5	街路新設	
	6	道路新設	
	7	宅地開発	
	8	区画整理	
	9	路線の変更	
	10	路線再編	
	11	その他	
区域変更区分	1	有り	
	2	無し	

項目	コード	名称	備考
起終点区分	1	起点側	
	2	終点側	
区域取得区分	1	T S 測量 (立会)	
	2	T S 測量 (未立会)	
	3	既成図 (境界点成果有り)	
	4	既成図 (境界点成果無し)	
修正事由	1	改良工事	
	2	歩道工事	
	3	側溝工事	
	4	路肩工事	
	5	中央帯工事	
	6	舗装工事	
	7	維持補修工事	
	8	路面の補修工事	
	9	側溝の維持補修工事	
	10	拡幅工事	
	11	32 条占用工事	
	12	24 条工事	
	13	その他の工事 (建設)	
	14	交通安全施設の新設・補修	
	15	防護柵の新設・補修	
	16	街路等の新設・補修	
	17	交通標識の新設・補修	
	18	街路樹及び緑地帯の新設・補修	
	19	その他安全施設の新設・補修	
99	要補修正		
立体横断 施設区分	1	横断歩道橋	
	2	地下歩道	
中央帯区分	1	植樹施設有り	
	2	植樹施設無し	
	3	チャッターバー	
植樹区分	1	帯状	
	2	列状	
左右中央区分	1	左	
	2	右	
	3	中央	
自動車交通 不能区分	1	自動車交通可能	
	2	自動車交通不能	
行政区分	1	自地域内	
	2	市町村界	
	3	都道府県界	
改良・未改良 区分	1	改良	
	2	未改良	
整備状況	1	全線整備済	
	2	一部整備済	

仙台市建設局道路部道路管理課

項 目	コード	名 称	備 考
補正ラベル	1	廃止	廃道処分・国県道への昇格
	2	新設 1	前年の 4 月 2 日から当該年の 4 月 1 日までの間に市道として新設された路線のうち、国県道から移管されたもの
	3	新設 2	前年の 4 月 2 日から当該年の 4 月 1 日までの間に市道として新設された路線のうち、「新設 1」を除いたもの
	4	台帳整備 1	前年度の道路台帳整備ラベルが「その他」であったもののうち、当該年度の道路台帳整備を行ったもの
	5	台帳整備 2	前年度の道路台帳整備ラベルが「台帳未整備」であったもののうち、当該年度の道路台帳整備を行ったもの
	6	改良 1	前年の 4 月 2 日から当該年の 4 月 1 日までの間に行われた改良工事のうち、道路の拡幅、線形の補修、供用廃止、区域変更等により延長及び路面面積に変化のあるもの
	7	改良 2	前年の 4 月 2 日から当該年の 4 月 1 日までの間に行われた改良工事のうち、「改良 1」を除いたもので、路面種別、歩道形態等の変更や交通安全施設等の改良により、数値に変化のあるもの
	8	変更なし	前年の 4 月 1 日現在の路線形態が、何等変更されていないもの
	9	算定ミス	前年の 4 月 1 日現在の数値を集計する過程において、延長及び面積に誤りが発見されたもの
	10	集計外	何らかの事由により、集計から除外したいもの
	11	路線の変更	前年の 4 月 2 日から当該年の 4 月 1 日までの間、路線の変更あるいは認定・廃止を行った路線
	12	台帳未整備への変更	前年度まで道路台帳整備済みとして取り扱っていた路線が、何らかの事由により、台帳未整備路線となったもの

仙台市建設局道路部道路管理課

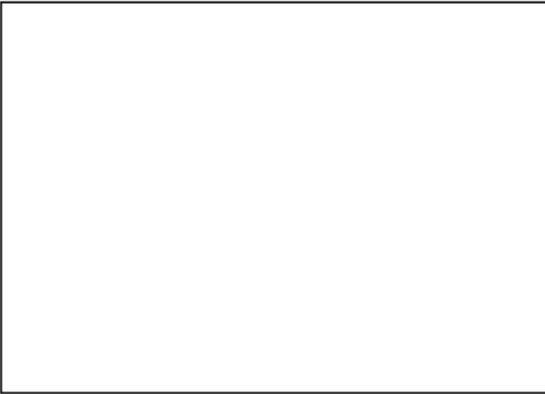
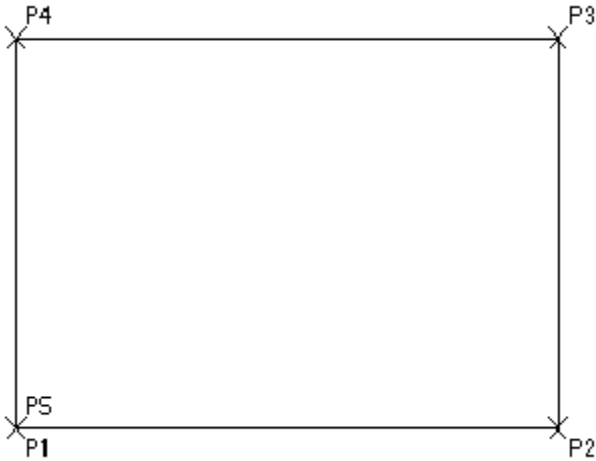
項目	コード	名称	備考
	13	台帳整備3 (供用開始区間の台帳整備)	道路台帳整備ラベルが、「道路台帳整備済(特例)」となる路線で、供用開始区間の新設(追加)及び変更があり、その区間の台帳整備が行われたもの
道路台帳整備ラベル	1	道路台帳整備済	道路法第28条に規定する道路台帳が整備済の路線、つまり道路法施行規則第4条の2第3項・第4項の様式による調書及び平面図を備えている路線。起点から終点まですべて整備されているので、部分的に整備されているものは含まない
	2	その他 (交付税対象路線)	昭和53年度の交付税算定の際に用いた道路(昭和52年4月1日現在の数値)のうち、上記の道路台帳整備をのぞいた路線
	3	道路台帳未整備	道路法第28条に規定する道路台帳が未整備の路線
	4	道路台帳未整備2	以前台帳整備済みであった路線において、路線の変更などにより、台帳未整備区間が発生し、未整備路線となったもの
	5	道路台帳整備済(特例)	「道路台帳整備済」以外の路線で、供用の開始のなされている区間が台帳整備済みのもの

2. 構造化属性一覧表

		構造化識別子	Atr0	Atr1	Atr2	Atr3	Atr4	Atr5	Atr6	Atr7	Atr8	Atr9	Atr10	Atr11	Atr12	Atr13	Atr14	Atr15	Atr16	Atr17
道路	面	道路部面	道路の種類	路線番号	街路一般区分	整備ラベル	補修正ラベル													
区 間	線	中心線	道路の種類	路線番号	区間番号：親	区間番号：枝	区域区分	道路種別	延長内訳区分	行政区分	区域変更区分	修正事由	修正業者	修正年月日	町名コード	町名漢字	町名カナ	番地：親	番地：枝	
	線	ダブルウェイ線	道路の種類	路線番号	区間番号：親	区間番号：枝														
	面	一般道路区間面	道路の種類	路線番号	区間番号：親	区間番号：枝	現道・旧道区分	路線分割番号	自動車専用区分	構造区分	路面種別区分	改良・未改良区分	自動車交通不能区分	分離帯	側帯	歩道：左	歩道：右	路肩：左	路肩：右	構造名称
		独立自歩道の区間面							"2"を入力				"2"を入力	"0"を入力	"0"を入力	"0"を入力	"0"を入力			
面	隅切り区間面	道路の種類	路線番号	区間番号：親	区間番号：枝															
起 終 点	点	起点	道路の種類	路線番号	町名コード	町名漢字	町名カナ	地番：親	地番：枝											
	点	終点	道路の種類	路線番号	町名コード	町名漢字	町名カナ	地番：親	地番：枝											
歩 道	線	歩道計測線	道路の種類	路線番号	区間番号：親	区間番号：枝	連番	左右中央区分	形態区分	種別区分	路面種別区分									
	線	歩道植樹施設計測線	道路の種類	路線番号	区間番号：親	区間番号：枝	連番	左右中央区分	植樹区分											
中央帯	線	中央帯計測線	道路の種類	路線番号	区間番号：親	区間番号：枝	連番	中央帯区分												
側 溝	線	U型側溝蓋掛計測線	道路の種類	路線番号	連番	現道・旧道区分	路線分割番号	区域区分	左右中央区分											
	線	U型側溝開渠計測線	道路の種類	路線番号	連番	現道・旧道区分	路線分割番号	区域区分	左右中央区分											
	線	L型側溝計測線	道路の種類	路線番号	連番	現道・旧道区分	路線分割番号	区域区分	左右中央区分											
防護柵	線	防護柵計測線	道路の種類	路線番号	連番	区域区分	左右中央区分	構造区分												
勾配	面	最急勾配箇所面	道路の種類	路線番号	連番	現道・旧道区分	路線分割番号	勾配	町名コード	町名漢字	町名カナ	番地：親	番地：枝							
半径	面	最小半径箇所面	道路の種類	路線番号	連番	現道・旧道区分	路線分割番号	半径	町名コード	町名漢字	町名カナ	番地：親	番地：枝							
立体横断	面	立体横断施設箇所面	道路の種類	路線番号	連番	現道・旧道区分	路線分割番号	立体横断施設区分	町名コード	町名漢字	町名カナ	番地：親	番地：枝							
信号	面	信号設置箇所面	道路の種類	路線番号	連番	現道・旧道区分	路線分割番号	町名コード	町名漢字	町名カナ	番地：親	番地：枝								
視覚誘導	面	視覚障害者誘導用ブロック面	道路の種類	路線番号	連番	現道・旧道区分	路線分割番号	左右中央区分												
敷地	面	道路管理者主張線	道路の種類	路線番号	修正業者	修正年月日														

属性記載例 Atr0\$ 道路の種類,1

項目別特記事項
 1. 地形データ入力
 (1) 図郭線

入 力 説 明			
原点を左下 (P 1) とし、始 終 点 (P 1 , P 5) を一 致 さ せ る。			
表 現 分 類 コ ー ド			
タイプ	分類コード	図形区分	名称
E2	1001	0	図郭線
既 成 図			
			
入 力			
			

(2) 路面種別

入 力 説 明			
<p>舗装の外側を入力する。舗装種別は、舗装されている範囲内に半角文字で入力する。</p> <p>郊外地での未舗装道の場合 道路部の区域線は、原則的に地類界(車が走っていると思われる所)で捉え、その内側に路肩をとる。</p>			
表 現 分 類 コ ー ド			
タイプ	分類コード	図形区分	名称
E2	2110	0	舗装界
E7	2110	0	舗装種別
E2	2111	0	路面種別界(現存データ;今後、原則として使用不可)
E2	2111	1	路面種別界(アスファルト系)
E2	2111	2	路面種別界(コンクリート系)
E2	2111	3	路面種別界(砂利等)
既 成 図			
入 力			

(3) 立体交差

入 力 説 明			
真幅道路の交差下部の道路縁線を入力する。			
表 現 分 類 コ ー ド			
タイプ	分類コード	図形区分	名称
E2	2112	0	立体交差下部
既 成 図			
<p>The diagram shows a plan view of a road intersection. Two horizontal lines represent the main road lanes. Two vertical lines represent the crossing road lanes. The intersection is shown with vertical curves on the crossing road lanes, indicated by short vertical segments at the ends of the crossing road lines. The main road lanes are shown with horizontal lines and short vertical segments at the ends, indicating the road edge lines.</p>			
入 力			
<p>This diagram is identical to the 'Existing Map' diagram but includes input data. The lower edge lines of the crossing road lanes are now represented by horizontal lines with short vertical segments at the ends. An arrow points from the code '211200' to the left edge line of the crossing road lane.</p>			

(4) 橋梁

入 力 説 明			
<p>始 終 点 (P 1 , P 5) を 一 致 さ せ る 。</p> <p>橋 梁 内 へ の 注 記 配 置 が 不 可 能 な 場 合 は 、 橋 梁 注 記 引 き 出 し 線 を 使 用 す る 。</p> <p>接 合 箇 所 な ど で 分 割 さ れ る 場 合 は 、 始 終 点 の 座 標 は 一 致 し ない 。</p>			
表 現 分 類 コ ー ド			
タイプ	分類コード	図形区分	名称
E2	2203	0	道路橋
E2	2203	21	道路橋 [高欄]
E2	2203	22	道路橋 [橋脚]
E2	2203	23	道路橋 [橋台前面]
E7	8125	0	橋注記
E2	8125	0	橋梁注記引き出し線
既 成 図			
入 力			

(5) 棧道橋

入 力 説 明			
<p>始 終 点 (P 1 , P 5) を 一 致 さ せ る 。</p> <p>橋 梁 内 へ の 注 記 配 置 が 不 可 能 な 場 合 は 、 橋 梁 注 記 引 き 出 し 線 を 使 用 す る 。</p> <p>接 合 箇 所 な ど で 分 割 さ れ る 場 合 は 、 始 終 点 の 座 標 は 一 致 し ない 。</p>			
表 現 分 類 コ ー ド			
タイプ	分類コード	図形区分	名称
E2	2206	0	棧道橋
E2	2206	21	棧道橋[高欄]
E2	2206	22	棧道橋[橋脚]
E2	2206	23	棧道橋[橋台前面]
E7	8125	0	橋注記
E2	8125	0	橋梁注記引き出し線
既 成 図			
入 力			

(6) 歩道(単断面)

入 力 説 明			
始 終 点 を 一 致 さ せ る 。 (P 1 , P 5) (P 6 , P 1 0) 接 合 箇 所 な ど で 分 割 さ れ る 場 合 は 、 始 終 点 の 座 標 は 一 致 し な い 。			
表 現 分 類 コ ー ド			
タイプ	分類コード	図形区分	名称
E2	2229	0	縁石(歩道単断面)
既 成 図			
入 力			

(7) 歩道(複断面)

入 力 説 明			
道路外郭線と接する場合は、座標を一致させる。(P 5 , P 6)			
表 現 分 類 コ ー ド			
タイプ	分類コード	図形区分	名称
E2	2213	0	歩道
既 成 図			
入 力			

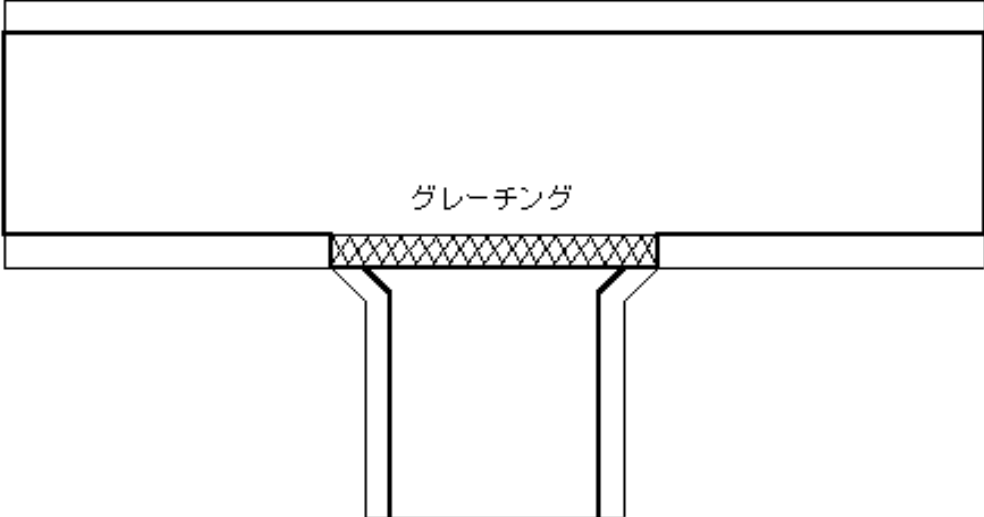
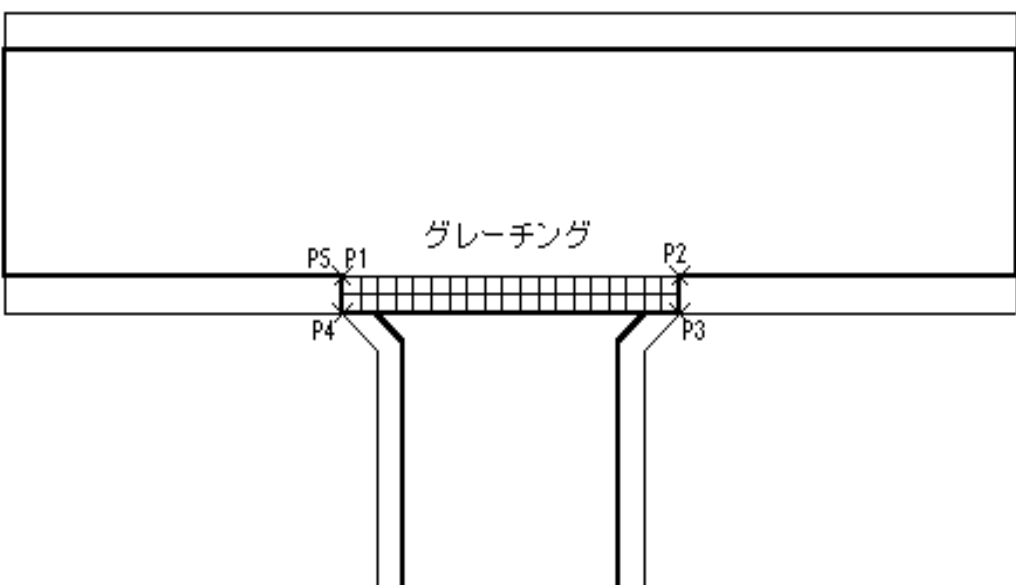
(8) 視覚障害者誘導用ブロック

入 力 説 明			
始 終 点 を 一 致 さ せ る 。 (P 1 , P 1 1) 接 合 箇 所 な ど で 分 割 さ れ る 場 合 は 、 始 終 点 の 座 標 は 一 致 し な い 。			
表 現 分 類 コ ー ド			
タイプ	分類コード	図形区分	名称
E2	2217	0	視覚障害者誘導用ブロック
既 成 図			
入 力			

(9) チャッターバー

入 力 説 明			
真位置を入力する。			
表 現 分 類 コ ー ド			
タイプ	分類コード	図形区分	名称
E2	2225	0	チャッターバー
E2	2271	0	車線分離標
既 成 図			
<p>The diagram illustrates the existing road layout. It shows a road with a right-angle bend. In the straight section, there are two parallel lines representing road lanes. Between these lanes, there are several small circles representing lane separation markers. Labels with arrows point to these markers: 'チャッターバーの場合' (Case of Chatter Bar) points to the top line, and '車線分離標の場合' (Case of Lane Separation Marker) points to the bottom line.</p>			
入 力			
<p>This diagram is identical to the 'Existing Map' section, showing the road layout and lane separation markers. Labels with arrows point to the markers: 'チャッターバーの場合' (Case of Chatter Bar) points to the top line, and '車線分離標の場合' (Case of Lane Separation Marker) points to the bottom line.</p>			

(10) グレーチング

入 力 説 明			
<p>外周の始終点座標を一致させる。(P 1 , P 5)</p> <p>外周以外の線情報は、外周の線分上の座標で構成するが、外周側の線には、座標を入力しない。</p> <p>接合箇所などで分割される場合は、始終点の座標は一致しない。</p>			
表 現 分 類 コ ー ド			
タイプ	分類コード	図形区分	名称
E2	2237	0	側溝グレーチング
E2	2237	9	側溝グレーチング[補助線]
既 成 図			
			
入 力			
			

(11) 道路標識等

入 力 説 明			
道路情報板は、起点から終点に向かって左側の位置を入力する。			
表 現 分 類 コ ー ド			
タイプ	分類コード	図形区分	名称
E6	2241	0	道路情報板
E6	2242	0	道路標識 案内
E6	2243	0	道路標識 警戒
E6	2244	0	道路標識 規制
E6	2245	0	道路標識 その他
既 成 図			
入 力			

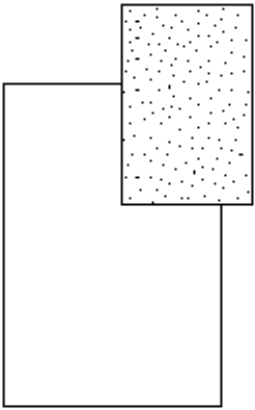

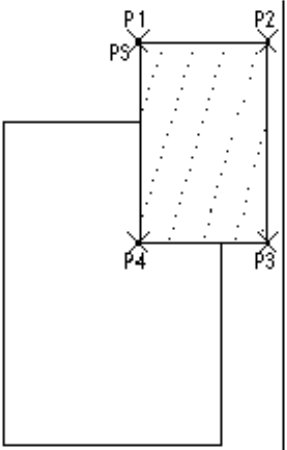

(12) 付属施設等

入 力 説 明			
位置の点情報を入力する。 真形の場合は、中に記号を入力する。			
表 現 分 類 コ ー ド			
タイプ	分類コード	図形区分	名称
E5	2252	0	スノーポール
E5	2253	0	カーブミラー
E5	2254	0	視線誘導標
E5	2261	0	電話ボックス
E5	2262	0	郵便ポスト
既 成 図			
<p>The diagram shows a road layout with several features: a horizontal road on the left, a vertical road on the right, and a diagonal road connecting them. Symbols include a snow pole (circle with a vertical line), a curve mirror (circle with a vertical line), and signs (circle with 'P' and square with 'T').</p>			
入 力			
<p>The diagram shows the same road layout as the 'Existing Map' but with numerical codes: 225400 for the snow pole, 225400 for the curve mirror, 226200 for the 'P' sign, and 226100 for the 'T' sign. Below the road, there are circled numbers 225200, 225300, and 225200.</p>			

(13) 踏切

入 力 説 明			
<p>踏切の起終点の座標を一致させる。 なお、踏切の起終点座標は、道路部外郭線とも一致させる。 接合箇所などで分割される場合は、始終点の座標は一致しない。</p>			
表 現 分 類 コ ー ド			
タイプ	分類コード	図形区分	名称
E2	2310	0	踏切
E7	8127	0	踏切注記
E2	8127	0	踏切注記引き出し線
既 成 図			
入 力			

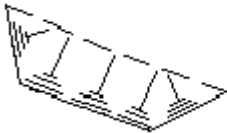
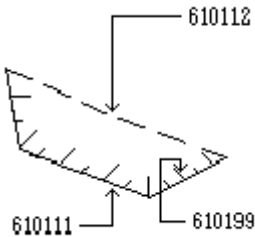
(14) たたき

入 力 説 明			
<p>始 終 点 を 一 致 さ せ る 。 (P 1 , P 5)</p> <p>点 表 示 に つ い て は た た き (中 記 号) を 使 用 し 、 点 と し て 入 力 す る 。</p> <p>接 合 箇 所 な ど で 分 割 さ れ る 場 合 は 、 始 終 点 の 座 標 は 一 致 し な い 。</p>			
表 現 分 類 コ ー ド			
タイプ	分類コード	図形区分	名称
E2	3403	0	たたき
E5	3403	99	たたき [中記号]
既 成 図			
			
入 力			
			

(15) 公共施設

入 力 説 明			
<p>真位置を入力する。 架線方向については、傾きをもつシンボルデータとなっている。 支線及び支柱は入力不要。</p>			
表 現 分 類 コ ー ド			
タイプ	分類コード	図形区分	名称
E5	4119	0	有線柱
E6	4119	99	有線柱[架線]
E5	4132	0	電話柱
E6	4132	99	電話柱[架線]
E5	4142	0	電力柱
E6	4142	99	電力柱[架線]
既 成 図			
入 力			

(16) 法面

入 力 説 明			
<p>右回りに入力し、上端の終点と下端の起点、上端の起点と下端の終点座標を一致させる。</p> <p>接合箇所などで分割される場合は、始終点の座標は一致しない。</p>			
表 現 分 類 コ ー ド			
タイプ	分類コード	図形区分	名称
E2	6101	11	人工斜面[上端]
E2	6101	99	人工斜面[中記号]
E2	6101	12	人工斜面[下端]
E2	6102	11	土堤[上端]
E2	6102	99	土堤[中記号]
E2	6102	12	土堤[下端]
既 成 図			
			
入 力			
			

(17) 土がけ(崩土)

入 力 説 明			
右回りに入力する。上端線は低い方を右に、下端線は高い方を右に入力する。			
表 現 分 類 コ ー ド			
タイプ	分類コード	図形区分	名称
E2	7201	11	土がけ(崩土)[上端]
E2	7201	99	土がけ(崩土)[中記号]
E2	7201	12	土がけ(崩土)[下端]
既 成 図			
入 力			

(18) 雨裂

入 力 説 明			
右回りに入力する。(大)は、高い方を右にみて入力し、(小)は、高い方から低い方に向かって中心線を入力する。			
表 現 分 類 コ ー ド			
タイプ	分類コード	図形区分	名称
E2	7202	0	雨裂
E2	7202	99	雨裂[中記号]
既 成 図			
入 力			

(19) 急斜面

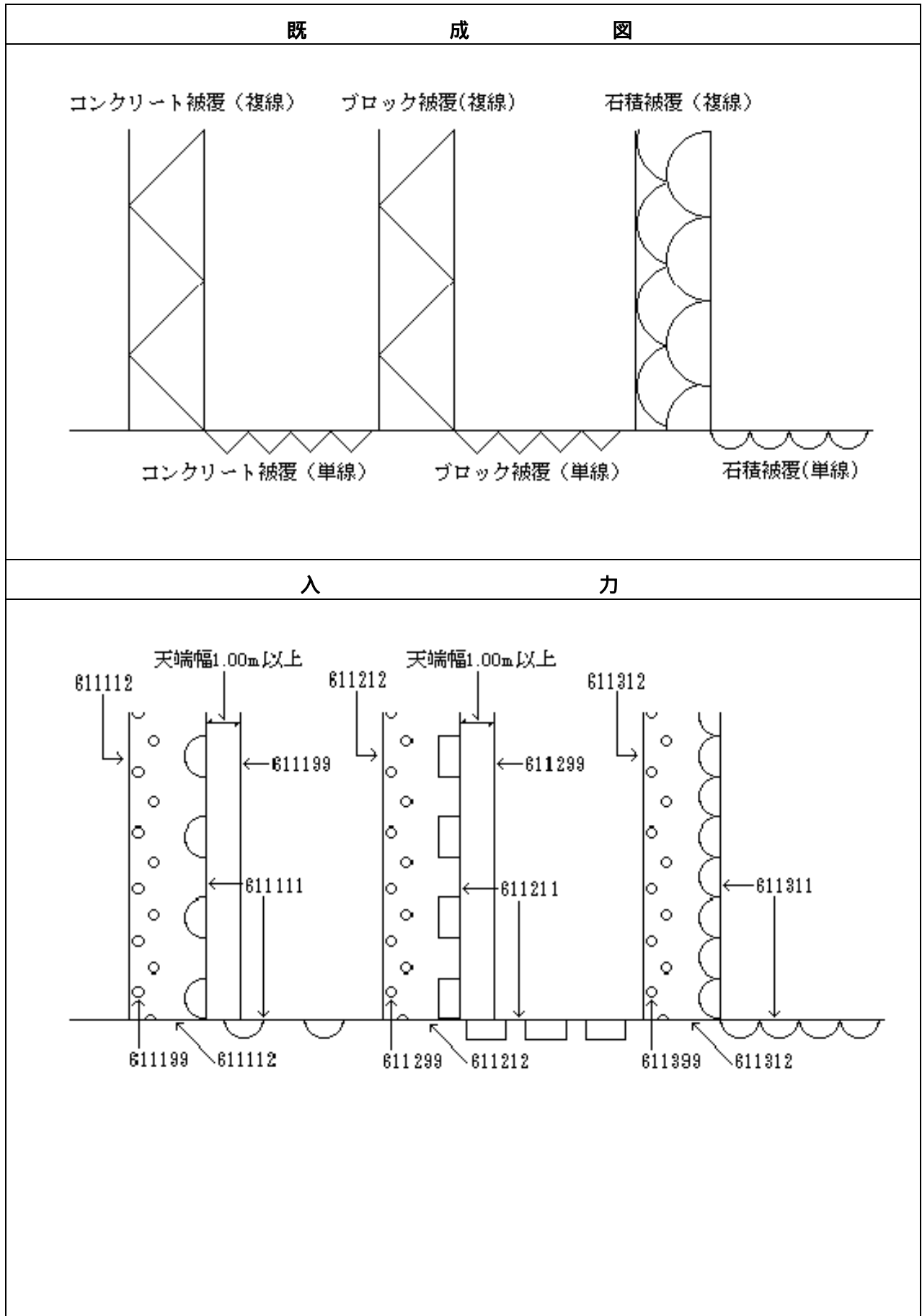
入力説明			
右回りに入力する。上端線は低い方を右に、下端線は高い方を右に入力する。			
表現分類コード			
タイプ	分類コード	図形区分	名称
E2	7203	11	急斜面[上端]
E2	7203	99	急斜面[中記号]
E2	7203	12	急斜面[下端]
既成図			
入力			

(20) 洞口及び岩がけ

入 力 説 明			
<p>右回りに入力する。上端線は低い方を右に、下端線は高い方を右に入力する。</p> <p>洞窟のまわりの記号線は、720100(土がけ)で入力する。</p>			
表 現 分 類 コ ー ド			
タイプ	分類コード	図形区分	名称
E6	7206	0	洞口
E2	7211	11	岩がけ[上端]
E2	7211	99	岩がけ[中記号]
E2	7211	12	岩がけ[下端]
既 成 図			
入 力			

(21) 被覆

入 力 説 明			
<p>被覆の判断について</p> <p>1. コンクリート被覆について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旧図式では、コンクリート被覆とブロック被覆の区別がつかないため、射影のないものはコンクリート被覆単線とする。 ・帰属図面で、民地側の宅地の現況が二重線のみで表示されている図面の多くは、コンクリート被覆単線と考えられるため、周囲の状況を把握し、高低を決める。 ・団地等の宅地における人工斜面の法下にある二重線で、射影の幅が狭くなっているような場合は、コンクリート被覆単線とする。 ・なお、道路縁に二重線のみで表現になっているような場合は、地先境界ブロックと考えられるため、外側を真幅道路で入力し、車道側の線は入力しない。また、被覆の天端幅1.0m以上ある場合はコンクリート被覆[補助線]で入力する。 <p>2. ブロック被覆について</p> <p>射影があるものは、ブロック被覆複線とする。なお、被覆の高低は、周囲の状況により判断する。また、被覆の天端幅1.0m以上ある場合はブロック被覆[補助線]で入力する。</p> <p>3. 石積み被覆について</p> <p>道路縁に自然石等が配列されているような場合は、石積み被覆で入力する。なお、宅地内にある高低差の少ない園庭等の仕切にある場合は、植生界で入力する。</p>			
表 現 分 類 コ ー ド			
タイプ	分類コード	図形区分	名称
E2	6111	11	コンクリート被覆[上端]
E2	6111	12	コンクリート被覆[下端]
E2	6111	99	コンクリート被覆[補助線]
E5	6111	99	コンクリート被覆[中記号]
E2	6112	11	ブロック被覆[上端]
E2	6112	12	ブロック被覆[下端]
E2	6112	99	ブロック被覆[補助線]
E5	6112	99	ブロック被覆[中記号]
E2	6113	11	石積被覆[上端]
E2	6113	12	石積被覆[下端]
E5	6113	99	石積被覆[中記号]



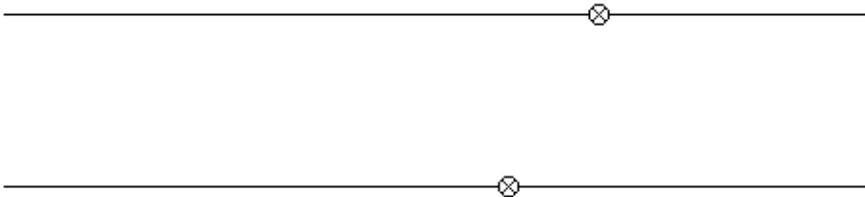
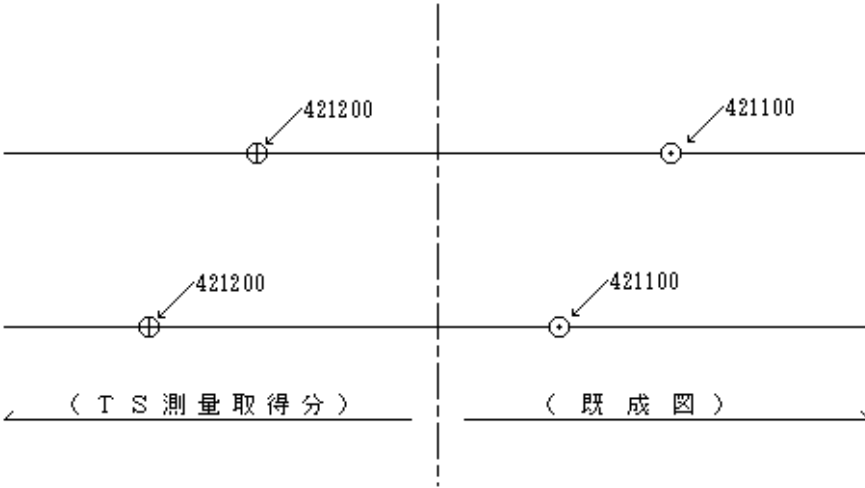
(2 2) 側溝数値

入 力 説 明			
側溝の中 (P 1) を始点とする。			
表 現 分 類 コ ー ド			
タイプ	分類コード	図形区分	名称
E7	9006	0	側溝数値
E2	9006	0	側溝数値引き出し線
既 成 図			
入 力			

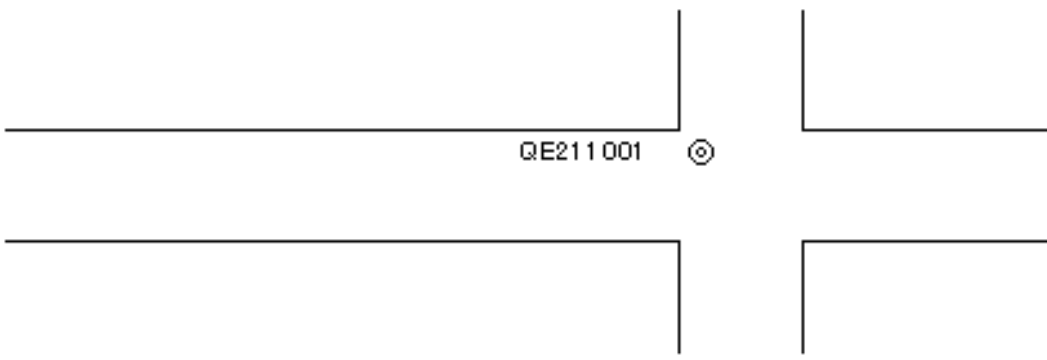
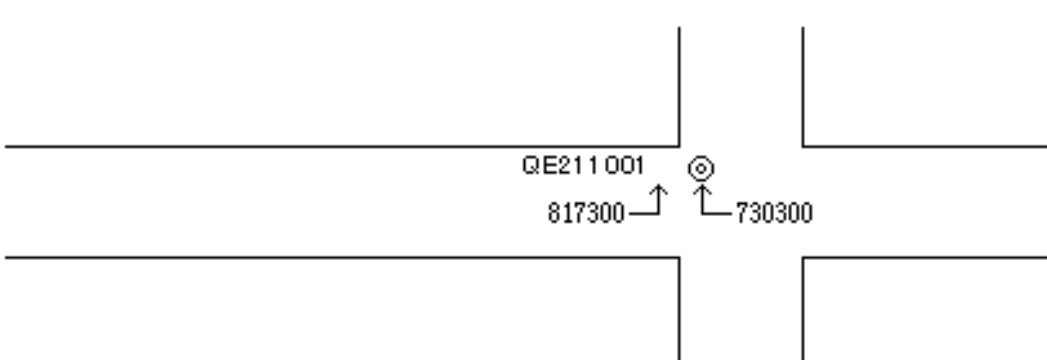
(23) 現地幅員

入 力 説 明			
道路を構成する線上 (P 1) を始点とする。			
表 現 分 類 コ ー ド			
タイプ	分類コード	図形区分	名称
E2	9004	0	現地幅員線
E2	9005	0	現地幅員数値引き出し線
E7	9005	0	現地幅員数値
既 成 図			
入 力			

(24) 官民境界杭

入 力 説 明			
<p>国土省公共測量作業規程では、向きを有する点情報であるが、既成図の修正が生じた場合の編集作業の観点から、座標データを直接転送可能となるようにしている。</p>			
表 現 分 類 コ ー ド			
タイプ	分類コード	図形区分	名称
E5	4211	0	官民境界杭 [既成図]
E5	4212	0	官民境界杭 [T S 測量取得分]
既 成 図			
			
入 力			
			

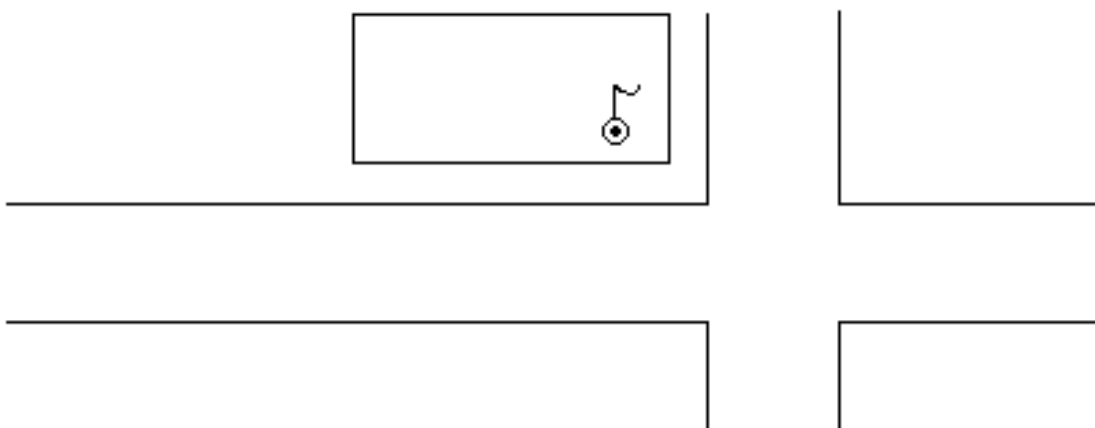
(25) 多角点(基準点)

入 力 説 明			
真位置を入力する。(座標でプロット)			
表 現 分 類 コ ー ド			
タイプ	分類コード	図形区分	名称
E5	7303	0	多角点等
E7	8173	0	基準点等注記
既 成 図			
			
<p>(参考)</p> <p>1・2・3級基準点のみ</p>			
入 力			
			

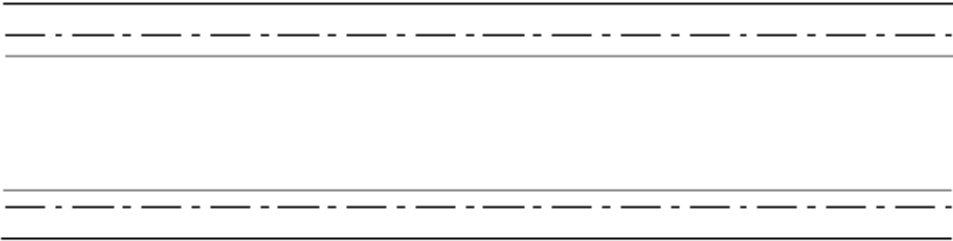
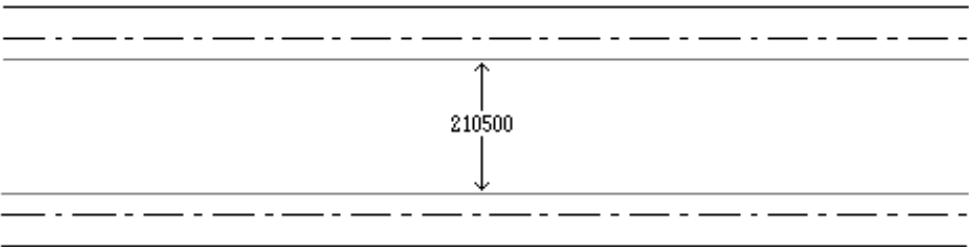
(26) 路線番号

入 力 説 明			
路線に沿って平行に入力する。			
表 現 分 類 コ ー ド			
タイプ	分類コード	図形区分	名称
E7	9001	0	路線番号
既 成 図			
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block; margin: 20px auto;">青 葉 1 0 0 1</div> <hr style="width: 80%; margin: 20px auto;"/> <hr style="width: 80%; margin: 20px auto;"/>			
入 力			
 <div style="margin: 20px auto;">青 葉 1 0 0 1 ← 900100</div> <hr style="width: 80%; margin: 20px auto;"/> <hr style="width: 80%; margin: 20px auto;"/>			

(27) 電子基準点

入 力 説 明			
真位置を入力する。			
表 現 分 類 コ ー ド			
タイプ	分類コード	図形区分	名称
E5	7308	0	電子基準点
既 成 図			
入 力			
			

(2 8) 区画線

入 力 説 明			
区画線の中心を入力する。			
表 現 分 類 コ ー ド			
タイプ	分類コード	図形区分	名称
E2	2105	0	区画線
既 成 図			
			
入 力			
			

(29) 普通建物

入 力 説 明			
建物の外周を入力する。			
表 現 分 類 コ ー ド			
タイプ	分類コード	図形区分	名称
E2	3001	0	普通建物
E2	3001	3	普通建物 [外付階段]
既 成 図			
入 力			

(30) ゼブラゾーン

入 力 説 明			
真位置を入力する。			
表 現 分 類 コ ー ド			
タイプ	分類コード	図形区分	名称
E2	2223	0	ゼブラゾーン
E2	2223	99	ゼブラゾーン[補助線]
既 成 図			
入 力			

2. 構造化データ入力

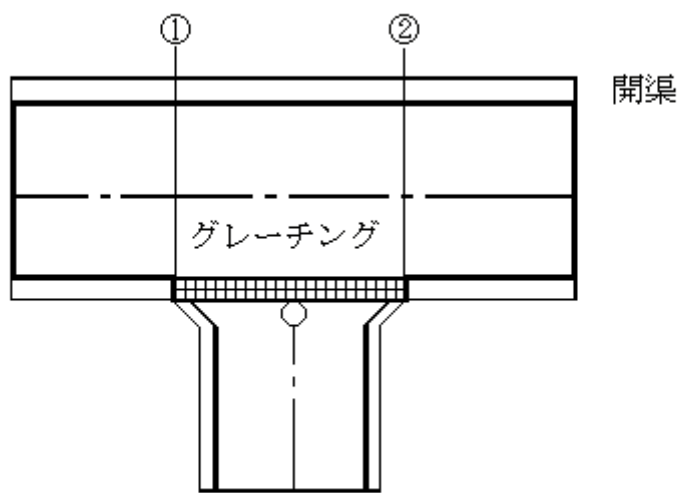
(1) 道路部面

入 力 説 明			
道路部を構成する面を入力し、始終点を一致させる。(P 1 , P 1 1)			
表 現 分 類 コ ー ド			
タイプ	分類コード	図形区分	名称
E1	9201	0	道路部面
既 成 図			
入 力			

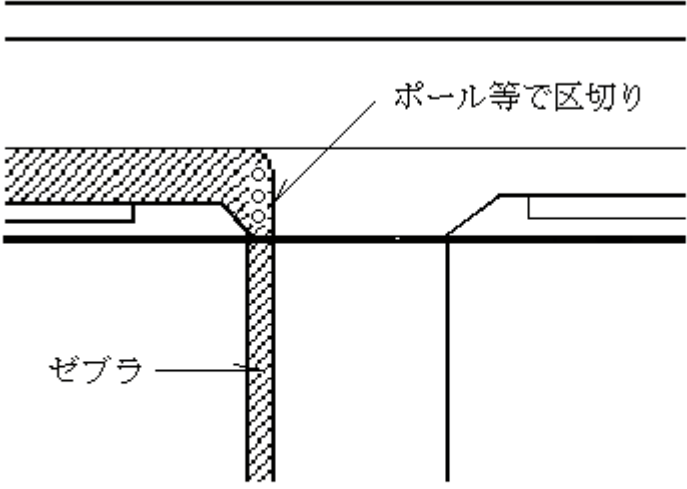
道路部の判断について

記	載
<p>側溝の開渠の道路部面は、内側を道路部区域とする。ただし、取り付け道路に蓋付き側溝（グレーチングも含む）がある場合は、外側を道路部区域とする。なお、側溝が0.50mを超える場合は、区間を設定する。</p>	

図



ゼブラ（マーキング）について

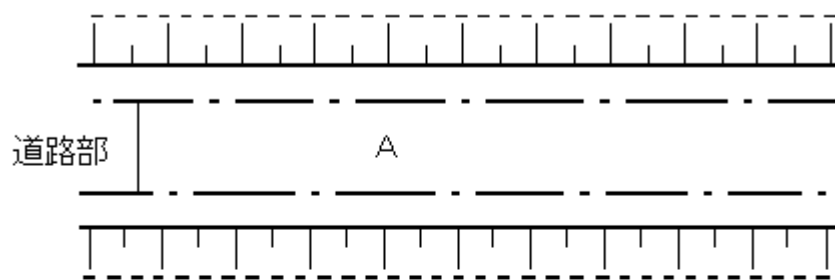
記	載
<p>基本的に車道部の一部とする。</p> <p>下図のようにゼブラ地帯の中に、何らかの構造物により車道と区切りがあるものは、安全地帯と同様の扱いにする（道路部には含めない）。</p>	
<p>図</p>	
 <p>The diagram illustrates a cross-section of a road. On the left, there is a zebra crossing, indicated by a vertical hatched area and labeled 'ゼブラ'. To the right of the zebra, there is a structure that separates the road, labeled 'ポール等で区切り'. This structure consists of a vertical line with a hatched top section. The road surface is shown as a horizontal line with a slight dip in the center. The overall structure is shown as a cross-section of a road with a zebra crossing and a separating structure.</p>	

郊外地での道路部の判断について

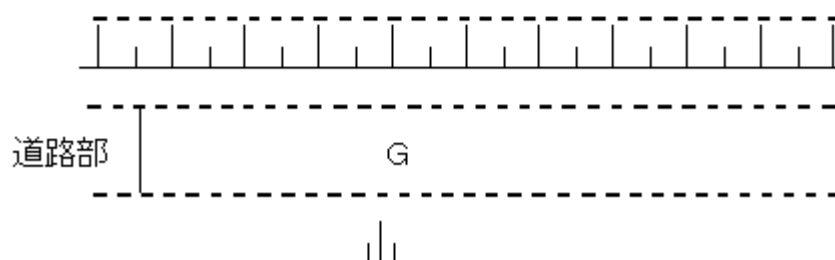
記	載
<p>郊外地での舗装道の場合</p> <p>道路部は、原則的に路面種別界とし、その内側に路肩を設定する。 このとき、防護柵が路面種別界より離れている場合でも、路面種別界を道路部の区域とする。</p>	
<p>郊外地での未舗装道の場合</p> <p>道路部は、原則的に地類界（車が走っていると思われる所）とし、その内側に路肩をとる。</p>	

図

郊外地での舗装道の場合



郊外地での未舗装道の場合



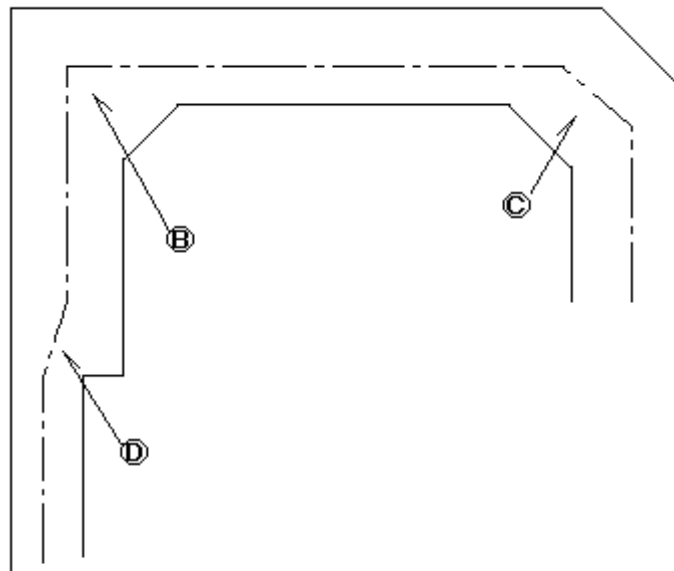
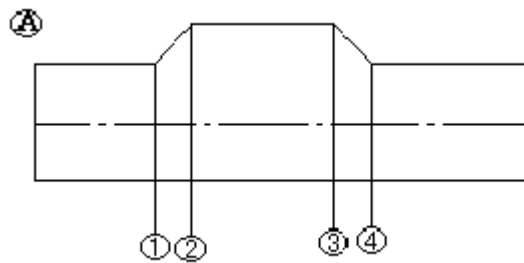
(2) 中心線

入 力 説 明			
道路の中心線を道路部を構成する面の中心が通るように、実延長・ダブルウェイ・重用・未供用現道有り・未供用現道無し・特殊処理・陰線に分類して入力する。			
表 現 分 類 コ ー ド			
タイプ	分類コード	図形区分	名称
E2	9103	0	区間道路中心線(実延長)
E2	9104	0	区間道路中心線(ダブルウェイ)
E2	9105	0	区間道路中心線(重用)
E2	9106	0	区間道路中心線(未供用現道有り)
E2	9107	0	区間道路中心線(未供用現道無し)
E2	9108	0	区間道路中心線(特殊処理)
E2	9109	0	区間道路中心線(陰線)
既 成 図			
入 力			

中心線の判断について

記	載
<p>停車帯は車道として捉え、中心線は屈曲させない。また、区間はⒶのように入力する。</p> <p>団地等に見られる直角なカーブで片側に隅切りがある場合は、のⒷのように入力する。また、直角でない場合は、Ⓒの様に入力する。</p> <p>道路の中心線に対し、道路区域が直角に変化する所の中心線はⒹのように入力する。</p>	

図



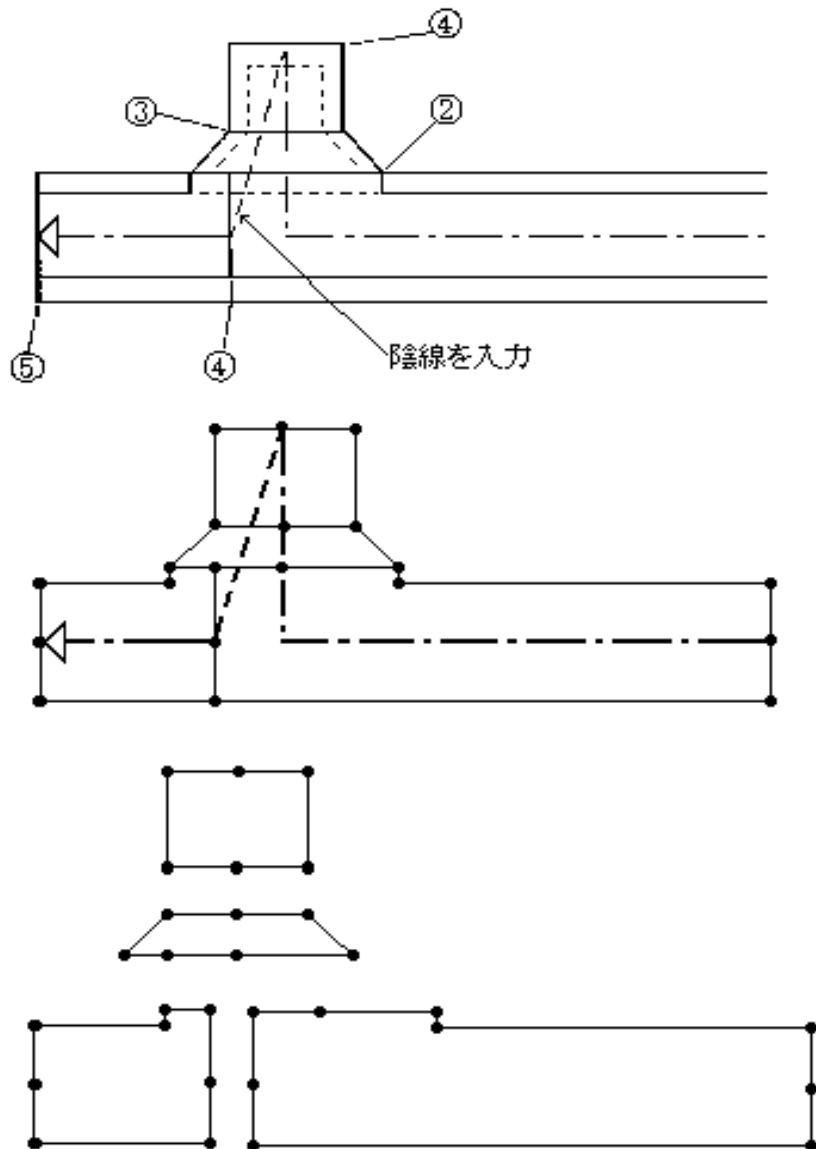
ダブルウェイ線及び特殊処理の入力について

記	載
<p>自治省公共施設状況調査数値報告のため、ダブルウェイ線を入力する。(図1)</p> <p>ダブルウェイの定義 { <ul style="list-style-type: none"> 1つの認定路線であること。 一般道路であること。 上下線分離でないこと。 </p> <p>独立専用自歩道ではダブルウェイは無いものとする。 中心線は延長の長い方とする。 ダブルウェイ部分の幅員構成は、ダブルウェイ全体の路面面積を、中心線の延長で除したものとする。</p> <p>図2のように、道路部面が中抜きになる道路形態の場合、特殊処理で入力する。</p>	
図	
<p>図 1</p>	
<p>図 2</p>	

陰線の入力について

記	載
<p>区間面入力の際には、起点もしくは、終点が複数ある場合、陰線を入力する。</p>	

図



各面入力の際に、面を構成する区間線と中心線とに必ず交点を求め、この交点を踏んで面を入力する。

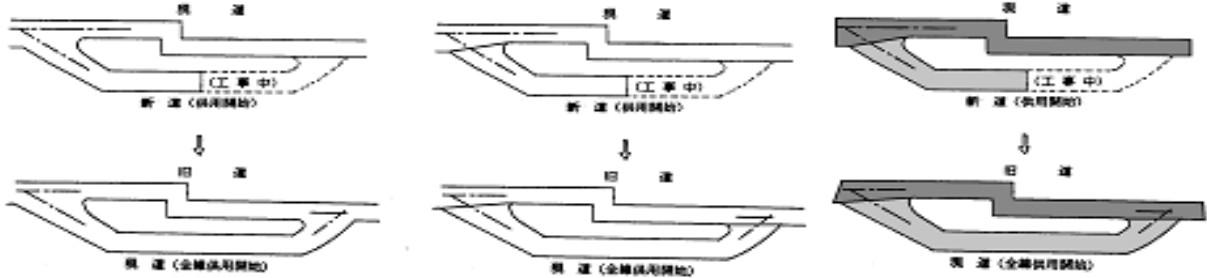
(3) 区間線

入 力 説 明			
最終区間線は起終点線と同一のため不要とする。			
表 現 分 類 コ ー ド			
タイプ	分類コード	図形区分	名称
E2	9002	0	区間線
既 成 図			
入 力			

道路種別について

記	載								
道路種別の区分毎に区間を設定する。									
図									
<div style="display: flex; justify-content: center; align-items: center;"> <div style="margin-right: 20px;"> </div> <div style="margin-right: 20px;"> <p style="text-align: center;">一級路線</p> </div> <div> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: center; align-items: center;"> <div style="margin-right: 20px;"> </div> <div style="margin-right: 20px;"> </div> <div> </div> </div> <div style="margin-top: 10px;"> <table style="border: none;"> <tr> <td style="width: 20px; height: 10px; background-color: black; display: inline-block;"></td> <td style="padding-left: 5px;">一級</td> </tr> <tr> <td style="width: 20px; height: 10px; background-color: gray; display: inline-block;"></td> <td style="padding-left: 5px;">その他</td> </tr> </table> </div>			一級		その他				
	一級								
	その他								
メ	モ								
<p>道路種別区分コード</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">1 . 高速自動車国道</td> <td style="width: 50%;">5 . 一般都道府県道</td> </tr> <tr> <td>2 . 一般国道指定区間</td> <td>6 . 市町村道 1 級</td> </tr> <tr> <td>3 . 一般国道指定区間外</td> <td>7 . 市町村道 2 級</td> </tr> <tr> <td>4 . 主要地方道</td> <td>8 . 市町村道その他</td> </tr> </table>		1 . 高速自動車国道	5 . 一般都道府県道	2 . 一般国道指定区間	6 . 市町村道 1 級	3 . 一般国道指定区間外	7 . 市町村道 2 級	4 . 主要地方道	8 . 市町村道その他
1 . 高速自動車国道	5 . 一般都道府県道								
2 . 一般国道指定区間	6 . 市町村道 1 級								
3 . 一般国道指定区間外	7 . 市町村道 2 級								
4 . 主要地方道	8 . 市町村道その他								

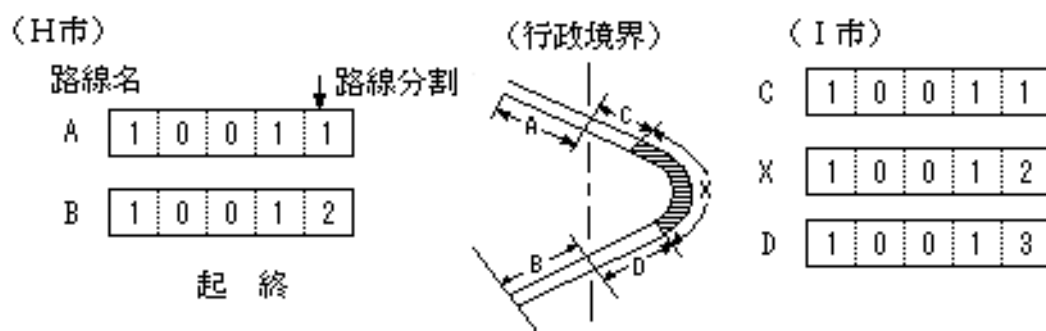
現道・旧道区分について

記	載
<p>現道・旧道区別に区間を設定する。</p>	
入 力 例	
	
メ	モ
<p>現道・旧道区分コード</p> <ul style="list-style-type: none"> 1 . 現道 2 . 旧道 3 . 新道 	

路線分割について

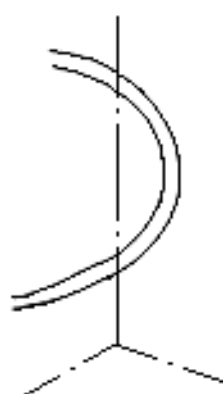
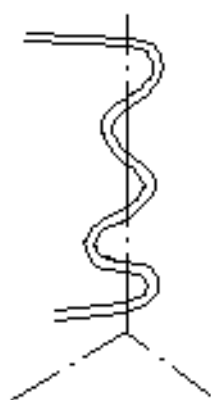
記	載
<p>一般都道府県道以上の現道で同一市町村内において図に見られるような条件で切断される場合、起点から終点に向かって一連番号と区間を設定する。</p>	

図



※Xの区間は他の管理区間（ただし、調査機関区分が同一である場合を除く。）をさす。例として日本道路公団管理の有料道路。

下図のような場合は、細分割されたものをまとめて取扱う。



下図のような場合は「路線分割」に該当しない。



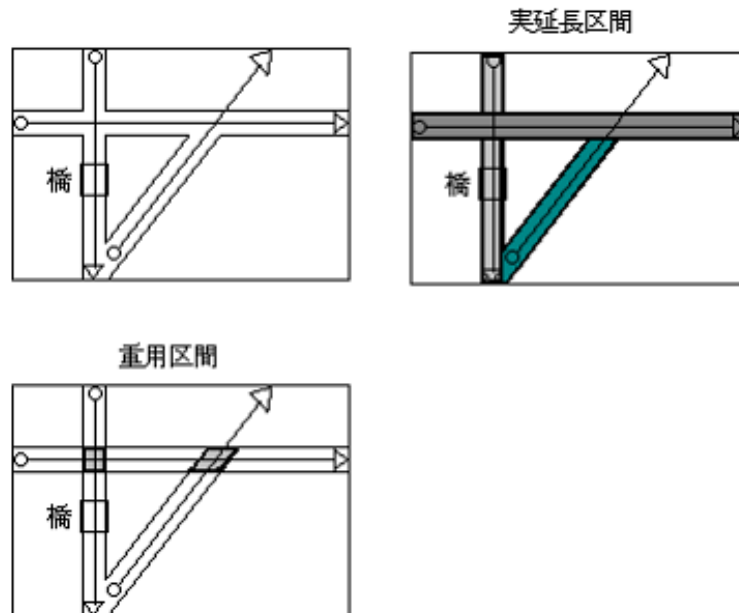
自動車専用区分について

記	載
<p>高速自動車国道または道路法第48条の2の規定により、指定された自動車専用道路の場合、区間を設定する。</p>	

延長内訳区分について

記	載
<p>延長内訳区分毎に区間を設定する。 なお、未供用（その他：現道無し）については、中心線を入力する。</p> <p>重用の取り扱いについて 重用の優先順位 新規作成</p> <ol style="list-style-type: none"> 1．道路種別の上位路線を実延長とする。 2．道路種別が同一の場合、幅員の広いほうを実延長とする。 3．道路種別が同一であり、かつ、同幅員の場合は、路線番号の小さい方を実延長とする。 <p>既存図 従来通りとする。</p>	

図



メ	モ
延長内訳区分コード	
1	実延長
2	重用
3	未供用(海上)
4	未供用(その他：現道有り)
5	未供用(その他：現道無し)
6	渡船場(自地域内)
7	渡船場(市町村界)
8	渡船場(都道府県界)

構造区分について

記	載
<p>構造区分コード毎に区間を設定する。</p> <p>* 階段部は、ステップだけで区間を設定する必要はなく、踊り場等の構造を考慮した上で1区間とする。</p>	
メ	モ
<p>構造区分コード</p> <ul style="list-style-type: none"> 1 . 道路 2 . 永久橋（石橋を除く） 3 . 木橋 4 . トンネル 5 . 永久橋（石橋） 6 . 混合橋（永久橋と木橋） 7 . 踏切 8 . 跨道 9 . 跨線 10 . 階段 <p>跨道：道路上部に架けられた橋で、鉄道が上で道路が下 跨線：鉄道を越えるための橋で、道路が上で鉄道が下</p>	
<p>行政区分コード</p> <ul style="list-style-type: none"> 1 . 自地域内 2 . 市区町村界 3 . 都道府県界 	

路面種別区分について

記 載	
路面種別の変化するところに区間を設定する。	
図	
<p>The diagrams show three cross-sections of a road with two sections: '図面番号〇〇' (left) and '図面番号〇×' (right). 1. Top diagram: Both sections have a uniform pavement type (represented by a specific hatching pattern). 2. Middle diagram: The pavement type changes at the boundary. The left section has a different hatching pattern than the right section. 3. Bottom diagram: The pavement type changes at the boundary, and the right section is shaded gray to indicate a specific type.</p>	
メ モ	
<p>路面種別区分コード</p> <ul style="list-style-type: none"> 1 . セメント系 2 . アスファルト系 高級 3 . アスファルト系 簡易 4 . 未舗装・砂利 5 . 未舗装・その他 	

改良、未改良区分（自動車交通不能区間）について

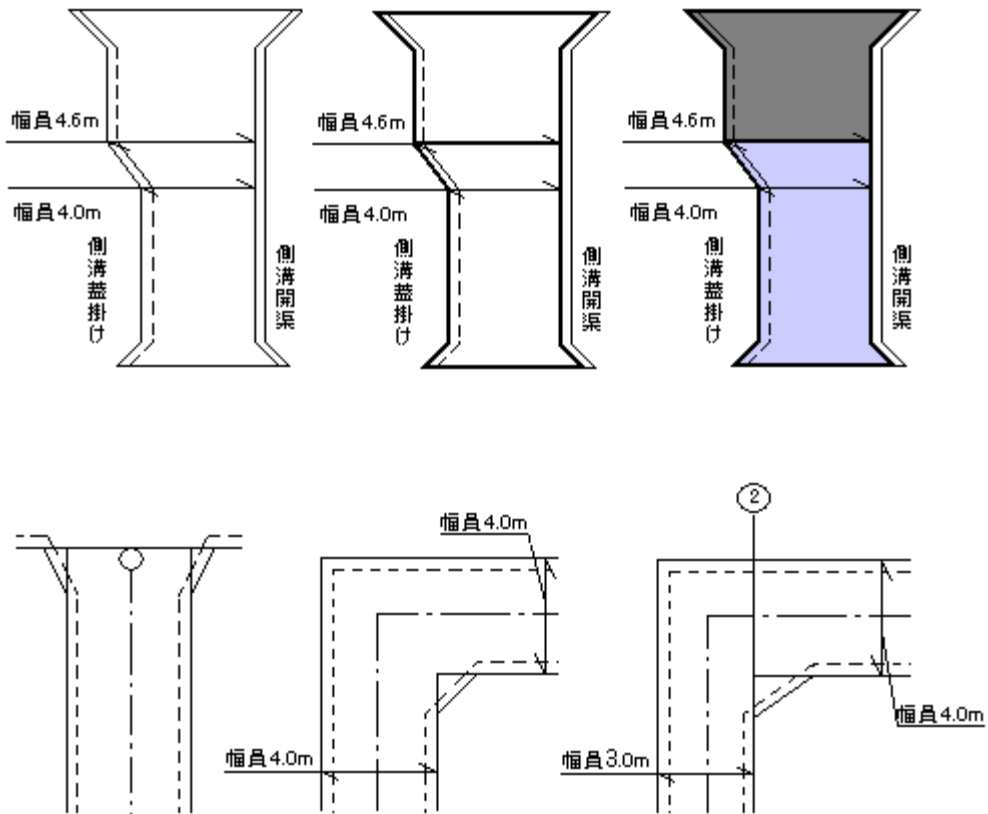
記 載	
<p>改良、未改良の区分のところで区間を設定する。</p> <p>改良済みの判断基準</p> <p>車道幅員 3 . 0 m 以上</p> <p>路面排水設備及び構造保全施設が整備</p> <p>曲線半径 15m 以上、曲線長 40m 以上、縦断勾配 1 2 % 未満</p> <p>専用道路については、通行帯幅員が 2 . 0 m 以上</p> <p>自動車交通不能区間</p> <p>一般道路で未改良区間のうち、車道幅員 3 . 0 m 未満、縦断勾配 1 2 % を越える区間で最大積載量 4 トンの貨物自動車が行きできないもの。</p> <p>また、専用道路および階段は自動車交通不能区間とする。</p>	
図	
メ	モ
<p>改良未改良区分コード</p> <p>1 . 改良</p> <p>2 . 未改良</p>	<p>自動車交通不能区分コード</p> <p>1 . 自動車交通可能</p> <p>2 . 自動車交通不能</p>

道路部幅員の変化点について

記	載
<p>中心線に対しての垂直を幅員として0.50m変化する毎に区間を設定する。</p> <p>交差点、団地等に見られる直角カーブで隅切りにより道路幅員が変化しない場合は、区間を設定しない。但し、直角カーブで、前後の幅員が0.50m変化する場合は、区間を設定する。</p>	

図

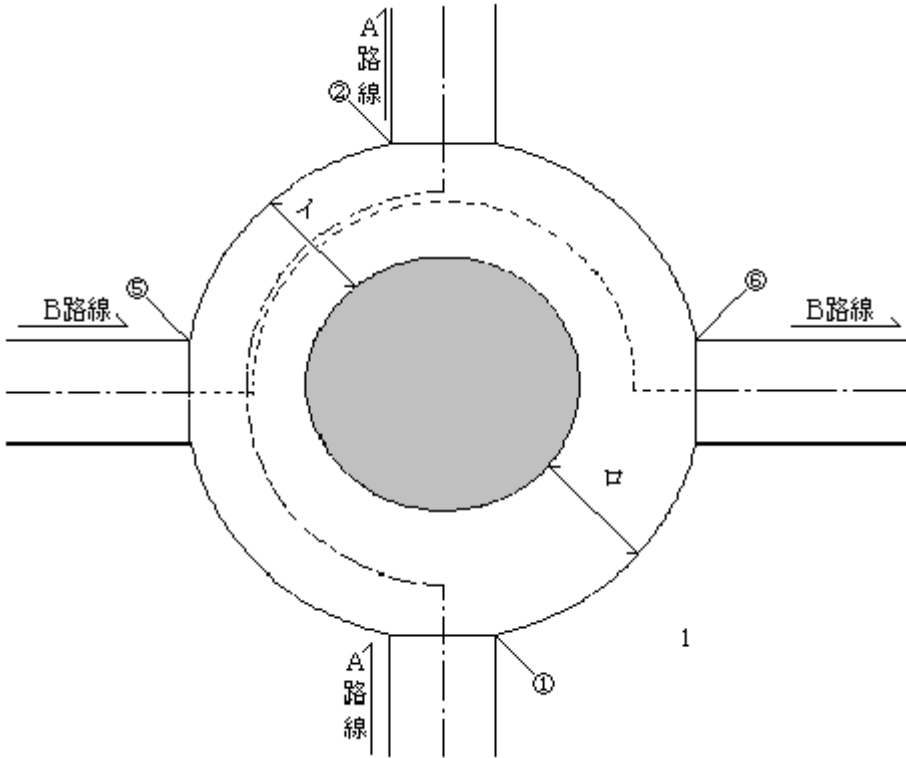
・道路部、有効幅員



道路部幅員構成の変化点

記	載
<p>道路部幅員の変化が0.50m未満であっても、車道幅員に0.50m以上の変化がある場合、区間を設定する。</p>	
入 力 例	
<p>・道路部、有効幅員</p>	

ロータリー部分の区間設定、幅員構成、ならびに延長について

入 力 方 法
<p>実延長は、左右どちらか延長の長い方を計上する。(図 A 路線 2 区間)</p> <p>幅員構成は、(図 イ + ロ = 路面幅員) とする。</p> <p>ロータリー内の中心部分(図の 部)は敷地面積とし、中央帯にはせず、路面面積にはこの部分を計上しない。</p> <p>重用延長についても長い方を計上する。(図 B 線 6 区間)</p>
入 力 例


交差点について

記	載
<p>十字交差以上の交差点に区間を設定する。</p>	
<p>図</p>	
<p>The diagram illustrates two types of cross intersections and how to set intervals at them. 十字交差点 (重用) (Cross intersection (reuse)): Shows a horizontal road (A route) and a vertical road (B route). The intersection is shaded. Circled numbers 1, 2, 3, and 4 indicate the start and end points of the interval on each road. 十字交差点 (Cross intersection): Shows a horizontal road (A route) and a vertical road (B route). The intersection is shaded. Circled numbers 1 and 2 indicate the start and end points of the interval on the horizontal road, while the vertical road's interval is not explicitly numbered but shown as a shaded area.</p>	

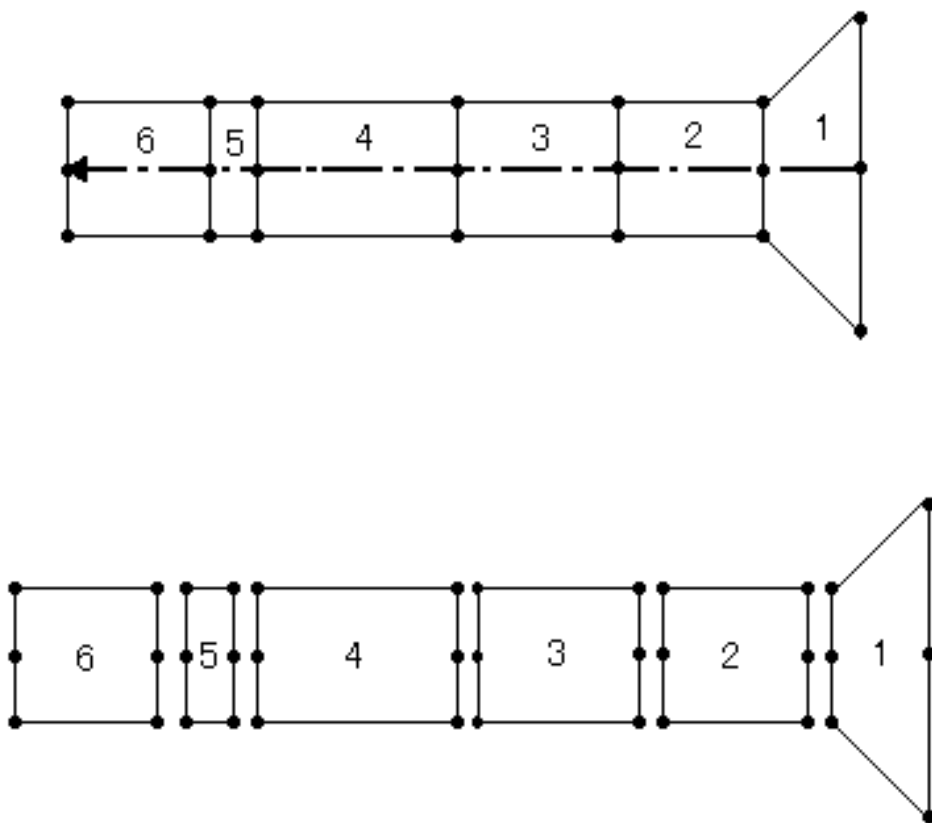
(4) 区間面

入 力 説 明			
区間を構成する面を入力し、始終点を一致させる (P 1 , P 7) 。			
表 現 分 類 コ ー ド			
タイプ	分類コード	図形区分	名称
E1	9202	0	区間面
既 成 図			
<p>The diagram shows a road intersection with a vertical road on the left and a horizontal road on the right. A diagonal road branches off from the vertical road. Callout 1 points to the vertical road, callout 2 points to the horizontal road, and callout 3 points to the diagonal road. Dashed lines indicate the boundaries of the road segments.</p>			
入 力			
<p>The diagram is identical to the 'Existing Diagram' but includes point labels: P1 and P7 are at the top of the vertical road; P2, P3, and P4 are at the junctions of the horizontal and diagonal roads; P5 and P6 are at the bottom of the vertical road. Callouts 1, 2, and 3 are also present.</p>			

区間面入力の際に留意すること

記	載
<p>区間面入力の際には、面を構成する区間線と中心線とに必ず交点を求め、この交点を踏んで面を入力する。</p>	

図



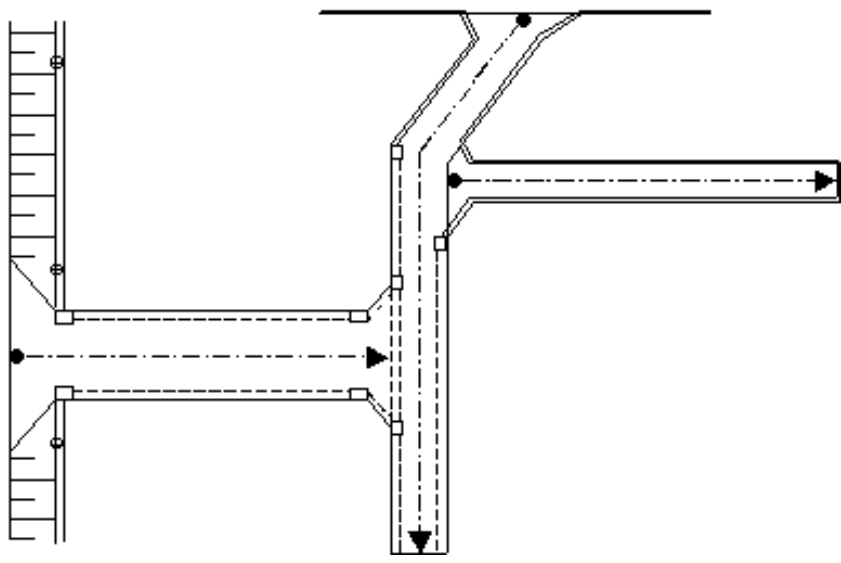
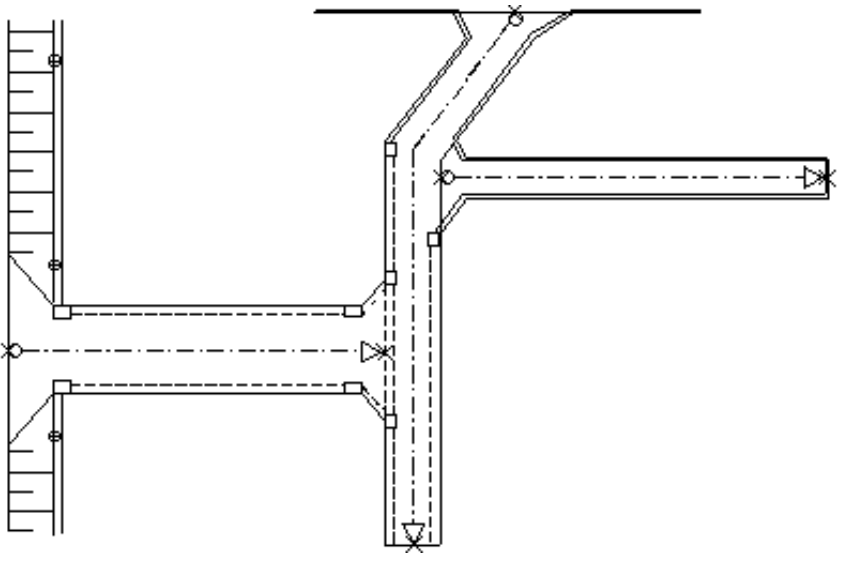
(5) 隅切り区間面

入力説明			
隅切りを構成する面を入力し、始終点に一致させる (P 1 , P 1 1) 。			
表現分類コード			
タイプ	分類コード	図形区分	名称
E1	9203	0	隅切り区間面
既成図			
入力			

(6) 起終点線

入 力 説 明			
<p>起点および終点の線は道路の中心線の座標に合わせて入力する。</p> <p>原則的に道路の形態で決定する(A; P1, P2, P3)。ただし、道路管理者が違う道路(国土交通省管理の国道)との起点、終点及び重用部分については、敷地境界線により決定する。また、このとき敷地境界線が不明な箇所については、国道の道路台帳等を確認すること。</p> <p>道路の折れ点やカーブより起点が始まるときには、他の路線の折れ点やカーブを生かし作成する(B; P1, P2, P3, P4)。</p> <p>交差点での重用箇所においても適用する。</p>			
表 現 分 類 コ ー ド			
タイプ	分類コード	図形区分	名称
E2	9001	0	起終点線
既 成 図			
入 力			

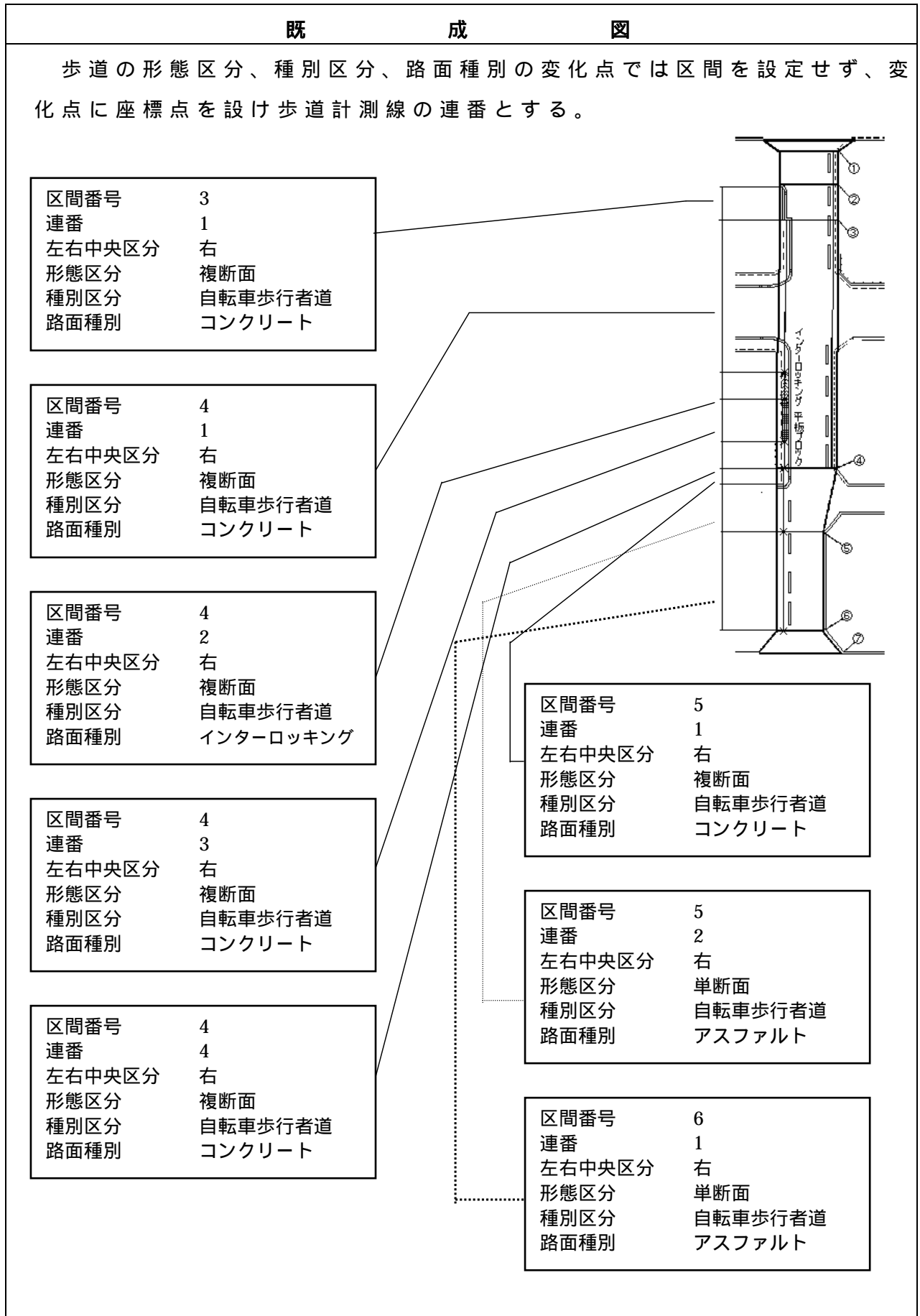
(7) 起点・終点

入 力 説 明			
起点と終点は道路の中心線の座標に合わせて入力する。			
表 現 分 類 コ ー ド			
タイプ	分類コード	図形区分	名称
E6	9101	0	起点
E6	9102	0	終点
既 成 図			
			
入 力			
			

(8) 歩道計測線

入 力 説 明			
<p>国土交通省の道路施設現況調査提要の道路現況調査、部分自歩道(第3号様式)で規定する仕様に従い歩道等部分の中心線上に計測線を区間面単位に入力する。</p> <p>種別区分の判断基準</p> <p>自転車歩行者道：歩道幅員2.0m以上</p> <p>歩道：歩道幅員2.0m未満</p>			
表 現 分 類 コ ー ド			
タイプ	分類コード	図形区分	名称
E2	9305	00	歩道計測線
既 成 図			
入 力			

歩道計測線について

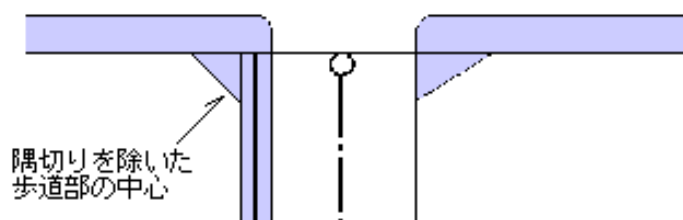


交差部の歩道延長計測線について

巻き込み その 1

対象とする路線の区域の隅切り部分で、巻き込み歩道がある場合は隅切りを除いた歩道部の中心線とする。

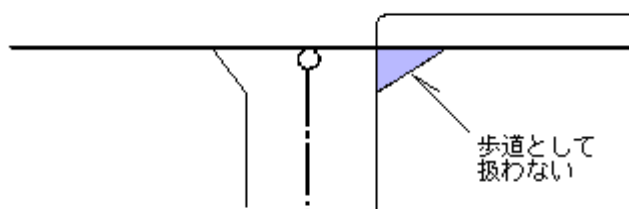
図



巻き込み その 2

対象とする路線の区域内に、隅切り部分にだけ、巻き込み歩道がある場合は歩道として扱わない。

図



歩道の種別区分

記	載
<p>バス停等のように部分的に幅員が変化する場合は、路線全体の歩道種別より判断する。</p>	
<p>図</p>	
<p style="text-align: center;">2m以下でも前後の歩道種別より 自転車歩行者道と判断する</p>	

(9) 歩道植樹施設計測線

入 力 説 明			
<p>国土交通省の道路施設現況調査提要の道路現況調査、部分自歩道(第3号様式)で規定する仕様に従い歩道等部分の中心線上に計測線を区間面単位に交点を設定し入力する(P1、P2)。</p>			
表 現 分 類 コ ー ド			
タイプ	分類コード	図形区分	名称
E2	9306	0	歩道植樹施設計測線
既 成 図			
入 力			

歩道植樹施設測線について

記	載
<p>1. 列状と帯状の区分および延長は、下図のとおりとする。</p>	
<p>図</p>	
<p>1. 列状</p> <p>歩道延長</p> <p>植樹施設延長</p> <p>2. 帯状</p> <p>植樹施設延長</p> <p>3. 混在</p> <p>L1 L2 L3</p> <p>L1</p> <p>列状 = L5</p> <p>帯状 = L1+L2+L3+L4+L6+L7+L8</p> <p>帯状、列状が併設の場合は、帯状に準じて整理する。</p> <p>L2 L3 L4</p> <p>L5</p> <p>L6 L7 L8</p>	

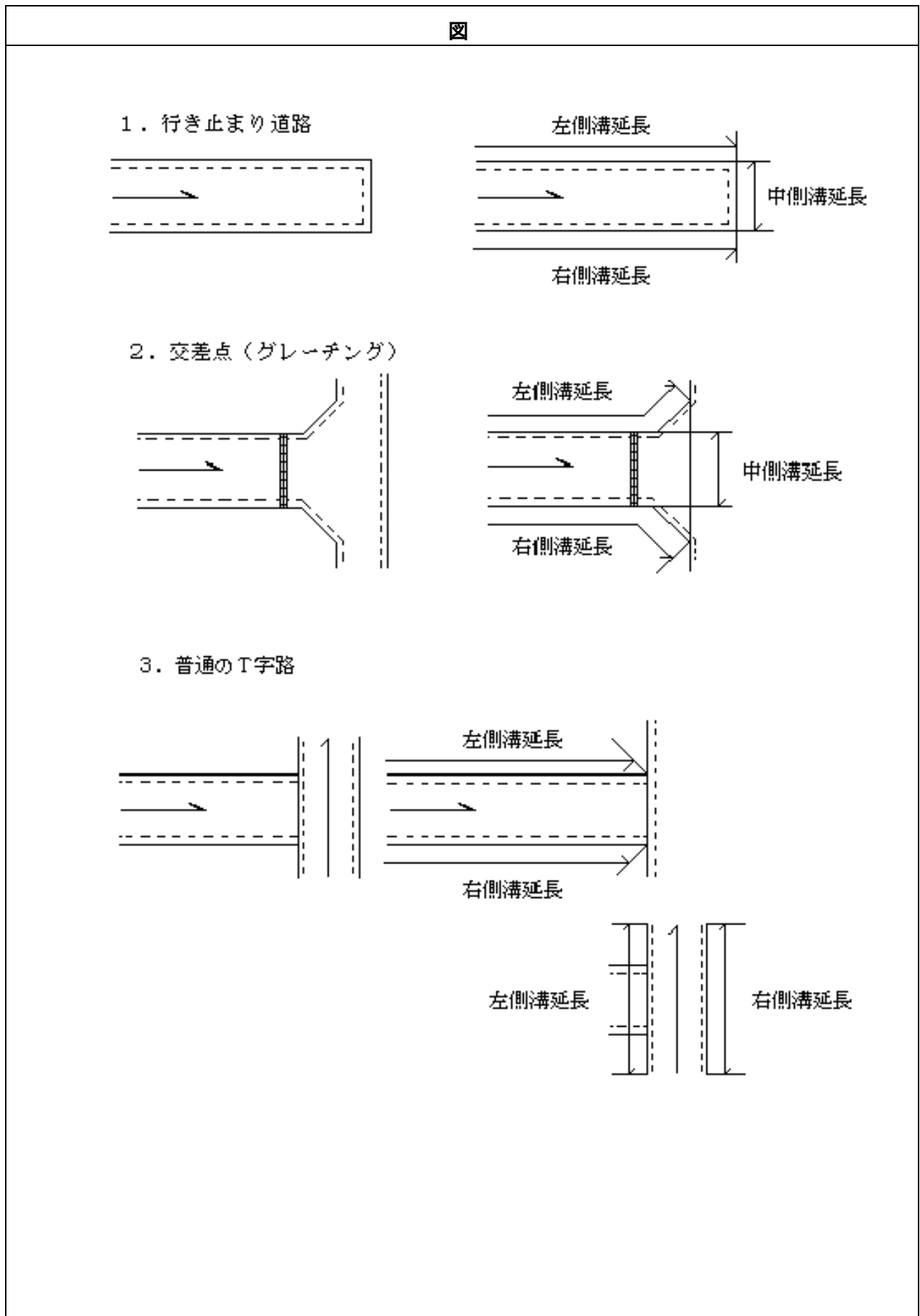
(10) 中央帯計測線

入 力 説 明			
<p>国土交通省の道路施設現況調査提要の道路現況調査、総括(第1号様式)規定する仕様に従い、分離帯の中心に計測線を区間面単位に交点を設定し入力する。</p>			
表 現 分 類 コ ー ド			
タイプ	分類コード	図形区分	名称
E2	9307	0	中央帯計測線
既 成 図			
入 力			

(11) 側溝計測線

入 力 説 明			
<p>道路区域と道路の中心より外側（民地側）の側溝線の交点を確認し、該当する区域内の側溝を入力する。</p> <p>なお、グレーチングはU型側溝蓋掛として計測線を入力する。</p>			
表 現 分 類 コ ー ド			
タイプ	分類コード	図形区分	名称
E2	9301	0	U型側溝蓋掛計測線
E2	9302	0	U型側溝開渠計測線
E2	9303	0	L型側溝計測線
既 成 図			
入 力			

行き止まり道路等の側溝計測線



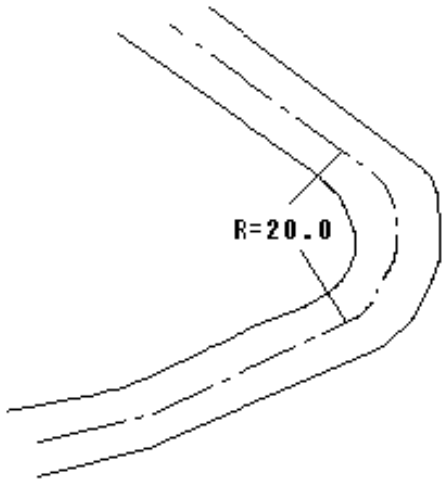
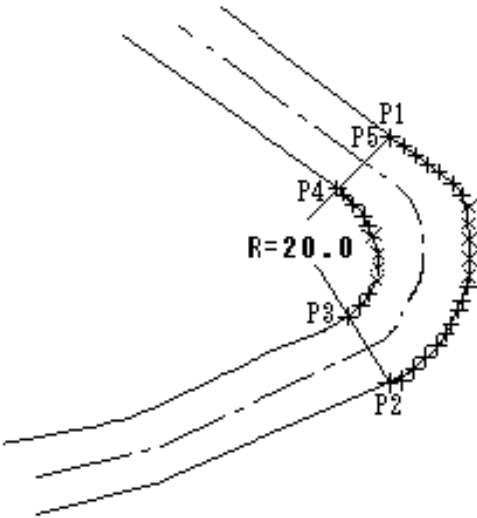
(1 2) 防護柵計測線

入 力 説 明			
真位置に対して入力する (P 1 , P 2) 。			
表 現 分 類 コ ー ド			
タイプ	分類コード	図形区分	名称
E2	9309	0	防護柵計測線
既 成 図			
入 力			

(13) 最急勾配箇所面

入 力 説 明			
8 % 以上の勾配箇所を道路部面上に入力する。 なお、始終点は一致させる (P 1 , P 5) 。			
表 現 分 類 コ ー ド			
タイプ	分類コード	図形区分	名称
E1	9211	0	最急勾配箇所面
既 成 図			
入 力			

(14) 最小半径箇所面

入 力 説 明			
30m未満の最小半径箇所を道路部面上に入力する。 なお、始終点は一致させる(P1, P5)。			
表 現 分 類 コ ー ド			
タイプ	分類コード	図形区分	名称
E1	9212	0	最小半径箇所面
既 成 図			
			
入 力			
			

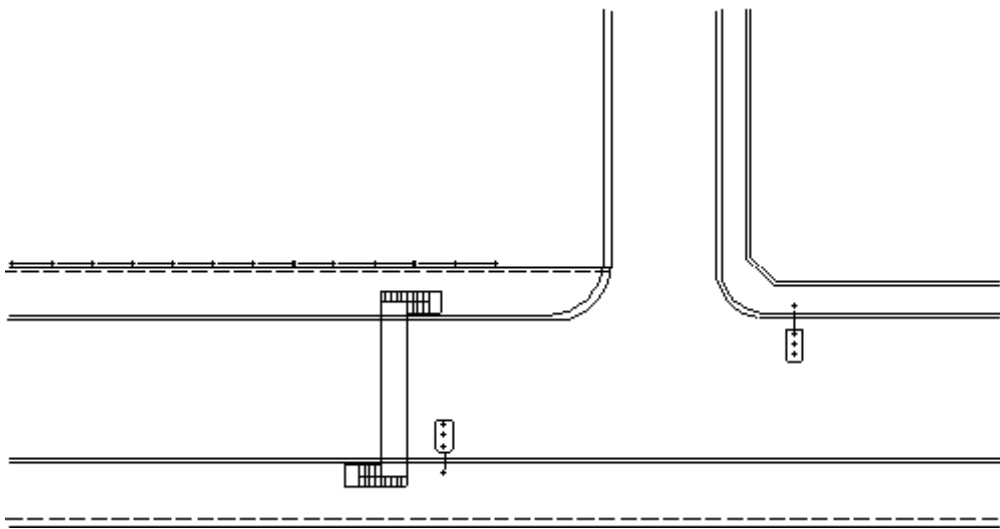
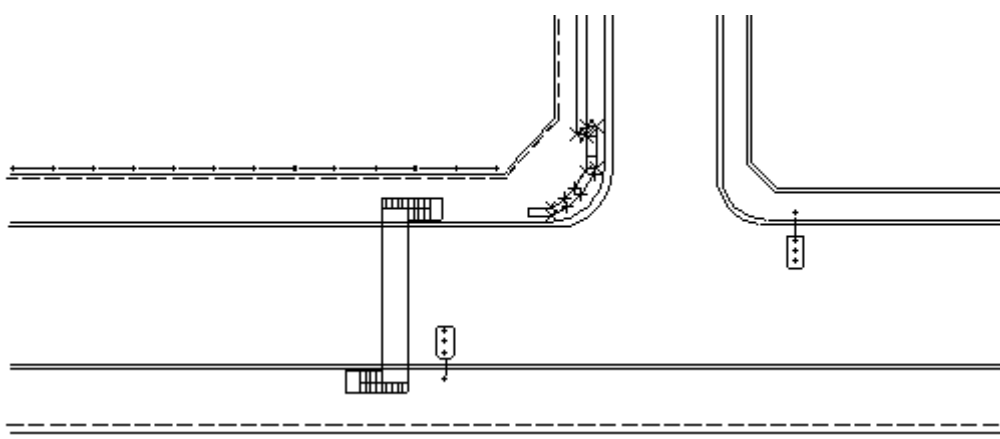
(15) 立体横断施設箇所面

入 力 説 明			
<p>延長内訳区分が実延長(上位路線)に設置されている立体横断施設箇所を道路部面上に入力する。</p> <p>なお、始終点は一致させる(P1, P5)。</p> <p>特殊な場合については、協議事項とする。</p>			
表 現 分 類 コ ー ド			
タイプ	分類コード	図形区分	名称
E1	9213	0	立体横断施設箇所面
既 成 図			
入 力			

(16) 信号設置箇所面

入 力 説 明			
<p>延長内訳が実延長の区間に設置されている信号施設箇所を道路部面上に入力する。</p> <p>なお、始終点は一致させる(P1, P7)。</p>			
表 現 分 類 コ ー ド			
タイプ	分類コード	図形区分	名称
E1	9214	0	信号設置箇所面
既 成 図			
入 力			

(17) 視覚障害者誘導用ブロック面

入 力 説 明			
視覚障害者誘導用ブロック面の縁線を入力する。 なお、始終点は一致させる。			
表 現 分 類 コ ー ド			
タイプ	分類コード	図形区分	名称
E1	9215	0	視覚障害者誘導用ブロック面
既 成 図			
			
入 力			
			

(1 8) 道路管理者主張線

入 力 説 明			
<p>仙台市より貸与された資料より道路の敷地を一筆書き (P 1 , P 1 6) で入力し、整備済と未整備について表現分類コードで区分し、入力する。 なお、始終点は一致させる。</p>			
表 現 分 類 コ ー ド			
タイプ	分類コード	図形区分	名称
E1	9401	0	道路管理者主張線
E2	9401	1	道路管理者主張線 (整備済)
E2	9401	2	道路管理者主張線 (未整備)
既 成 図			
<p>The diagram illustrates a road layout with two parallel horizontal sections. The top section is labeled '道路敷地構成図整備済' (Road site plan completed) and is drawn with solid lines. The bottom section is labeled '道路敷地構成図未整備' (Road site plan not completed) and is drawn with dashed lines. Both sections have several points marked with a circle containing a cross. The layout is bounded by vertical lines on the left and right, and diagonal lines at the ends.</p>			
入 力			
<p>The diagram shows the input points for the road layout. The points are labeled P1 through P15. P5 and P6 are at the top and bottom left corners, respectively. P13 and P12 are at the top and bottom right corners, respectively. The top section points are P4, P3, P2, P1, P15, P14. The bottom section points are P7, P8, P9, P10, P11. The road is drawn with solid lines between P4-P3-P2-P1 and P7-P8-P9-P10, and dashed lines between P1-P15-P14 and P10-P11-P12. The labels '940101' and '940102' are placed below the bottom section.</p>			

(19) 区間幅員及び区間切りの要素について

記	載
区間幅員について	
	部幅員 = 道路部面積 ÷ 実延長
	車道部幅員 = (道路部面積 - 歩道部面積) ÷ 実延長 - 路肩幅員 - 中央帯幅員
	区間面積は隅切り面積を除いたもの。
	歩道部幅員 = 歩道部面積 ÷ 歩道延長
	分離帯幅員 = 分離帯面積 ÷ 分離帯延長
	側帯幅員 (路肩部を除く)
	イ. 最小幅員は左右合計 0.50 m とする。
	ロ. 区画線がある場合は、区画線までを側帯幅員とする。
	中央帯幅員 = 分離帯 + 側帯
	路肩幅員
	イ. 橋、トンネル、階段ならびに踏切の、最小幅員は左右合計 0.50 m とする。
	ロ. イ 以外の場合の最小幅員は、左右合計 1.00 m とする。
	ハ. 区画線がある場合は、区画線までを路肩幅員とする。
	ニ. 停車帯の路肩については、区画線の有無に関係なく、0.50 m とする。
区間切りの要素について	
	区域区分
	道路種別
	延長内訳区分
	行政区分
	区域変更区分
	修正事由
	現道・旧道区分
	路線分割
	自動車専用区分
	構造区分
	路面種別区分
	改良・未改良区分 (自動車交通不能区分も設定)
	幅員の変化点 (道路部・車道部・有効幅員 0.5 m 以上の変化)
{	歩道の有無 (車道部幅員の変化)
	中央帯の有無 (車道部幅員の変化)
	区画線によるもの (路肩・側帯幅員設定による車道幅員の変化)
	交差点箇所 (重用部の計上及び路線統廃合処理を想定)
	ダブルウェイ箇所 (ダブルウェイ部分の両端)
	終点複数箇所 (ふたまた路線)

3. 図面番号(ファイル名)について

地形図DMデータ管理のための基本単位である図郭割りを、地図情報レベル500の図郭割りに準拠し、地形図データを作成し、各フォルダにそれぞれファイルを格納する。 ファイル名例) 10QE2100

構造化データについては、青葉区・宮城総合支所・宮城野区・若林区・太白区・秋保総合支所・泉区
の名称とする。

4. 図式統一に関する判断基準について

帰属等により作成された図面には、異なった図式を使用し作成されたものもある。これらの異なった図式を、大縮尺地形図式 拡張デジタルマッピング取得分類基準表(案)(仙台市道路台帳追加図式を含む)の仕様に準じて統一をはかる。

真幅道路について

1. 真幅道路とは、有効幅員から有効幅員までを示すものとなっているが、区画された道路(団地内及び都市計画街路)等の場合は街区線を真幅道路とする。U字側溝開渠の場合は車道側を真幅道路で作図し、法面等ははっきりしない場合は真幅道路は入力しない。

道路橋について

1. 橋台パラペット前面から地覆の外側線を通り橋台パラペット前面までで閉じる線を道路橋で入力する。
2. 地覆の内側の線は真幅道路で入力する。

堅牢へいについて

1. 進行方向の右側に宅地等がくるように入力する。
2. 道路縁にあるへいに関しては道路縁線を入力し宅地と宅地の間は中心で入力する。

人工斜面について

1. 人工斜面の始終点は上端線と下端線は一致するように入力する。
2. 既存図において、地形的にあり得ないような斜面も見受けられるが、直し得る範囲内で修正し入力する。

用水路と河川の判断について

1. 用水路とは、構造物がある場合内寸0.6m以上で2.0m未満のものを指し2.0m以上あるものは、コンクリート被覆単線を入力する。
2. 構造物がない場合は、河川名称等が記載されていなければ用水路として取り扱い水際線を用水路で入力する。
3. 河川とは、上記1.2で記載した以外の幅員があるもので水際線を河川で入力する。

照明灯と防犯灯の判断について

1. 照明灯とは、道路幅員が9.0m以上あり歩道等を有する道路幅の広い道路または、橋梁上にある街路灯を指すものとする。尚、照明灯は一定間隔で設置されている事が多いので、その点にも着目し判断する。
2. 防犯灯とは、上記以外の街路灯とする。

堅牢建物と普通建物の判断について

1. 建物名称によりビル、マンション 学校等で3階建以上の構造と思われる建物は堅牢建物として入力する。
2. 上記以外の建物は、普通建物として入力する。

その他

1. 成果品
 - (1) 地形データファイル
 - (2) 構造化データファイル
 - (3) 構造化データ取得分類基準図
 - (4) 精度管理表
 - (5) ドキュメント(作業記録および打ち合わせ記録等)
2. 参考図書
 - (1) 国土交通省国土地理院
拡張デジタルマッピング実装規約(案)大縮尺地形図式 拡張デジタルマッピング取得分類基準表(案)を準用しております。

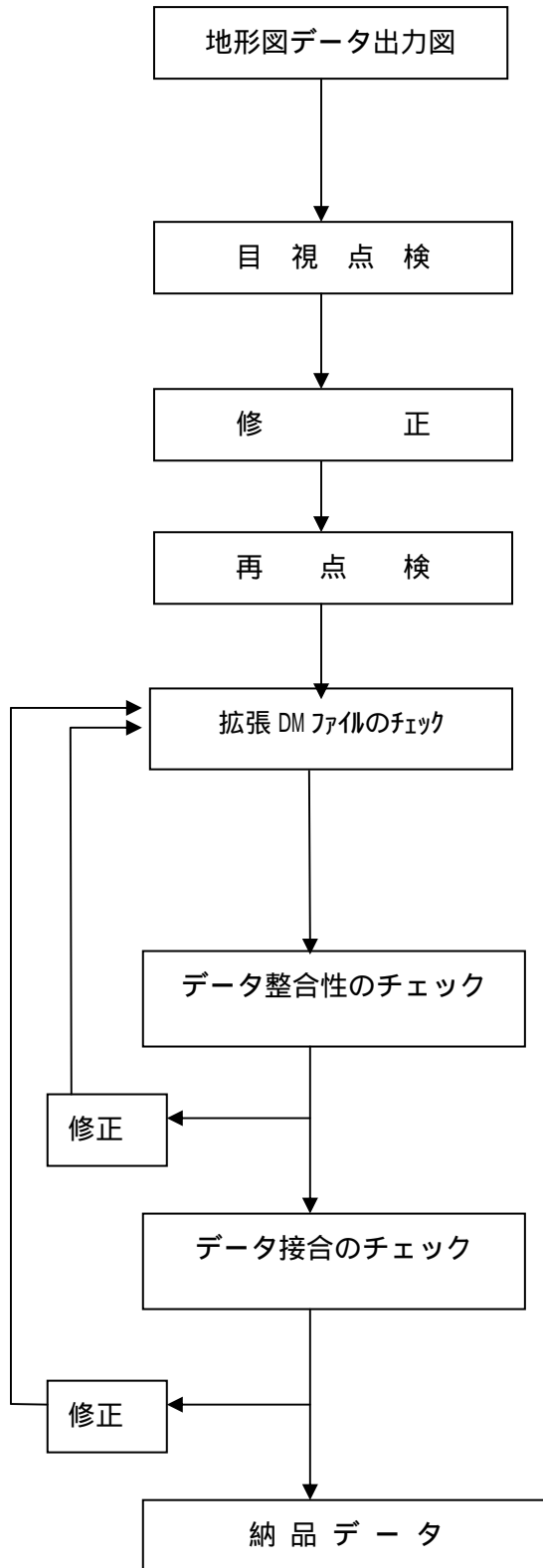
その他、本書に記載されている会社名、商品名、製品名などは、一般に各社の商標または登録商標です。

本仕様書は、平成 25 年 4 月 1 日より運用する
仙台市建設局道路部道路管理課路政係

道路台帳数值地図情報点検仕様書
(世界測地系対応版)

仙台市建設局道路部道路管理課

仙台市道路台帳点検内容
地形図



地物の脱落・コード・位置・方向等を目視により点検する。

道路台帳数値地図情報データファイルフォーマット「拡張DMフォーマット準拠」になっているか（84バイト固定長・図郭識別番号・shift-JIS・レコードタイプ・分類コード・・・）

閉図形で図郭に接しない図形が始終点一致チェック（コード表による）
閉じない図形で始終点一致チェック・・・

隣接図郭の接合でコードおよび座標一致をチェック（E2のみ対象）

拡張 DM フォーマットチェック

- 84 バイト固定長になっているか
- 図郭・グループヘッタ・要素レコードが仕様と一致しているか
例 図郭レコード(d) (e) (f)が3レコードあるか等
- レコードタイプと分類コードが仕様と一致しているか
- 漢字はすべて shift-JIS になっているか
- 円弧・円(レコードタイプ E3・E4)は不可
- 図郭外にはみ出ている座標がないか

地形データ整合チェック

- 始終点座標一致(図郭に接する箇所以外はエラー)

分類コード	図形区分	図形種類	オブジェクト名称	ファイル区分
1001	0	2	図面情報	地形
2211	0	2	横断歩道橋	地形
2212	0	2	地下横断歩道	地形
2214	0	2	石段	地形
2215	0	2	地下街・地下鉄等出入口	地形
2216	0	2	横断歩道(白線)	地形
2217	0	2	視覚障害者誘導用ブロック	地形
2219	0	2	道路のトンネル	地形
2222	0	2	安全地帯	地形
2223	0	2	ゼブラゾーン	地形
2226	0	2	分離帯	地形
2228	0	2	道路の雪覆い等	地形
2229	0	2	縁石(歩道単断面)	地形
2235	0	2	雨水樹	地形
2236	0	2	並木樹	地形
2237	0	2	側溝グレーチング	地形
2261	0	2	電話ボックス:真形	地形
2310	0	2	踏切	地形
3401	0	2	門	地形
4101	0	2	マンホール(未分類)	地形
4111	0	2	マンホール(共同溝)	地形
4121	0	2	マンホール(ガス)	地形
4131	0	2	マンホール(電話)	地形

分類コード	図形区分	図形種類	オブジェクト名称	ファイル区分
4141	0	2	マンホール（電気）	地形
4151	0	2	マンホール（下水）	地形
4161	0	2	マンホール（水道）	地形
4171	0	2	CAB	地形

- ・ 始終点座標一致（警告）

道路縁から5mまでが範囲となっているため

分類コード	図形区分	図形種類	オブジェクト名称	ファイル区分
2419	0	2	鉄道のトンネル	地形
2424	0	2	プラットフォーム	地形
2425	0	2	プラットフォーム上屋	地形
2428	0	2	鉄道の雪覆い等	地形
3001	0	2	普通建物	地形
3002	0	2	堅ろう建物	地形
3003	0	2	普通無壁舎	地形
3004	0	2	堅ろう無壁舎	地形
3403	0	2	たたき	地形
3404	0	2	プール	地形
4201	0	2	墓碑：台座	地形
4202	0	2	記念碑：台座	地形
4203	0	2	立像：台座	地形
4204	0	2	路傍祠：台座	地形
4205	0	2	灯ろう：台座	地形
4207	0	2	鳥居	地形
4217	0	2	地下換気孔	地形
4219	0	2	坑口	地形
4223	0	2	噴水	地形
4224	0	2	井戸	地形
4225	0	2	油井・ガス井	地形
4226	0	2	貯水槽	地形
4227	0	2	肥料槽	地形
4228	0	2	起重機	地形

分類コード	図形区分	図形種類	オブジェクト名称	ファイル区分
4231	0	2	タンク	地形
4232	0	2	給水塔	地形
4233	0	2	火の見	地形
4234	0	2	煙突	地形
4235	0	2	高塔	地形
4236	0	2	電波塔	地形
4241	0	2	灯台	地形
4242	0	2	航空灯台	地形
4245	0	2	ヘリポート	地形
4251	0	2	水位観測所	地形
4252	0	2	流量観測所	地形
4253	0	2	雨量観測所	地形
4254	0	2	水質観測所	地形
4255	0	2	波浪観測所	地形
4256	0	2	風向・風速観測所	地形
4261	0	2	輸送管(地上)	地形
4262	0	2	輸送管(空間)	地形
5219	0	2	坑口 トンネル	地形
5222	0	2	船揚場	地形
5228	0	2	水門	地形
5232	0	2	透過水制	地形
5233	0	2	水制水面下	地形
5235	0	2	根固	地形
5236	0	2	床固 陸部	地形
5237	0	2	床固 水面下	地形
5238	0	2	蛇籠	地形
5239	0	2	敷石斜坂	地形
6121	0	2	法面保護(網)	地形
6122	0	2	法面保護(モルタル)	地形
6123	0	2	法面保護(コンクリート柵)	地形

- ・ 注記(テキスト)の全角・半角文字になっているかおよび原点位置が左下にチェック

全角

分類コード	図形区分	図形種類	オブジェクト名称	ファイル区分
8110	0	7	市・東京都の区	地形
8111	0	7	町・村・指定都市の区	地形
8112	0	7	市町村の飛地	地形
8113	0	7	大区域	地形
8114	0	7	大字・町・丁目	地形
8115	0	7	小字・丁目	地形
8116	0	7	通り	地形
8117	0	7	その他の地名(大)	地形
8118	0	7	その他の地名(中)	地形
8119	0	7	その他の地名(小)	地形
8121	0	7	道路の路線名	地形
8122	0	7	道路施設、坂、峠、インターチェンジ等	地形
8123	0	7	鉄道の路線名	地形
8124	0	7	鉄道施設 駅、操車場、信号所	地形
8125	0	7	橋	地形
8126	0	7	トンネル	地形
8127	0	7	踏切	地形
8131	0	7	建物の名称	地形
8134	0	7	建物の付属物	地形
8140	0	7	マンホール	地形
8141	0	7	電柱	地形
8142	0	7	その他の小物体	地形
8151	0	7	河川、内湾、港、岬、島等	地形
8152	0	7	水部施設、ダム	地形
8153	0	7	地下水部	地形
8161	0	7	法面、構囲	地形
8162	0	7	諸地、場地、公園、ゴルフ場等	地形
8163	0	7	植生	地形
8171	0	7	山、尖峰、丘、塚、谷、沢	地形
8181	0	7	説明注記(大)	地形

分類コード	図形区分	図形種類	オブジェクト名称	ファイル区分
8182	0	7	説明注記(中)	地形
8183	0	7	説明注記(小)	地形
9001	0	7	路線番号	地形

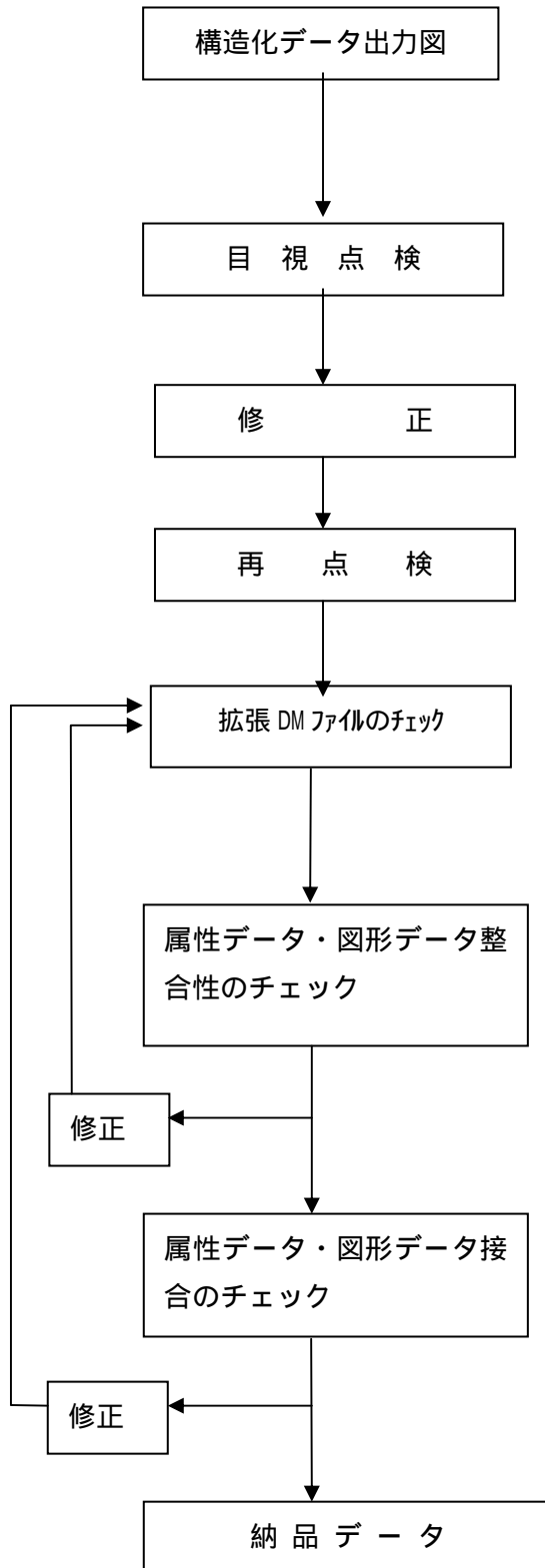
半角

分類コード	図形区分	図形種類	オブジェクト名称	ファイル区分
2110	0	7	舗装種別	地形
2218	0	7	歩道舗装種別	地形
6132	0	7	防護さく種別	地形
8173	0	7	基準点等、図化機測定標高点等高線数値	地形
8174	0	7	標高点数値	地形
8175	0	7	等高線数値	地形
9005	0	7	現地幅員数値	地形
9006	0	7	側溝数値	地形

接合チェック

図郭に接する地物の座標およびベクトルが一致するかチェック

構造化



計測線等の脱落・コード・位置・方向等を目視により点検する。

道路台帳数値地図情報データファイルフォーマット「拡張DMフォーマット準拠」になっているか（84バイト固定長・図郭識別番号・shift-JIS・レコードタイプ・分類コード・・・）

属性項目名が一致しているか
各種組合せチェック・・・

隣接図郭のデータとコードおよび座標が一致しているか（方向も）

拡張 DM フォーマットチェック

- ・ 84 バイト固定長になっているか
- ・ 図郭・グループヘッタ・要素レコードが仕様と一致しているか
例 図郭レコード(d) (e) (f)が3レコードあるか等
- ・ レコードタイプと分類コードが仕様と一致しているか
- ・ 漢字コードはすべて shift-JIS になっているか
- ・ 円弧・円(レコードタイプ E3・E4)は不可
- ・ 図郭外にはみ出ている座標がないか
- ・ 分類コードに合った属性項目数になっているか

属性データの整合チェック

- ・ 属性項目名が一致しているか
- ・ 属性項目毎の値がテーブルと一致しているか
- ・ 町名コード・町名漢字・町名カナがテーブルと一致しているか
- ・ 構造名称の値がすべて全角になっているか
- ・ 道路中心線と管理者主張線の修正年月日・修正業者が仕様と一致しているか (null もエラー)

図形データの整合チェック (座標一致)

- ・ 道路部面(E19201)と区間面(E19202) (座標をチェック)
- ・ 起終点線(E29001)と道路部面(E19201) (座標チェック)
- ・ 区間面(E19202)と中心線(E29103~9108)の端点 (座標チェック)
- ・ 区間面(E19202)と区間線(E29002) (2区間に一致する座標がある)
- ・ 区間面(E19202)と隅切り面(E19203) (座標チェック)
- ・ 起終点線(E29001)と起終点シンボル(E69101・9102) (座標チェック)
- ・ 起終点シンボル(E69101・9102)と道路中心線(E29103~9108) (座標チェック)
- ・ 歩道計測線(E29305)と区間面(E19202) (座標チェック)
- ・ 歩道植樹施設計測線(E29306)と区間面(E19202) (座標チェック)
- ・ 中央帯計測線(E29307)と区間面(E19202) (座標チェック)
- ・ 側溝計測線(E29301~9303)と区間面(E19202) (座標チェック)
- ・ 最急勾配箇所面(E19211)と道路部面(E19201) (座標チェック)
- ・ 最小半径箇所面(E19212)と道路部面(E19201) (座標チェック)
- ・ 立体横断施設面(E19213)と道路部面(E19201) (座標チェック)
- ・ 信号設置箇所面(E19214)と道路部面(E19201) (座標チェック)
- ・ 視線誘導用ブロック面(E19215)と道路部面(E19201) (道路部面の中に視線誘導用ブロック面があるか)
- ・ 道路部面(E19201)と道路管理者主張線(E19401) (管理者主張線面の中に道路部面があるか)

接合チェック（属性および座標並びにベクトルが完全に一致しているか）

本仕様書は、平成 19 年 4 月 1 日より運用する
仙台市建設局道路部道路管理課路政係

道路敷地構成図作成業務仕様書

目 的

本業務は、仙台市道を管理するために必要となる道路敷地構成図を作成することを目的とする。

1.計画準備

本事業を円滑に遂行するため、作業計画書を作成し監督機関と協議する。

2.資料収集

本業務で使用する各種資料整理し収集する。

3.境界点整理

資料収集で提供された帰属資料から境界点の点名・座標並びに境界点の種類を整理し Excel 等にまとめる。

4. 座標面積計算

道路敷地を構成する筆毎の面積を計算する。

5. 整理点検

作成された成果を仙台市道路台帳図管理システムで使用できるよう取りまとめ作成する。

6. 道路敷地構成図（路線図）作成

仙台市道路を管理するために必要な道路敷地構成図を規定様式に沿って作成する。

7. 面積調書作成

道路敷地を構成する筆毎の面積調書を作成し、所有区分ごとに面積の集計を行う。

8.打合せ協議

業務開始時、中間時、納品時の打合せ協議を行う。